

シリア・バアス党 第3回中央委員会拡大大会合(2024年) 詳解

CMEPS-J Report No. 77



青山 弘之 木戸 皓平

シリア・バアス党
第3回中央委員会拡大会合(2024年)
詳解

CMEPS-J Report No. 77



青山 弘之 木戸 皓平

目次

I. はじめに.....	3
II. バアス党概史.....	5
1. 秘密結社アラブ・バアス党.....	5
2. アラブ・バアス党の正式発足.....	5
3. アラブ社会主義バアス党.....	6
4. 「バアス革命」.....	7
5. 「矯正運動」.....	8
6. 「ジュムルーキーヤ」.....	10
7. 第10回シリア地域大会.....	12
8. 中央委員会拡大大会.....	13
9. 民族指導部とシリア地域指導部の廃止、中央指導部の新設.....	13
10. シリア地域の現況: 党員数、支部、支局.....	15
III. 代表選挙.....	19
1. 実施に向けた準備.....	19
2. 第1段階.....	21
3. 第2段階.....	64
IV. 第3回中央委員会拡大大会.....	89
1. 議事の確定.....	89
2. 中央委員会選挙立候補者の発表.....	93
3. 開会会合.....	104
4. 閉会会合.....	119
V. 中央指導部の選出、分掌の決定.....	125
1. 中央指導部の選出.....	125
2. 中央指導部メンバーの分掌.....	125
3. 中央指導部メンバーの経歴.....	126
VI. おわりに.....	141
文献リスト.....	143

凡例

本書における外国語(アラビア語)の固有名詞(人名、地名)のカタカナ表記は、一部の例外を除き大塚・小杉・小松他編[2002:10-15]、帝国書院編集部編[2019]、Google マップに従った。ただしアラビア語の定冠詞「アル=」、「アッ=」、「アン=」は原則として省略した。

I. はじめに

本書は、2024年5月4日に開催されたシリア・バース党(正式名はアラブ社会主義バース党シリア地域(Hizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishirākī – al-Qutr al-Sūrī))の第3回中央委員会(al-Lajna al-Markazīya、党の意思決定機関)拡大会合の議事や決定、会合開催に先立って党内で実施された代表選挙の経緯、会合閉会後の中央指導部(al-Qiyāda al-Markazīya、党の執行機関)の人事、この間に党首(中央指導部書記長)であるバッシュアール・アサド(Bashshār al-Asad)が党員に向けて行った演説や指示を詳解したものである。

これまでのシリア・バース党の活動、とりわけ2000年以降に開催された党大会(シリア地域大会(al-Mu'tamar al-Qūtrī)、中央委員会拡大会合)については、既発表論文・論考(青山[2001a][2001b][2004][2005a][2005b][2018][2021a])を通じて、その内容を紹介し、分析を加えてきた。だが、党内の意思決定プロセスや人事については、公開情報が限られていたため、不明な点が多かった。これに対して、第3回中央委員会拡大会合は、開催の準備段階から新執行部発足に至る全過程が、シリア・バース党の Facebook 公式アカウント (Facebook (@al.baath.party.in.syria), December 20, 2023)を通じて詳細に開示された。本書は、これらの膨大な情報を整理し、提示することで、本邦における現代シリア研究の基礎資料を提供することを目的としている。

以下では、第II章でバース党の歴史を概観する。続いて第III章では、第3回中央委員会拡大会合の出席者を選出するために実施された代表選挙を詳しく見る。第IV章では、拡大会合そのものに着目し、B・アサドによる指導演説、中央委員会、そして監査委員会(Lajna al-Riqāba wa al-Taftīsh)の選出などの議事について詳細に解説する。そして第V章では、拡大会合で選出された中央委員会による中央指導部メンバーの選出、中央指導部初会合において決定されたメンバーの分掌、そしてメンバーの経歴を紹介する。

II. バアス党概史

1. 秘密結社アラブ・バアス党

バアス党(正式名はアラブ社会主義バアス党(Hizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī)、バアスは復興を意味する)は、シリアの首都ダマスカスで高等学校(タジュヒーズ(al-Tajhīz))の教師を務めていたミシェル・アフラク(Mishāl 'Aflaq)と同僚のサラフッディーン・ビータール(Ṣalāḥ al-Dīn al-Bīṭār)が政党として創設した。だが、その起源は、アレキサンドレツタ問題(1936~39年)に際してアラブ系住民を率いたザキー・アルスーズイー(Zakī al-Arsūzī)が、弟子ら、いわゆる「リワーイーユーン」(al-Liwā'iyūn、アレキサンドレツタ地方(現在のトルコ共和国/タイ県)の出身者)とともにダマスカスに移住し、1940年に結成した秘密結社のアラブ・バアス党(Hizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī)にあるとされる(al-Jundī [1969:21-26])。

この秘密結社は、アラブ人の民族(al-Umma)の復興(Ba'th)と祖国(al-Waṭan)の統一、民主主義の実現、ウルバ(al-'Urūba、アラブ性)の称揚、ザイーム(al-Za'im、首領)の指導、天命(al-Risāla)の体現などを骨子とする憲章を掲げ、アルスーズイーが党首(al-Za'im)として指導し、機関紙『アル=バアス』(al-Ba'th)などを公刊して宣伝活動を行うとともに、反仏・反帝国主義デモの組織・参加などを推し進めた(al-Arsūzī [1976:527]、al-Ghānim [1994:46-49])。だが、第二次大戦の激化とともに、フランス委任統治当局がシリア国内の反仏・反体制運動への締めつけを強化すると、まもなく弾圧の対象となった。1941年半ば、アルスーズイーや弟子たちは委任統治当局に逮捕され、残った者は地下に潜伏した。

2. アラブ・バアス党の正式発足

一方、アフラクとビータールは、1941年から1943年にかけて、ヌスラ=イラク(Nuṣra al-'Irāq、イラク支援)、アラブ=イフヤー(再生)運動(Haraka al-Ihyā' al-'Arabī)、アラブ・バアス運動(Haraka al-Ba'th al-'Arabī)、アラブ・バアス党(Hizb al-Ba'th al-'Arabī)といった秘密結社を結成し、活動していた。アルスーズイーが逮捕を契機に政治活動から身を引くなか、弟子らはアフラクとビータールに接近し、彼らはシリアが独立(1946年4月17日)を果たしてから約1年後の1947年4月7日に結党大会を開催し、二つの秘密結社を合併して、政党としてのアラブ・バアス党を発足させた。

アラブ・バアス党は、綱領である『アラブ・バアス党憲章』(Dustūr Hizb al-Ba'th al-'Arabī)を採択、「単一のアラブ民族、永遠の使命を担う」(Umma 'Arabīya Wāḥida, Dhāt Risāla Khālida)をスローガンに掲げ、「統一、自由、社会主義」(Waḥda, Hurriya, Ishtirākīya)、すなわちアラブ民族の統一国家の樹立、植民地主義・帝国主義からの解放、そして社会的公正を基本原則とし、その実現を目指した。党の活動は、意思決定機関である党大会が策定、党首(al-'Amīd)を長とする執行機構(al-Hay'a al-Tanfīdhīya)がその遂行にあたった。初代党首にはアフラクが、執行機構メンバーには、アフラク、ビータール、ガーニム、そしてジャラール・サイド(Jalāl al-Sayyid)が就任した(Niḍāl al-Ba'th [1963:104-105, 164-165]、Abu Jaber [1969:10-12]、'Allūsh [1962:101-102]、Barakāt [1984:32-33]、Dandashlī [1979:33-37]、Devlīn [1976:12-13]、Farzāt [1955:232-234]、al-'Isā [1976b:28-33]、Ismā'īl [1977:45-47]、al-Jundī [1969:31, 36]、Qarqūṭ [1993:172-

181]、Rouleau[1969:164-165]、Şafādī[1964:66])。

3. アラブ社会主義バアス党

結党当初のアラブ・バアス党は、知識人サークルとしての域を脱することはなかった。1947年4月の結党大会に参集した党员約220人はいずれも、教師、学生、知的職業人で、党は高等教育・大学教育を修めた若者の感化には比較的 success を収めたものの、1940年代末の段階で500人弱の党员を獲得したにすぎなかった(al-Ghānim[1977a:10][1977b:8-11]、Rabinovich[1972:8])。

この状況に転機をもたらしたのが、1953年のアクラム・ハウラーニー(Akram al-Hawrānī)が指導するアラブ社会主義党(あるいはアラブ社会党、al-Hizb al-'Arabī al-Ishīrākī)との合併だった。大商人や大地主といったいわゆる伝統的支配階層が権力を掌握した独立後のシリアにおいて、アラブ社会主義党は、農村部に支持基盤を持つとともに、士官候補生や青年士官ら軍関係者と密接な関係を築き、1949年に発生した3度の軍事クーデタに協力するなどして、党勢の拡大を目指してきた(Rabinovich[1972:8-9]、Roberts[1987:35-36]、Seale[1958:38-41]、Tachau[1994:514-515])。

アラブ・バアス党とアラブ社会主義党は、1951年以降に急接近し、1953年2月にアラブ社会主義バアス党(以下バアス党)として合併するに至った。

バアス党は、1947年7月と1949年11月に実施された議会(Majlis al-Nūwāb)選挙(定数はそれぞれ136議席、114議席)に党员を出馬させたものの、1949年11月の選挙で1議席を獲得するのみだった。だが、アラブ社会主義党との合併によって、知識人サークルの域を脱し、党员を約2,500人へと急増させ、1954年9月の議会選挙(定数142議席)では22議席を獲得し、第三党に躍進した(Rabinovich[1972:12]、Seale[1958:182])。そして、第1次サブリー・アサリー(Şabrī al-'Asālī)内閣(1954年3月~54年6月)では、ガーニムが国務大臣兼厚生大臣代行として入閣(1955年2~9月)した。また、第2次、第3次アサリー内閣(1956年6~12月、1956年12月~58年2月)では、ピータールとハリール・カッラーズ(Khalīl Kallās)が外務大臣と国民経済大臣として入閣し、エジプトとの合邦に向けた二国間協議を主導していった(Abu Jaber[1966:33-45]、Hizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishīrākī - al-Qiyāda al-Qawmīya [1978:46-48]、Petran[1972:106]、Rabinovich[1972:11-16]、Seale[1958:158-159, 182-184]、Tachau[1994:516-517])。

シリア国内外で党勢を拡大するなか、1954年6月に第2回党大会では、党内の組織改編が行われた。これにより、民族指導部(al-Qiyāda al-Qawmīya)と呼ばれる最高執行機関が設置され、アラブ民族(あるいはアラブ諸国)全域の党活動を統括した。また、各国(地域、Qutr)に地域指導部(al-Qiyāda al-Qutrīya)と呼ばれる執行機関が設置され、その下に支部(Far')、支局(Shu'ba)、班(Firqa)、組(Halqa)といった下位の組織とそれを統括する指導部が置かれた。各指導部は書記長(al-Amīn al-'Āmm)を長とし、党の最高指導者にあたる民族指導部の書記長にはアフラクが就任した。党の最高意思決定機関である党大会も、こうした上位下達 of 組織体系に対応するかたちで、アラブ諸国全域の活動方針を策定する民族大会(al-Mu'tamar al-Qawmī)、各国の活動方針を決定する地域大会(al-Mu'tamar al-Qutrī)というように階層化された(表1を参照)。

4. 「バース革命」

1958年2月にシリアとエジプトが合邦し、アラブ連合共和国が樹立され、シリアの全政党の解体と、翼賛的な民族連合(al-Ittihad al-Qawmi)の設立が決定された。これを受け、シリア地域指導部は同年同月の大会で解散を決議し、民族指導部はレバノンの首都ベイルートに移転した(Abu Jaber[1966:62]、al-Jundi[1969:76]、Petran[1972:128-129]、アジア経済研究所[1983:70-71, 79])。

1961年9月の分離クーデタによって、シリアがエジプトとの合邦を解消すると、シリア地域指導部も再建された。だが、アラブ連合共和国樹立時のシリア地域指導部解体の責任や分離クーデタへの支持の是非をめぐる、党内に亀裂が生じ、1961年12月の議会選挙(定数172議席)では22議席を獲得するのにとどまった(Abu Jaber[1966:62-65]、Hizb al-Ba'th al-'Arabi al-Ishtiraki - al-Qiyada al-Qawmiya[1978:77-78]、Rabinovich[1972:22-24, 36-43])。

表1 バース党の組織体系

組	党組織における最小単位。3人から7人の党员によって構成され、班指導部がその1人を組指導部書記長に任命する。組は、居住地別の組、活動内容別の組、党员候補の育成にあたる組に大別され、通常、党员の自宅などで週に1回の会合を開くことが定められている。
班	3つから7つの組によって構成される組織単位。多くの場合、村、町、大都市の街区に対応するかたちで設置される。班の執行機関である班指導部(Qiyada al-Firqa)は、班に所属するすべて党员によって選出される。班の意思決定機関にあたる班大会は、支局指導部が招集する。班指導部は、党员の日々の活動を指導、組の設置、組指導部書記長の任命、党员申請の審査などを行う。班指導部書記長は支局指導部が任命する。
支局	2つ以上の班によって構成される組織単位。支局の意思決定機関である支局大会(Mu'tamar al-Shu'ba)は、執行機関である支局指導部(Qiyada al-Shu'ba)を選出する。支局大会は、支局指導部メンバー、班指導部が選出した代表(定数は地域指導部が決定)によって構成される。支局指導部書記長は支部指導部が任命する。支局指導部とその書記長は、支部の決定と指示を実行し、下位の組織や党员からの意見を精査・検討し、支局に伝えることを主な任務とする。
支部	アラブ各国の行政区画(県や大都市)、あるいはそこでこの党組織に対応する領域を示す組織単位。1つの支局が支部を構成することも可能だが、通常は複数の支局、そして支局が所轄しない班によって構成される。党员が少なく、支部を編成できない国においては、支部がその国を代表することもある。支部の意思決定機関である支部大会(Mu'tamar al-Far')は、執行機関である支部指導部(Qiyada al-Far')メンバー、すべての支局指導部書記長、および各支局が選出した代表によって構成される。支部指導部の定数は指導部自体が決定する。支部大会は、支部指導部を選出し、下位の組織の活動の指導、地域における問題の調査とそれに対処するための提言、地域における教化宣伝プログラムの実施などを行う。支部指導部書記長は支部指導部が選出する。
地域	アラブ各国、そこでこの党組織に対応する領域を示す組織単位。一つの支部が地域を構成することも可能だが、通常は複数の支部、そして支部が所轄しない支局によって構成される。地域の意思決定機関である地域大会は、執行機関である地域指導部メンバー、支部指導部書記長、支部大会が選出した代表、支部が所轄しない支局指導部メンバーによって構成され、原則年1回の開催が定められている。地域指導部の選出、地域の政治、経済、組織にかかる方針の決定、地域指導部書記長の選出、地域における党活動の運営、民族指導部の決定の実行、党员の除名、下位の指導部の解散や選挙実施などを行う。シリア地域では、1985年の第8回シリア地域大会において、地域大会を5年に1回開催することが定められ、休会中に意思決定機関としての役割を代行する中央委員会、地域内の党员の公徳と規律を監督する監査委員会が設置された。
民族	アラブ民族(アラブ諸国)、あるいはこの党の組織全体に対応する領域を指す。党の最高意思決定機関である民族大会は、原則として2年に1回開催することが定められている(シリアではその後5年に1回の開催に変更)。党の最高執行機関である民族指導部メンバー、すべての地域指導部メンバー、地域(あるいは支部)が所轄しない下位の組織の代表によって構成され、民族指導部と党の最高指導者である書記長の選出、党組織の創設、下位組織の指導、地域指導部の解散、党発表の内容の確定、他の政治組織との協力、アラブ諸国の政府や議会への参画の是非の決定、国内外の党の政策の策定と指導などを行う。

(出所) Abu Jaber[1966:139-145]、Arab Political Documents, 1963[1963:445-462]、Devlin[1976:15-19]、Hizb al-Ba'th al-'Arabi al-Ishtiraki - al-Qiyada al-Qawmiya[1982:58]、Hizb al-Ba'th al-'Arabi al-Ishtiraki - al-Qiyada al-Qutriya[1985:344-353, 357]、Roberts[1987:114]などをもとに青山作成。

こうしたなか、エジプトに駐留していたサラフ・ジャディード(Şalāh Jadīd)やハーフィズ・アサド(Hāfīz al-Asad、以下 H・アサド)といった青年士官が 1959 年夏に結成した秘密結社の軍事委員会(al-Lajna al-ʿAskariyya)が中心となって、1963 年 3 月 8 日にクーデタ、すなわち「バース革命」(Thawra al-Baʿth)を敢行した。これにより、ビータールを首班とする暫定内閣が発足、ここにバース党政権が誕生した(Petran[1972:171]、Rabinovich[1972:24-25, 45])。

政権を掌握したバース党内では、軍事委員会に加えて、エジプトとの合邦中もシリア国内で活動を継続していた地域主義派(al-Qūriyūn)、そしてマルクス主義に看過された知識人らが、党と国家の運営の主導権を握った。彼らは、1963 年 10 月の第 6 回民族大会で「アラブ社会主義バース党における若干の理論的基礎」(Hizb al-Baʿth al-ʿArabī al-Ishṭirākī – al-Qiyāda al-Qawmiyya[1963])を採択し、党の基本原理のうち、「社会主義」を科学的社会主義と同義に捉え、これを「統一」に優先させることを骨子とする党イデオロギーの修正、いわゆる「マルクス主義のアラブ化」(Taʿrīb al-Mārkiṣiyya, al-Hāfīz[1997:283-293])を敢行、また国家社会主義的な政策を推し進めていった。

同時に、軍事委員会、地域主義派らは、「統一」を理想視する民族主義派(al-Qawmiyyūn)ら古参幹部を徐々に排除していった。1965 年 4 月から 5 月にかけて開催された第 8 回民族大会では、アフラクを民族指導部書記長再選拒否へと追い込んだ。また 1966 年 2 月にジャディードが主導したクーデタ、「2 月 23 日運動」(Haraka 23 Shubāt)では、「バース革命」以降、3 度にわたって首相を務めてきたビータールや、アフラクの後任として民族指導部書記長に就任していたムニール・ラッザーズ(Munīr al-Razzāz)を肅清、国外に追放した(Abu Jaber[1966:62]、al-Fukaykī[1977:143-144, 156, 158-159]、Haddad[1971:362, 358-389]、al-Jundī[1969:76, 85]、Keilany[1980:209]、Niḍāl al-Baʿth[1965:232-291]、Petran[1972:128-129, 172-174]、Rabinovich[1972:39-40, 64, 69, 84-96, 131, 139-140, 149]、Rouleau[1969:159]、Seale[1988:28-29, 34]、アジア経済研究所[1983:85, 87-88])。

1966 年 9 月に開催された第 9 回民族大会では、地域主義派のヌールッディーン・アターシー(Nūr al-Dīn al-Atāsi)が民族指導部書記長とシリア地域指導部書記長に、ジャディードがシリア地域指導部副書記長に就任した。新体制のもとでバース党は社会主義的政策の実施を加速させた。だが、これによって経済が困窮、また 1967 年 6 月の第三次中東戦争でイスラエルに大敗を喫すると、党内では、ジャディードを中心とする急進派と、H・アサドを中心とする穏健派の対立が激化していった。最終的には、H・アサドが 1970 年 11 月 13 日にクーデタを実行し、全権を掌握した。

5. 「矯正運動」

H・アサドは、クーデタの 3 日後の 1970 年 11 月 16 日の声明で、自らの政権掌握を「矯正運動」(al-Haraka al-Taṣhīhiyya)と名づけ、「バース革命」以降の権力闘争のなかで権威主義的性格を強めていた支配体制や国家社会主義的政策の弊害を是正するために一連の内政改革を実施していった。H・アサドは、バース党による一党独裁の廃止と議会制民主主義の復活を表明、人民議会(Majlis al-Shaʿb)の召集(1971 年 2 月)、大統領選挙(1971 年 3 月)、新憲法の施行(1973 年 3 月)、人民議会選挙(1973 年 5 月)などを矢継ぎ早に実施していった。また、1960 年代の反政府・反体制運動において主導的役割を果たしてきたダマスカスの大商人やウラマー(al-ʿUlamāʾ)を懐柔し、「インフィターフ」(al-Infīṭāḥ:門戸開放政策)による経済再建に務めた。またバース党内で

は、1971年5月の第5回シリア地域大会でシリア地域指導部の書記長、1971年8月の第11回民族大会で民族指導部書記長に就任し、党の最高指導者となった。このほか、バース党との権力闘争に敗れ、政治の周縁に追いやられていた左派(アラブ民族主義、マルクス主義)勢力とともに、1972年3月に連立与党にあたる進歩国民戦線(al-Jabha al-Waṭaniya al-Taqaḍdumiya)を設立し、自らその執行機関である中央指導部(al-Qiyāda al-Markaziya)の書記長に就任した(Hizb al-Ba'th al-'Arabi al-Ishṭirākī – al-Qiyāda al-Qawmiya[1978:116-121]、青山[1997:10])。

だが、H・アサドによる政権掌握に至る過程で、バース党はパン・アラブ主義組織としての性格を失っていった。アフラクの民族指導部書記長退任以降、バース党においては、シリア地域指導部が事実上の最高執行機関としての役割を果たすようになり、民族指導部は、シリアのバース党政権が他国の地域指導部や党員に影響力を行使する際の「道具」になりさがった。

バース党は、イラクでも1963年2月8日の「革命」を9ヶ月という短期間で覆されるという挫折を経験したのち、1968年7月17日にアフマド・ハサン・バクル(Aḥmad Ḥasan al-Bakr、大統領(1968年7月～1979年7月))の主導のもとで、2度目の「革命」で政権を掌握した。だが、バクルを書記長とするイラク地域指導部は、シリアでの権力闘争で敗れたのちに独自の民族指導部を樹立し、その書記長に就任していたアフラクを1968年8月に招き、シリアのバース党に対抗した。アフラクの死(1989年6月)後は、サッダーム・フセイン(Ṣaddām Ḥusayn、大統領(1979年7月～2003年4月))が民族指導部書記長とイラク地域指導部書記長を兼務し、シリアのバース党に対峙し続けた(酒井 2003:15)。

こうしたなか、民族指導部が形骸化するなか民族大会も軽視されるようになり、シリアでは1980年7月から8月にかけてダマスカスで開催された第13回民族大会を最後に長らく開催されなくなった。また、イラクでも、1992年にバクダードで開催された第12回民族大会が最後の大会となった(表2を参照)。

H・アサドは、大統領、軍武装部隊総司令官、大将、バース党民族指導部書記長、同シリア地域指導部書記長、進歩国民戦線中央指導部書記長を兼任し、絶大な政治権力を手中に収めた。大統領としての彼は、1973年に制定された憲法において、交戦権(第100条)、法の施行(第98条)、人民議会の召集・解散(第108条)、非常事態の発令・解除(第101条)、首相、裁判官、軍司令官、官僚の任命・罷免(第97、109、132、139条)など、絶大な権限を握った。

また、バース党は、憲法において「社会と国家を指導する」前衛党としての地位を保障され(第8条)、「バース革命」以降に傘下に置いていった人民機構(al-Munazzamat al-Sha'biya)と職業組合(al-Niqabat al-Mihniya)を動員することができた。人民議会の議席もバース党が単独過半数を占め、残る議席は進歩国民戦線と、政権を支持する無所属議員によって占められた。加えて、「バース革命」直後に発令された非常事態を根拠に、通常法の枠を超えて、検閲、メディア統制、軍や内務省などが所轄するムハーバラート(al-Mukhabarat、諜報機関)による監視、尋問、逮捕、拘留、処罰などが続けられたが、こうした超法規的な措置の正当性は、前衛党であるバース党の存在によって裏打ちされた。

H・アサドのもとで「体制の私物化」(Shakhṣana al-Nizām) (al-Turk 2001)が進むなか、バース党の意思決定プロセスも形式化していった。1985年1月に開催された第8回シリア地域大会では、地域大会を5年に1度開催し、党の人事と活動方針を見直すという決定がなされた。だが、1990年と1995年に予定されていた大会は、東西冷戦に伴う国際情勢の変動や中東和平プロセスの進展といったシリア国内外の動きを受けて延

期された(Hizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī – al-Qiyāda al-Qutriya[1985:357])。

6. 「ジュムルーキーヤ」

2000年6月10日にH・アサドが死去すると、次男のバッシュャール・アサド(Bashshār al-Asad、以下B・アサド)がその地位を継承し、アラブ世界初の「ジュムルーキーヤ」(Jumlūkīya)が確立した(青山[2001a:21-32])。「ジュムルーキーヤ」とは、エジプトのNGO組織、イブン・ハルドゥーン開発センター(Markaz Ibn Khaldūn li-l-Tanmiya)のサアドウッディーン・イブラーヒーム(Sa'd al-Dīn Ibrāhīm)所長が、共和制を意味するアラビア語の「ジュムフーリーヤ」(Jumhūrīya)と王政を意味する「マラキーヤ」(Malakīya)から作った造語で、「世襲共和制」、ないしは「共和王政」などと訳出できる。

バース党シリア地域指導部は、「ジュムルーキーヤ」確立に至る権力移譲プロセスを推進していった。H・アサドの死去が発表されたのとまさに同じ時刻(午後6時00分)、人民議会において、バース党シリア地域指導部メンバーでもあった議長のアブドゥルカーディル・カッドウーラ(ʿAbd al-Qādir Qaddūra)は、憲法第83条が規定する大統領就任資格年齢を、40歳からB・アサドの年齢である34歳に引き下げることを提案、特別会での30分に及ぶ審議を経て満場一致で可決させた。その数時間後、シリア地域指導部は臨時会合を開催し、B・アサドを大統領候補として擁立することを決定した。また、翌6月11日に再び臨時会合を開催し、「共和国大統領は、軍武装部隊の最高司令官であり、この権限を行使するために必要な全ての決定と指令を下す」と定めた憲法第103条に沿うかたちで、B・アサドの軍における昇進について審議した。そして、シリア地域指導部メンバーで国防大臣(兼軍武装部隊副司令官、一等中将)を務めていたムスタファー・トゥラース(Muṣṭafā Ṭulās)の主導のもと、軍は人民議会の審議内容に応えるかたちで、B・アサドを大将に昇進させ、軍武装部隊総司令官に任命した。

表2 バース党略年表

年月	主な出来事
1947年4月	ダマスカスで結党大会が開催され、アラブ・バース党が正式に発足。ミシェル・アフラクが党首に就任
1953年2月	アラブ社会主義バース党に改称
1954年6月	第2回党大会(ダマスカス)。民族指導部を頂点とする組織が完成。アフラクが民族指導部書記長に就任
1959年8~9月	第3回民族大会(ベイルート)
1960年8月	第4回民族大会(ベイルート)
1962年5月	第5回民族大会(ヒムス)
1963年2月	イラクでバース党政権が成立(同年11月に瓦解)
1963年3月	シリアでバース党政権が成立
1963年9月	第1回シリア地域大会(ダマスカス)。ハムード・シューフィー(Hamūd al-Shūfī)がシリア地域指導部書記長に正式に就任
1963年10月	第6回民族大会(ダマスカス)
1964年1月	第1回臨時シリア地域大会(ダマスカス)。アミン・ハーフィズ(Amin al-Hāfīz)がシリア地域指導部書記長に就任
1964年2月	第7回民族大会(ダマスカス)
1965年3~4月	第2回シリア地域大会(ダマスカス)
1965年4月	第8回民族大会(ダマスカス)。アフラクに代わってムニーフ・ラッザーズが民族指導部書記長に就任
1965年8月	第2回臨時シリア地域大会(ダマスカス)。サラフ・ジャディードがシリア地域指導部副書記長に就任
1966年2月	シリアのバース党がアフラク、ラッザーズ、サラフッディーン・ビータールらを排除

年月	主な出来事	
	シリア	イラク
1966年9月	第3回シリア地域大会(ダマスカス)。ヌールッディーン・アターシーがシリア地域指導部書記長に就任	
1967年7月	第9回民族大会(ダマスカス)。アターシーが民族指導部書記長に就任	
1967年9月	第3回臨時シリア地域大会(ダマスカス)	
1968年3月	第9回臨時民族大会(ダマスカス)	第9回民族大会(レバノン)。アフラクが民族指導部書記長に就任
1968年7月		イラクでバアス党政権が成立
1968年8月		イラクのバアス党政権がアフラクをバグダードに招く
1968年9月	第10回民族大会(ダマスカス)	
1969年3月	第4回シリア地域大会(ダマスカス)	
1970年3月	第4回臨時シリア地域大会(ダマスカス)	
1970年10~11月	第10回臨時民族大会(ダマスカス)	第10回民族大会(バグダード)
1971年5月	第5回シリア地域大会(ダマスカス)。ハーフィズ・アサドがシリア地域指導部書記長に正式に就任	
1971年8月	第11回民族大会(ダマスカス)。H・アサドが民族指導部書記長に正式に就任	
1974年6月	第5回臨時シリア地域大会(ダマスカス)	
1975年4月	第6回シリア地域大会(ダマスカス)	
1975年7月	第12回民族大会(ダマスカス)	
1977年11月		第11回民族大会(バグダード)
1979年12月 ~1980年1月	第7回シリア地域大会(ダマスカス)	
1980年7~8月	第13回民族大会(ダマスカス)	
1985年1月	第8回シリア地域大会(ダマスカス)	
1989年6月		アフラクが死去。サッダーム・フセインが民族指導部書記長職を継承
1992年末		第12回民族大会(バグダード)
2000年6月	H・アサドが死去。第9回シリア地域大会(ダマスカス)。バッシヤール・アサドがシリア地域指導部書記長に就任	
2003年4月		バアス党政権が崩壊
2003年12月		米軍がフセインの身柄を拘束
2005年6月	第9回シリア地域大会(ダマスカス)	
2017年5月	第13回民族大会(ダマスカス)。民族指導部を解体。	

(出所) 青山[2005a:17]、Hizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī – al-Qiyāda al-Qutūbiya[1985]、SANA, May 14, 2017 などをもとに青山作成。

6月17日には、第9回シリア地域大会が招集された。15年ぶりとなる大会では、B・アサドの指導者としての適性が再三にわたって確認され、2日目の6月18日には彼を「党と人民の路線の指導者」(Qā'id li-Masīra al-Hizb wa al-Sha'b)に任命し、党の実質的な指導者とした。さらに6月20日には、シリア地域指導部メンバーと、シリア地域大会休会中に意思決定機関としての役割を代行する中央委員会(al-Lajna al-Markazīya)メンバーに正式に任命し、6月24日のシリア地域指導部の初会合において、シリア地域指導部書記長に就任させた。

第9回シリア地域大会では、これと併せて、「共和国大統領候補は、バアス党(シリア)地域指導部の提案

に基づき人民議会が選定し、その信任は国民投票を経て行われる」と定めた憲法第 84 条第 1 項の規定に沿って、バアス党の党首となった B・アサドを大統領候補とすることを決定、6 月 25 日から 27 日にかけて招集された人民議会の特別会と本会議で正式に推挙した。人民議会はこれを全会一致で承認、信任投票の日程を 7 月 10 日に設定した。そして、7 月 10 日の投票で、B・アサドは 97.293%の賛成票を得て、大統領に信任された。

B・アサドは、さらに 7 月 31 日、進歩国民戦線中央指導部書記長に就任した。彼はこうして、バアス党民族指導部書記長職を除く父の公職、すなわち、共和国大統領、大将、軍武装部隊総司令官、バアス党地域指導部書記長、そして進歩国民戦線中央指導部書記長を継承した。

7. 第 10 回シリア地域大会

第 9 回シリア地域大会開催から 5 年後の 2000 年 6 月 6 日から 9 日、党の内規に従って、第 10 回シリア地域大会がダマスカス市郊外のウマイヤ・パレスで開催された。

大会開催に向けた準備は、米国がシリア問責レバノン主権回復法を成立(2003 年 12 月)させ、シリア・バッシングを本格化させたのと時を同じくして開始された。2003 年 11 月末、B・アサドは、イラクのフセイン政権(バアス党政権)の下で悪化した党のイメージを回復し、米国のシリア批判をかわすため、党員に対して異例のアンケートを実施、バアス党の基本三原則である「統一、自由、社会主義」や、「民主主義」、「人民主義」(al-Sha'biya)といった概念を再解釈するための意見を聴取し、党員に改革案の提示を促していった(Hizb al-Ba'ith al-'Arabī al-Ishirākī, al-Qutr al-'Arabī al-Sūrī – al-Qiyāda al-Qutrīya, Maktab al-Amāna al-Qutrī[2003])。提示された改革案は、憲法第 8 条の改正、反政府勢力(野党)の改革への参加、政党法案の作成といったいわゆる「民主化」の範疇に含まれるものから、民族指導部の解体、古参幹部の退任、シリア地域指導部メンバーの再選禁止など、党組織にかかわるものまで多岐にわたった(Akhhār al-Sharq, April 8, July 13, September 20, October 2 and November 18, 2004, al-Hayāt, August 26, 2004 and June 2, 2005)。

大会最終日の 6 月 9 日に採択された決議には、①非常事態の適用基準の見直し、②政党法の制定、③「高等情報会議」の設置、出版物法の改正、情報法の制定(民間メディアの奨励)、④人民議会と地方議会の選挙制度の見直し、⑤国籍を剥奪されたクルド人の権利回復、⑥汚職撲滅のための独立委員会の設置、⑦経済改革を深化させるための内閣の発足、⑧「社会的市場経済」(Iqtisād al-Sūq al-Ijtīmā'ī, 中国型の社会主義市場経済を意味する)の導入、⑨党活動を活性化するための党憲章の改正などが提言として盛り込まれた(al-Thawra, June 10, 2005)。だが、これらの提言を実施段階へと移行させるような動きは、党内においても、政府内においても見られなかった。そのことが、国内での不満を高め、「アラブの春」波及(2011 年 3 月)の遠因ともなった(青山[2012])。

一方、大会決議の審議・採択と並行して行われたシリア地域指導部、中央委員会、監査委員会(Lajna al-Riqāba wa al-Taftīsh)の人事改編は、B・アサドへの権力移譲を支えてきた古参幹部全員が退任した(SANA, June 9, 2005)。

8. 中央委員会拡大会合

シリア地域大会は、これ以降開催されることはなくなり、代わって中央委員会拡大会合が、シリア地域指導部、中央委員会、監査委員会の改選を行う場となった(青山[2018])。

中央委員会拡大会合は、これまでに2度開催された。第1回中央委員会拡大会合は2013年7月8日にダマスカスで開催され、B・アサドが議長を務めた。B・アサドは、「アラブの春」波及を受けて悪化した国内情勢や西側諸国などの干渉、これに対するアラブ世界や国際社会の対応についての分析報告を行い、バース党の役割を提言した。B・アサドは報告のなかで、党および党員の活動を自己批判することで、積極的側面の伸ばし、消極的側面を克服するべきだと訴えるとともに、国民との関係深化のために党指導部と人民を結びつけるチャンネルを拡充させる必要があるを強調した。また今後の党活動における最優先事項として、人民機構、職能組合を通じた国民統合の強化をあげた。党組織に関しては、上意下達の徹底、国家機関への適材の登用の必要を強調した。B・アサドの報告後、質疑応答が行われ、その後、中央委員会は、新シリア地域指導部を選出し、閉幕した(青山[2018]、SANA, July 8, 2013)。第2回中央委員会の拡大会合は2017年4月22日に開催された。会合はB・アサドが議長を務め、2011年以降のシリア情勢に対する党の姿勢や今後の方針などについて演説した。会合には、B・アサドのほか、シリア地域指導部メンバーも出席した。B・アサドは演説のなかで、「アラブの春」波及以降の6年におよぶ戦争状態のなかで、国民とコミュニケーションを深め、現状に対処するため、バース党が存在を強めるインセンティブが高まったと述べる一方、党がそのパン・アラブ主義という理念ゆえに、紛争の当初から政治、メディアといったレベルで標的となってきたとの見方を示した。具体的には、シリアに敵対する国、とりわけ「ワッハーブ主義・ムスリム同胞団テロ」(al-Irhāb al-Wahhābī wa al-Ikhwānī)があらゆるツールを駆使してシリアに対する戦争をしかけてきたと振り返るとともに、こうした攻撃の目的の一つが、パン・アラブ主義という理念を断念させることにあったと主張した。そのうえで、バース党は自らの行動を再活性化するために新たな思考や行動を見出すべきだと主張し、党内でのデスクワークだけに専念せず、あらゆる場所で国民に触れるよう指示した。また、シリア軍が化学兵器攻撃を行ったと主張する米国が2017年4月7日に対抗措置としてヒムス県シャイラート航空基地に対して行ったミサイル攻撃については、シリア軍が戦果を得るたびに、米国をはじめとする西側諸国はテロリストに利するような干渉を行うと非難した。そのうえで「テロとの戦い」はシリア国内でテロリストがいる限り止むことなく、シリアの統合や主権を脅かそうとする欧米諸国のシナリオに対抗し続けると強調した。会合ではその後、出席者を交えたかたちで質疑応答が行われた。会合は中央委員会とシリア地域指導部の人事改編を承認して閉幕した(青山[2018]、SANA, April 22, 2017)。改選された中央委員会には、2人のクルド人、すなわちリヤード・ターウース(Riyād Tāwūs、当時人民議会議員)、アフマド・カーディリー(Aḥmad al-Qādirī、当時農業・農業改革大臣)が結党以来、初めてメンバー入りした(Rudaw, April 25, 2025)。

9. 民族指導部とシリア地域指導部の廃止、中央指導部の新設

2017年5月14日、バース党の民族指導部はダマスカスで第14回民族大会を開幕した。「創設指導者ハーフィズ・アサド大会」(Muḥtamar al-Mu'assis Ḥāfīz al-Asad)と名づけられた大会には民族指導部メンバー、シリア

地域指導部メンバー、中央委員会メンバー、監査委員会メンバー、レバノン、パレスチナ、ヨルダン、イラク、イエメン、スーダン、チュニジア、モーリタニアの代表ら多数が出席した。シリア地域指導部書記長兼中央委員会書記長を務めるB・アサドは大会には出席しなかった。

17年ぶりとなった民族大会は、時代の変化や若者世代のヴィジョンや志向の変化に対応するかたちで、よりふさわしい組織体系を再構築することを目的として開催され、まず副書記長を務めるアブドゥッラー・アフマル(‘Abd Allāh al-Ahmar)以下民族指導部メンバー全員が辞表を提出した。そして、各国の代表全員から構成される「民族評議会」(Majlis al-Qawmī)という新たな枠組みを設け、定期会合を通じた集団指導体制をとることが決議された。続いて、シリア地域指導部副書記長のヒラール・ヒラール(Hilāl al-Hilāl)が大会議長に選出され、党の組織基盤、民族評議会の役割や権能についての審議が行われた。大会議長を務めたヒラールは、この審議において、民族評議会の次回定期会合で審議する「バース民族憲章」(Mithāq Qawmī li-l-Ba‘th)に関する提案を行うよう出席者に要請した(SANA, May 14, 2017)。

その後、2018年10月8日、中央委員会会合が開かれ、議長を務めるB・アサドが政治・軍事情勢の進捗についての報告を行い、質疑応答も行われた(SANA, October 8, 2018)。このなかで、B・アサドは、シリア情勢をめぐって、政府、反体制派、イスラーム国、ロシア、イラン、米国、ヨルダン、イスラエルがシリア内戦の膠着に向けた行ったいわゆる「世紀の取引」(Safaqa al-Qam, 青山[2021b:168-192])に言及、それが最近のシリア情勢に少なからぬ影響を与えているとの見方を示す一方で、多くの国がこれを利用し、イスラエルとの対決から身を引こうとしているとして、以下のように批判した。

イドリブ県での戦闘を前にして我々が目の当たりにした西側諸国のヒステリーは、この戦いが彼らにとって運命的な出来事になるからだ。そこでのシリア人の勝利は、シリアに対する彼らの計画の失敗をもたらすだろう。シリアの復活は、この地域における彼らの計画に立ちはだかる脅威なのだ。この勝利が「世紀の取引」というかたちをとるにせよ、それ以外のかたちをとるにしても、それはこの地域の国々、そして世界にとって新たなモデルとなろう。

シリア政府の姿勢は明白で、同県、そしてシリア政府の支配下でないそのほかのシリアの領土がシリア政府の支配下に復帰する、というものだ。(ロシア・トルコによるイドリブ県での非武装地帯設置にかかる)合意は一時的な措置だ。国家はこの間、現場で多くの成果を実現した。その筆頭にあげられるのが流血の停止だ。

我々が勝利に向かって前進するたびに、シリアの敵は、軍事、政治、経済、社会とって面でシリアを消耗させるための試みを集中させるだろう。その一方で、我々は、戦争と同じように深刻な国内の諸問題に対処することになる…。我々は、混乱やテロの温床となってきた一部社会階層をリハビリするための戦いに打って出る。これらの社会階層が亀裂をもたらし、シリアが将来再び狙われることがないようにするために。バース党は、戦争がもたらした結果に対処するための役割を担わなければならない。社会、そして社会が経験した変化を精査し、社会のなかで広まった主題や概念のイメージ、そして定義を明示しなければならない。言動と信条を一致させるための活動を実行しなければならない。社会のさまざまな階層に党は到達する能力を持つために、これらのことをしなければならない。

い。

党中央委員会の活動に力点を置き、その役割を活性化させる必要がある。この会合を通じて示されたすべての提案は、実施のための明確な仕組みを伴うもので、この仕組みを通じて、明確な日程を伴った任務が定められることになる…。対話の仕組みを構築し、党のさまざまな指導部のレベルで決定を遂行するためのより良い仕組み確立するために、対話を継続する必要がある(SANA, October 8, 2018、「シリア・アラブの春顛末記」2018年10月8日)。

B・アサドは、この会合で、民族指導部を廃したことに伴う組織改編の一環として、シリア地域指導部の名称を中央指導部(al-Qiyāda al-Marqazīya)に変更することを表明した(al-Waqtan, October 8, 2018)。

10. シリア地域の現況: 党員数、支部、支局

バアス党の組織については、本章第3節において、1950年代に確立した組織全体の構造を概観したが、以下では、シリア国内における党の組織構造について解説する。

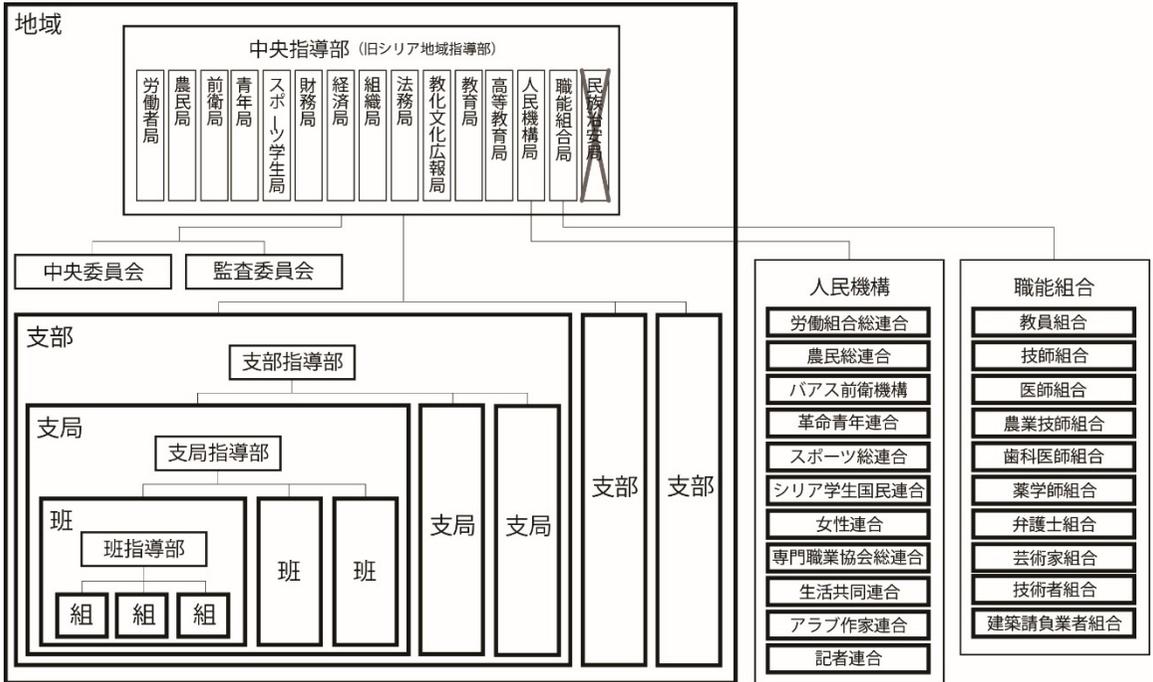
シリア・バアス党の党員数は正確には不明だが、2010年代初めの時点で280万人を擁するとされ(Lund [2013])、シリアにおける最大の規模の政党である。

党組織は、執行機関である中央指導部(旧シリア地域指導部)を頂点とする上意下達型の構造を持ち、同指導部が統括する地域(シリア)の下に支部、支局、班、組といった下位の組織が配置されている。これら下位の組織は、それぞれ支部指導部、支局指導部、班指導部という執行機関を有する。一方、意思決定は、シリア地域大会が開催されない現状においては、中央委員会(あるいは中央委員会拡大会合)が事実上の最高意思決定機関となっている(図1を参照)。

第3回中央委員会拡大会合が開催された2024年時点のシリア地域における支部と支局の構成は以下の通りである。

- ▶ **ダマスカス支部:**ダマスカス市第1支局(Shu'ba al-Madīna al-Ūlā)、ダマスカス市第2支局(Shu'ba al-Madīna al-Thāniya)、ダマスカス市第3支局(Shu'ba al-Madīna al-Thālitha)、ダマスカス市第4支局(Shu'ba al-Madīna al-Rābi'a)、ダマスカス市第5支局(Shu'ba al-Madīna al-Khāmisa)、経済支局(Shu'ba al-Iqtisādīya)、サービス第1支局(Shu'ba al-Khidmāt al-Ūlā)、サービス第2支局(Shu'ba al-Khidmāt al-Thāniya)、中央支局(Shu'ba al-Markazīya)、労働者第1支局(Shu'ba al-'Ummāl al-Ūlā)、労働者第2支局(Shu'ba al-'Ummāl al-Thāniya)
- ▶ **ダマスカス郊外支部:**カトナー支局(Shu'ba Qatnā)、キスワ地区(Shu'ba al-Kiswa)、クタイファ支局(Shu'ba al-Qutayfā)、クドスィーヤー支局(Shu'ba Qudsīyā)、ザバダーニー支局(Shu'ba al-Zabadānī)、タッル支局(Shu'ba al-Tall)、ドゥーマー第1支局(Shu'ba Dūmā al-Ūlā)、ドゥーマー第2支局(Shu'ba Dūmā al-Thāniya)、西グータ支局(Shu'ba al-Ghūta al-Gharbiya)、ナブク支局(Shu'bat al-Nabk)、東グータ地区(Shu'ba al-Ghūta al-Sharqiya)、ヤブルード支局(Shu'bat Yabrūd)
- ▶ **ダルアー支部:**ダルアー市支局(Shu'ba Madīna Dar'ā)、ダルアー農村支局(Shu'ba al-Rīf)、イズラア支局(Shu'ba Izra'), サナミン支局(Shu'ba al-Šanamayn)、シャジャラ支局(Shu'ba al-Shajara)、ナワー支局(Shu'ba Nawā)、

図1 シリアのバース党の組織構造



(注)民族治安局(国家安全保障局)は、2009年7月に国民安全保障会議(Maktab al-Amn al-Waṭānī)に改編され、党機関から大統領府直轄の組織となった。

(出所)青山[2018]、*Akhbār al-Sharq*, July 10, 2009 などをもとに青山作成。

ブスラー・シャーム支局(Shu'ba Buṣrā al-Shām)、ヤルムーク支局(Shu'ba Yarmūk)、高等教育支局(Shu'ba al-Ta'lim al-Ālī)

- ▶ スワイダー支部: スワイダー市支局(Shu'ba al-Madīna)、スワイダー中央区西部支局(Shu'ba al-Markaz al-Gharbīya)、スワイダー中央区東部支局(Shu'ba al-Markaz al-Sharqīya)、クライヤー支局(Shu'ba al-Qurayyā)、サルハド支局(Shu'ba Ṣalkhad)、シャフバー支局(Shu'ba Shabbā'), 高等教育支局(Shu'ba al-Ta'lim al-Ālī)
- ▶ クナイトラ支部: 第1支局(al-Shu'ba al-Ūlā)、第2支局(al-Shu'ba al-Thāniya)、第3支局(al-Shu'ba al-Thālītha)、第1前線支局(Shu'ba al-Khuṭuṭ al-Amāmīya al-Ūlā)、第2前線支局(Shu'ba al-Khuṭuṭ al-Amāmīya al-Thāniya)、在ダルアー・クナイトラ支局(Shu'ba al-Qunayṭra fi Dar'ā)
- ▶ ヒムス支部(Far' Hims): ヒムス市第1支局(Shu'ba al-Madīna al-Ūlā)、ヒムス市第2支局(Shu'ba al-Madīna al-Thāniya)、ヒムス市第3支局(Shu'ba al-Madīna al-Thālītha)、ヒムス中央区第1支局(Shu'ba al-Markaz al-Ūlā)、ヒムス中央区第2支局(Shu'ba al-Markaz al-Thāniya)、カルヤタイン支局(Shu'ba al-Qaryatayn)、クサイル支局(Shu'ba al-Quṣayr)、シーン支局(Shu'ba Shīn)、スフナ支局(Shu'ba al-Sukhna)、タッルカラフ支局(Shu'ba Tallkalakh)、タドムル支局(Shu'ba Tadmur)、マフザム支局(Shu'ba Maḥzam)、ラスタン支局(Shu'ba al-Rastan)、教育支局(Shu'ba al-Tarbiya)、殉教者バースイル・アサド支局(Shu'ba al-Shahīd Bāsīl al-Asad)
- ▶ ハマー支部: ハマー市第1支局(Shu'ba al-Madīna al-Ūlā)、ハマー市第2支局(Shu'ba al-Madīna al-Thāniya)、ガー

ブ支局(Shu'ba al-Ghāb)、サラミーヤ支局(Shu'ba Salamīya)、スーラーン支局(Shu'ba Šūrān)、ミスヤーフ支局(Shu'ba Misya'f)、ムハルダ支局(Shu'ba Muḥarda)、高等教育支局(Shu'ba al-Ta'lim al-Ālī)、農村支局(Shu'ba al-Rif)、労働者支局(Shu'ba al-'Ummālīya)

- タルトゥース支部: タルトゥース市第1支局(Shu'ba al-Madīna al-Ūlā)、タルトゥース市第2支局(Shu'ba al-Madīna al-Thāniya)、タルトゥース郡第1支局(Shu'ba al-Mintaqa al-Ūlā)、タルトゥース郡第2支局(Shu'ba al-Mintaqa al-Thāniya)、カドムス支局(Shu'ba al-Qaḍmūs)、サーフィーター支局(Shu'ba Šāfi'ā)、シャイフ・バドル支局(Shu'ba al-Shaykh Badr)、ドウライキーシュ支局(Shu'ba al-Duraykīsh)、バーニヤース市支局(Shu'ba Bāniyās)、バルマーナ支局(Shu'ba Barmāna)、マシユター支局(Shu'ba al-Mashīā)、経済支局(Shu'ba al-Iqtisādīya)、高等教育支局(Shu'ba al-Ta'lim al-Ālī)、労働者支局(Shu'ba al-'Ummālīya)
- ラタキア支部: ラタキア市第1支局(Shu'ba al-Madīna al-Ūlā)、ラタキア市第2支局(Shu'ba al-Madīna al-Thāniya)、ラタキア市第3支局(Shu'ba al-Madīna al-Thālītha)、ラタキア郡第1支局(Shu'ba al-Mintaqa al-Ūlā)、ラタキア郡第2支局(Shu'ba al-Mintaqa al-Thāniya)、カルダーハ支局(Shu'ba al-Qardāḥa)、ジャブラ第1支局(Shu'ba Jabla al-Ūlā)、ジャブラ第2支局(Shu'ba Jabla al-Thāniya)、ハツファ支局(Shu'ba al-Ḥaffa)
- イドリブ支部: イドリブ市支局(Shu'ba Madīna Idlib)、イドリブ郡支局(Shu'ba Mintaqa Idlib)、アリーハー支局(Shu'ba Ariḥā)、カフルタハーリーム支局(Shu'ba Kafr-Takhārim)、サラーキブ支局(Shu'ba Sarāqīb)、サルキーン支局(Shu'ba Sarqīn)、ジスル・シュゲール支局(Shu'ba Jisr al-Shughūr)、ハーリーム支局(Shu'ba Ḥārim)、ハーン・シャイフーン支局(Shu'ba Khān-Shaykhūn)、マアツラト・ニウマーン支局(Shu'ba Ma'arra al-Ni'mān)
- アレッポ支部: アアザーズ支局(Shu'ba A'zāz)、アイン・アラブ支局(Shu'ba 'Ayn al-'Arab)、アフリーン支局(Shu'ba 'Afrīn)、サフィーラ支局(Shu'ba al-Šafira)、ジャラーブルス支局(Shu'ba Jarābulus)、ダイル・ハーフィル支局(Shu'ba Dayr Ḥāfir)、バーブ支局(Shu'ba al-Bāb)、マンビジュ支局(Shu'ba Manbij)、教育第1支局(Shu'ba al-Tarbiya al-Ūlā)、教育第2支局(Shu'ba al-Tarbiya al-Thāniya)、教育第3支局(Shu'ba al-Tarbiya al-Thālītha)、自由職業支局(Shu'ba al-Mīhan al-Ḥurra)、殉教者タイスイール・ハラビー支局(Shu'ba al-Shahīd Taysīr al-Ḥalabī)、殉教者ムハンマド・シハーダ支局(Shu'ba al-Shahīd Muḥammad Shihāda)、殉教者ムヒーツディーン・バックール支局(Shu'ba al-Shahīd Muḥī al-Dīn Bakkūr)、就労者支局(Shu'ba al-Muwazzafīn)、労働者第1支局(Shu'ba al-'Ummāl al-Ūlā)、労働者第2支局(Shu'ba al-'Ummāl al-Thāniya)、労働者第3支局(Shu'ba al-'Ummāl al-Thālītha)、労働者第4支局(Shu'ba al-'Ummāl al-Rābi'a)
- ラッカ支部: ラッカ市支局(Shu'ba al-Madīna)、サウラ支局(Shu'ba al-Thawra)、タッル・アブヤド支局(Shu'ba Tall-Abyad)、ユーフラテス河畔支局(Shu'ba Ḥawḍ al-Furāt)、教育支局(Shu'ba al-Tarbiya)、農村第1支局(Shu'ba al-Rif al-Ūlā)、農村第2支局(Shu'ba al-Rif al-Thāniya)
- ダイル・ザウル支部: ダイル・ザウル市第1支局(Shu'ba al-Madīna al-Ūlā)、ダイル・ザウル市第2支局(Shu'ba al-Madīna al-Thāniya)、ブーカマル支局(Shu'ba al-Būkamāl)、マヤーディーン支局(Shu'ba al-Mayādīn)、高等教育支局(Shu'ba al-Ta'lim al-Ālī)、農村第1支局(Shu'ba al-Rif al-Awwal)、農村第2支局(Shu'ba al-Rif al-Thāni)
- ハサカ支部: ハサカ市支局(Shu'ba Madīna al-Ḥasaka)、ハサカ農村支局(Shu'ba Rif al-Ḥasaka)、カーミシュリー市支局(Shu'ba Madīna al-Qāmishlī)、カーミシュリー農村支局(Shu'ba Rif al-Qāmishlī)、シャツダーディー支局(Shu'ba al-Shaddādī)、ジャブサ支局(Shu'ba al-Jabsa)、マーリキーヤ支局(Shu'ba al-Mālikīya)、ラアス・アイン支局(Shu'ba

Ra's al-'Ayn)、ルマイラーン支局(Shu'ba Rumaylān)、高等教育支局(Shu'ba al-Ta'lim al-'Ālī)

- ダマスカス大学支部: 第 1 支局(al-Shu'ba al-Ūlā)、第 2 支局(al-Shu'ba al-Thāniya)、第 3 支局(al-Shu'ba al-Thālitha)、第 4 支局(al-Shu'ba al-Rābi'a)
- バアス大学支部: 第 1 支局(al-Shu'ba al-Ūlā)、第 2 支局(al-Shu'ba al-Thāniya)、第 3 支局(al-Shu'ba al-Thālitha)
- ティシュリーン大学支部: 第 1 支局(al-Shu'ba al-Ūlā)、第 2 支局(al-Shu'ba al-Thāniya)、第 3 支局(al-Shu'ba al-Thālitha)
- アレッポ大学支部: 殉教者アドナーン・マーリキー支局(Shu'ba al-Shahīd 'Adnān al-Mālikī)、殉教者アフダル・アラビー支局(Shu'ba al-Shahīd al-Akhḍar al-'Arabī)、殉教者アフマド・アッザーウィー支局(Shu'ba al-Shahīd Aḥmad al-'Azzāwī)、殉教者ムハンマド・ワリード・ムルキー支局(Shu'ba al-Shahīd Muḥammad Walīd Mulqī)

III. 代表選挙

1. 実施に向けた準備

中央委員会は2023年12月16日に会合を開き、第3回中央委員会拡大会合の出席者、すなわち代表を選出するための代表選挙の準備にかかる行程案を審議した。議長を務めた中央指導部書記長のB・アサドは、この会合において、現段階での党活動の基準全般、拡大会合の議題、代表選挙の実施に関する提案項目について詳細に説明を行い、以下のように述べた。

この会合(第3回中央委員会拡大会合)は、そこで提案事項を承認することで、党活動のシステムだけでなく、いずれは国家と社会に変化と刷新をもたらすことになる。選挙は、こうした道のりなかにあつて、必ずしも大きな一歩とはならないかもしれない。だが、アラブ世界においてもっとも古い政党の一つであるバアス党にとって、選挙は必要かつ重要である。

この選挙(代表選挙)は、一方でバアス黨員どうしの関係を、他方でバアス黨員と社会の関係のありようをさまざまなかたちで表現することになる。そこで生じる肯定的側面が有益であるように、我々は否定的側面を恐れず、それもまた有益なものとなるだろう。なぜなら、そこには警告が込められており、党は過ちに対処し、克服する能力があるからだ。

提出された提案は、党の指導部、黨員、各機関における議論の成果で、黨員や各機関に提案が示されてからも、議論は終わることなく、続けられている。議論は、数十年間にわたり、信頼や縁故に基づいて何度も繰り返されてきた任命を経て行われてきたからだ。こうした状態を完全に抑えることはできないが、選挙は正しい方向に進むために取り組むべき一歩であり、それを通じて肯定的側面が現れれば、それらは強化されることになる。否定的側面が生じれば、対処されることになる。否定的側面や過ちに対応することは、そこから逃避したり、無視したりするより良いことだ。

B・アサドはそのうえで以下3点を力説した——①各指導部のもとで実施される選挙への参加を拡大し、草の根レベルを強化、選挙とその結果に対する責任を負わせ、取り組むべき課題を示すこと、②意識、行動、コミットメントのレベルを高め、問題視されている否定的な選挙介入や談合を克服すること、③選挙を監督するため、候補者以外の黨員からなる委員会の設置(SANA, December 15, 2023)。

この会合に至るまでの過程で、第3回中央委員会拡大会合は、以下2段階の代表選挙を経て、出席者、すなわち代表を選出することが決定された。

- 第1段階:各支局における選挙。出席を希望する支局の黨員のなかから代表候補を選出。
- 第2段階:各支部における選挙。第1段階で選出された各支局の代表候補者と支部の黨員のなかから代表を選出。

続いて、中央指導部が2023年12月20日、Facebookの公式アカウント(Facebook (@al.baath.party.in.syria), December 20, 2023)を通じて、代表選挙を監督する高等選挙委員会を設置したと発表した。委員会は以下9人

によって構成された。

- ハリール・マシュハディーヤ (Khalil Mashhadīya) 委員長
- スブヒー・ハルブ (Subhī Harb)
- ガッサーン・アサド (Ghassān As‘ad)
- ムワッファク・バーシャー (Muwaffāq al-Bāshā)
- ムハンマド・ユースフ・ハーシム (Muḥammad Yūsuf Hāshim)
- タイスイール・サマーディー (Taysīr al-Ṣamādī)
- サイド・ナヒーリー (Sa‘īd Naḥīrī)
- ハーミド・ハサン (Hāmid Hasan)
- ザーヒラ・バシュマーニー (Zahira Bashmānī)

B・アサドは 2023 年 12 月 24 日、高等選挙委員会メンバーと会談し、代表選挙の準備、投票、集計の段階において、独立性と中立性を確保するよう強調し、以下のように述べた。

高等選挙委員会の役割は、中央委員会が承認した基準と基礎に従って選挙手続きを保証することで、これは党幹部や党員の期待を反映したものである。

高等選挙委員会は、いかなる個人や勢力の活動への介入や圧力を許してはならず、主たる目標は選挙の公正さと透明性の確保で、党の大衆的基盤の真の代表性を反映させることにある。

選挙には、肯定的側面と否定的側面があるが、それは、党と党員に対して責任を持つ指導部を選ぶ最善の方法である。しかし、選挙の経験においてもっとも重要なのは、すべての候補者の機会均等を実現することにある。

高等選挙委員会による選挙の監督は、党の活動を発展させ、選挙プロセスを維持および強化するためのツールの一つで、選挙結果がバアス党の進歩とその国家的役割の発展の基礎となる。

高等選挙委員会の本質は、選挙の透明性を確保し、先日の党中央委員会会合の決定を完全かつ厳格に遵守し、選挙の不正を防止することにある (SANA, December 24, 2023, 「シリア・アラブの春顛末記」2023 年 12 月 24 日)。

B・アサドは、2024 年 1 月 27 日にも高等選挙委員会メンバーと会合を開き、同委員会が行った支部や各県の視察に際して、党員から受けた代表選挙の手続きにかかる質問への回答内容、選挙の公正性や代表制を確保するために規則面での精査や見直しが必要と思われる点についての説明を受けた。

B・アサドはメンバーに対して、委員会に対して強い責任を示し、支部の党員との透明で豊かな対話プロセスを運営するよう指示した。また、選挙監視の経験の成否は、拡大会合に先立って、支部および支局において実施される投票において培われるもので、この経験が民主的プロセスの一部とならうとして、自分たちがこの経験の透明性と成功の要件を築いていかなければならないと強調した。さらに、科学的且つ正確に今回の経験を評価する必要がある、規則を運用するにあたって生じるかもしれない齟齬について修正するよう求めた。

会合では、選挙プロセス実施にかかる方法論、各支部視察に際して得られた主要な新課題、支部ごとの特殊事情やそれが規則に与える影響などについて議論がなされた。委員会からは、一部の県の支部に存在する非正規党員が、拡大大会の代表制に与える影響などについての問題提起がなされた。また、支局レベルでの当選者が支部レベルでの選挙で立候補を辞退する権利、この権利行使にかかる手続きなどについても問題提起がなされた (Facebook (@al.baath.party.in.syria), January 27, 2024, SANA, January 27, 2024)。

2. 第1段階

代表選挙の第1段階である支局での選挙は2024年2月1日から3月11日にかけて実施された。各支局では選挙に向けた大会が開催され、最高選挙委員会監視のもと、候補者受付と投票が行われた。

◇2024年2月1日

代表選挙第1段階の候補者受付がヒムス支部を皮切りに開始され、党員に対してワッツアップ (<https://whatsapp.com/channel/0029VaFWid2HFxP5Zpi7HK1C>) やテレグラム (<https://t.me/baathparty47>) を通じて情報をフォローすることが呼びかけられた (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 1, 2024)。

◇2024年2月5日

ヒムス支部のヒムス市第3支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 5, 2024)。

ヒムス支部ヒムス市第3支局

- ナーディル・ハムドゥーシュ (Nādir Ḥamdūsh) 136 票
- スライマーン・ムハンマド (Sulaymān Muḥammad) 125 票
- マーリク・バルバル (Mālik Barbar) 122 票
- ルーディー・ダルダル (Luḍī Dardar) 118 票
- バラー・ハティーブ (Barā' al-Khaṭīb) 108 票
- タマーラー・クールクワー (Tamārā Kūlkwā) 107 票
- アリー・ダルブリー (‘Alī Darbūlī) 102 票
- イサーム・ジューフダール (‘Iṣām Jūkhḍār) 101 票
- ユースフ・カーシム (Yūsuf Qāsim) 88 票

また、アレッポ支部でも、代表選挙第1段階の候補者受付が開始された (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 5, 2024)。

◇2024年2月6日

ヒムス支部のヒムス市第2支局、ヒムス中央区第1支局、ヒムス中央区第2支局、タドムル支局、殉教者バースィル・アサド支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 6, 2024)。

ヒムス支部ヒムス市第2支局 (獲得票数は公表されず)

- ルーディー・イーサー (Lūdī 'Īsā)
- ガイサー・ハティーブ (Ghaythā' al-Khaṭīb)
- ムハンマド・フドル・フサイン (Muḥammad Khudr al-Ḥusayn)
- アーリフ・シャイフ ('Ārif al-Shaykh)
- ムハンマド・アッバース (Muḥammad 'Abbās)
- バッシュヤール・フドル (Bashshār al-Khudr)

ヒムス支部ヒムス中央区第1支局

- サーイル・ナスル・フドゥール (Sā'ir Naṣr Khudūr) 133 票
- アブドゥルハミード・ナーイフ・アウダ ('Abd al-Ḥamīd Nāyif 'Awda) 121 票
- ギヤース・シャアバーン・シャンマ (Ghiyāth Sha'bān Shamma) 119 票
- アフマド・ムハンマド・イブラーヒーム (Aḥmad Muḥammad al-Ibrāhīm) 93 票
- アリー・カーミル・バルフーム ('Alī Kāmil Barhūm) 92 票
- アブドゥッサラーム・イリヤース・ハッダード ('Abd al-Salām Iliyās Ḥaddād) 90 票

ヒムス支部ヒムス中央区第2支局

- ワフイーク・マフムード・ジャウラーニー (Wafīq Maḥmūd al-Jawrānī) 115 票
- ハーリド・ムハンマド・ダーヒル (Khālid Muḥammad al-Dāhir) 112 票
- ウスマーン・ビツリー・ウスマーン ('Uthmān Birī al-'Uthmān) 107 票
- ムンズィル・ハサン・ハマーディー・クーサー (Mundhir Ḥasan Ḥamādī al-Kūsā) 106 票
- トウルキーヤ・ムハンマド・イブラーヒーム (Turkīya Muḥammad al-Ibrāhīm) 104 票
- サラーフ・ムハンマド・ハーリド・アクラア (Salāh Muḥammad al-Khālid al-Aqra') 97 票
- ナーディル・アミン・トゥウマ (Nādir Amīn Ṭu'ma) 94 票
- ハイサム・ムハンマド・ミスリー (Haytham Muḥammad al-Misrī) 92 票
- トゥフファ・ミーハーイール・アード (Tuḥfa Mikhā'il 'Ād) 86 票

ヒムス支部タドムル支局

- イブラーヒーム・ユースフ (Ibrāhīm Yūsuf) 44 票
- ミシュアル・ハンムード (Mish'al al-Ḥammūd) 41 票
- ファウワーズ・ハンムード (Fawwāz al-Ḥammūd) 40 票

- ムハンマド・ムハンマド (Muḥammad al-Muḥammad) 40 票
- ファイサル・サギール (Fayṣal al-Ṣaghīr) 38 票
- ザキー・ウライウィー (Zakī al-'Ulaywī)¹ 35 票

ヒムス支部教育支局 (獲得票数は公表されず)

- ファード・アースイー (Fu'ād 'Āṣī)
- フィラス・サーリフ・アイヤーシュ (Fīrās Ṣāliḥ 'Ayyāsh)
- バースィル・シャフダー (Bāsil Shāhdā)
- ナジュワー・サムーニー (Najwā al-Samūnī)
- スハイラ・シハーダ (Suhayla Shihāda)
- ハーリド・ジュナイヤート (Khālid Junayyāt)

ヒムス支部殉教者バースィル・アサド支局 (獲得票数は公表されず)

- イーサー・サイード・スライマーン ('Īsā Sa'īd Sulaymān)
- ムハンマド・マルイー (Muḥammad al-Mar'ī)
- イーサー・サッルーム ('Īsā Sallūm)
- マスアブ・バックール (Maṣ'ab Bakkūr)
- ナスル・スライマーン (Naṣr al-Sulaymān)
- ラーミー・ユースフ (Rāmi al-Yūsuf)
- ファーディー・イブラーヒーム (Fādī Ibrāhīm)
- ジョルジュ・ドゥーマト (Jūrj Dūmat)
- サアドウツラー・スライマーン (Sa'd Allāh Sulaymān)
- アフマド・シャフフード (Aḥmad Shaḥḥūd)
- ガラーム・ジャルウィーシュ (Gharām Jarwīsh)
- ラティーフ・トゥウマ (Laṭīf Ṭu'ma)
- アフマド・マンスール (Aḥmad Manṣūr)
- ワルダ・ハルファーン (Warda Kharfān)
- ファイサル・ハンムード (Fayṣal Ḥammūd)

◇2024年2月7日

ヒムス支部のヒムス市第1支局、クサイル支局、シーン支局、タッルカラフ支局、マフザム支局、ラスタン支局、バース大学支部の第2支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 6, 2024)。

¹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 6, 2024 (こは、「ウライウィー」ではなく、「アラウィー」(al-'Alawī)と記載(誤記)されていた。

ヒムス支部ヒムス市第1支局

- フドル・シブリー (Khuḍr al-Shibī) 147 票
- ターリク・フドル (Ṭāriq al-Khuḍr) 137 票
- カナアーン・ジャウダ (Kana'ān Jawda) 133 票
- アブドウルムウミン・カシュラク ('Abd al-Mu'min al-Qashlaq) 128 票
- ヤフヤー・キンヤール (Yahyā Kinyār) 127 票
- サミーフ・ズカイミー (Samīḥ al-Zukaymī) 122 票
- スライマーン・シャリーディー (Sulaymān al-Sharīdī) 122 票
- ハサン・フマイダーン (Ḥasan Ḥumaydān) 98 票
- アブドゥッラー・バウワーブ ('Abd Allāh al-Bawwāb) 90 票

ヒムス支部クサイル支局

- ファフミー・ムハンマド・ターリブ (Fahmī Muḥammad al-Ṭālib) 121 票
- イリヤース・ナフラ・ザハビー (Ilyās Nakhla Dhahabī) 120 票
- スナー・ムハンマド・アリー (Ṭhunā' Muḥammad al-'Alī) 117 票
- アンワル・アブドウルハーリク・ムヒブツッディーン (Anwar 'Abd al-Khāliq Muḥibb al-Dīn) 117 票
- アフマド・イブラーヒーム・アブドゥッラー (Aḥmad Ibrāhīm al-'Abd Allāh) 109 票
- バドル・マフムード・ラアド (Badr Maḥmūd Ra'd) 105 票
- ムハンマド・ハミード・アイユーブ (Muḥammad Ḥamīd Ayyūb) 105 票
- ムニーフ・シャリーフ・ハサン (Munīf Sharīf al-Ḥasan) 105 票
- ライーフ・アリー・ザイナ (Ra'īf 'Alī Zayna) 101 票

ヒムス支部シーン支局

- アフマド・ナーシル (Aḥmad Nāsir) 91 票
- アフマド・ハサン (Aḥmad Ḥasan) 83 票
- アフマド・ハムダーン (Aḥmad Ḥamdān) 82 票
- アフマド・アウダ (Aḥmad 'Awda) 81 票
- ガーニム・ガーニム (Ghānim Ghānim) 81 票
- ワラー・フザイム (Walā' Huzaym) 77 票
- ダルウィーシュ・ダルウィーシュ (Darwīsh Darwīsh) 76 票
- ラミース・ドゥユーブ (Lamīs Duyūb) 74 票
- ライーフ・アリー (Ra'īf 'Alī) 75 票

ヒムス支部タッルカラフ支局

- アリー・アブドウルカリーム・サンカリー ('Alī 'Abd al-Karīm Sankarī) 218 票
- イブラーヒーム・ラマダーン・ジャアルーク (Ibrāhīm Ramaḍān Ja'lūk) 211 票

- イブラーヒーム・アリー・イドリース (Ibrāhīm ‘Alī Idrīs) 210 票
- ムハンマド・サーリフ・ラーイー (Muḥammad Salīḥ al-Ra‘ī) 210 票
- ムハンマド・アーリフ・アリー (Muḥammad ‘Ārif al-‘Alī) 209 票
- サミール・スライマーン・アツバース (Salīḥ Sulaymān ‘Abbās) 209 票
- ターリク・ジャミール・アツブード (Tāriq Jamīl ‘Abbūd) 208 票
- ハナー・ジャウヒード・ミクダスィー (Hanā’ Jawhīd Miqdāsī) 200 票
- アスアド・サーリフ・アリー (As‘ad Ṣālīḥ al-‘Alī) 199 票
- ジャービル・アントゥーニーウス・タンヌース (Jābir Antūnīus Ṭannūs) 199 票
- イーサー・ザキー・アツブード (‘Īsā Dhakī ‘Abbūd) 190 票
- ザカリヤー・ムハンマド・ミスリー (Zakariyā Muḥammad al-Misrī) 190 票
- アクラム・ラシード・クライシャ (Akram Rashīd Qulaysha) 188 票
- ダマル・ハサン・アリー (Damar Ḥasan ‘Alī) 187 票
- イリヤース・ユースフ・フーリー (Iliyās Yūsuf al-Khūrī) 174 票

ヒムス支部マフザム支局

- ルダイナ・ナーシル (Rudayna al-Nāṣir) 112 票
- マアムーン・ハウラーニー (Ma‘mūn al-Ḥawrānī) 110 票
- シャーディー・フサイン (Shādī al-Ḥusayn) 101 票
- アーミル・シャアバーン (‘Āmir Sha‘bān) 93 票
- ラナー・スライマーン (Ranā al-Sulaymān) 86 票
- ヤフヤー・アクラー (Yaḥyā al-‘Aqlā) 85 票
- スナー・トゥーン (Ṭunā’ al-Tūn) 83 票
- ウマイマ・フドウル (Umayma Khuḍūr) 80 票
- ムハンマド・ハティーブ (Muḥammad al-Khaṭīb) 78 票

ヒムス支部ラスタン支局

- アフマド・スイブサイビー (Aḥmad al-Sibsibī) 99 票
- アブドゥルハキーム・サルミーニー (‘Abd al-Ḥakīm al-Samīnī) 89 票
- ムスリフ・ザギーラ (Muṣliḥ al-Dhaghīla) 87 票
- ムハンマド・サミール・ザバーティフ (Muḥammad Samīr Zabāṭīḥ) 75 票
- アリー・アッルーシュ (‘Alī al-‘Allūsh) 69 票
- サミー・マンスール (Sāmī Maṣūr) 69 票

バース大学支部第2支局

- アブドゥンナーシル・アアラジュ (‘Abd al-Nāṣir al-‘A‘raj) 51 票
- ミシェル・ナツジャール (Mīshīl al-Najjār) 49 票

- ハナー・ジャーシム (Hanā' al-Jāsim) 49 票
- ハサン・マシュリキー (Hasan Mashriqī) 46 票
- ムスタファー・ミスリー (Muṣṭafā al-Misrī) 46 票
- バラーウ・イブラーヒーム (Barā' Ibrāhīm) 42 票

◇2024年2月8日

ハマー支部のハマー市第1支局、第2支局、ラッカ支部のラッカ市支局、教育支局、バース大学支部の第3支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 8, 2024)。

ハマー支部ハマー市第1支局

- アイマン・ダッカーク (Ayman al-Daqqāq) 88 票
- ハイダル・フィルダーウィー (Ḥaydar Firdāwī) 83 票
- サファー・キーマ (Ṣafā' Qīma) 70 票
- アーミル・ハムスィーヤ (‘Āmir Khamūsiya) 68 票
- ムハンマド・カーミル・ザヒーヤ (Muḥammad Kāmil Zahīya) 55 票
- ムハンマド・アブドゥッラティーフ (Muḥammad ‘Abd al-Laṭīf) 49 票

ハマー支部ハマー市第2支局

- ラーイド・ムスタファー・ウスマーン (Rā'id Muṣṭafā ‘Uthmān) 71 票
- ムハンマド・アーミル・サイド (Muḥammad ‘Āmir al-Sayyid) 45 票
- バッシュャール・アブドゥルカーディル・ジュナイド (Bashshsār ‘Abd al-Qādir Junayd) 39 票
- ラウア・アブドゥー・ハイス (Raw'a ‘Aydū al-Ḥays) 38 票
- サーミル・サミーフ・アースィー (Sāmīr Sāmīḥ al-‘Āṣī) 37 票
- マスウード・アディーブ・ヤースィーン (Mas‘ūd Adīb al-Yāsīn) 34 票

ラッカ支部ラッカ市支局

- ムハンナド・ダルウィーシュ (Muhammad al-Darwīsh) 79 票
- アフマド・カヌー (Aḥmad al-Kanū) 59 票
- マアッラー・フワイディー (al-Ma‘allā al-Huwaydī) 55 票

ラッカ支部教育支局

- アフマド・ハサン (Aḥmad al-Ḥasan) 70 票
- アスアド・ハラフ (As‘ad al-Kharaf) 53 票
- マーズィン・イブラーヒーム (Māzin al-Ibrāhīm) 49 票

バース大学支部第3支局

- ハイサム・ファラフ (Haytham Farah) 50 票
- アーディル・マフラーティー (Ādil Makhhlān) 50 票
- スィールファー・ズィヤーダ (Sīfā Ziyāda) 47 票
- サール・アブド (Thāyir ‘Abbūd) 44 票
- バッサーム・クサイビー (Bassām Kusaybī) 43 票
- ジハード・アティーヤ (Jihād ‘Atīya) 42 票

◇2024年2月10日

ハマー支部の高等教育支局、農村支局、労働者支局、イドリブ支部のイドリブ市支局、カフルタハーリーム支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 10, 2024)。

ハマー支部高等教育支局

- シュクリヤー・ファーズ・ハツキー (Shukrīya Fāyiz Haqqī) 59 票
- ウサーマ・ムハンマド・タクラー (Usāma Muḥammad Taqlā) 58 票
- マフムード・ムハンマド・ハリール (Maḥmūd Muḥammad Khalīl) 55 票
- マーヒル・ムハンマド・フサイン (Māhir Muḥammad al-Ḥusayn) 52 票
- ヤースィーン・ムハンマド・ムフスィン (Yāsīn Muḥammad al-Muḥsin) 51 票
- ニューラー・スハイル・ハーキマ (Nūrā Suhayl Hākima) 43 票

ハマー支部農村支局

- ジャマール・マフムード・イブラーヒーム (Jamāl Maḥmūd al-Ibrāhīm) 169 票
- ライムーン・アブドゥッター・アブドゥッター (Raymūn ‘Abd Allāh ‘Abd Allāh) 166 票
- イーサー・アリー・アフマド (‘Īsā ‘Alī Aḥmad) 159 票
- ガーリブ・ラフアーン・アッサーフ (Ghālīb Raf‘ān ‘Assāf) 157 票
- アブドゥルムンイム・マムドゥーフ・サッラーム (‘Abd al-Mun‘im Mamdūh al-Sallūm) 155 票
- マーヒル・ジャーシム・ユヌス (Māhir Jāsīm al-Yūnus) 155 票
- ザカリヤー・ムハンマド・ムスタファー (Zakariyā Muḥammad al-Muṣṭafā) 153 票
- サリーム・アフマド・フルーフ (Salīm Aḥmad Khulūf) 153 票
- アブドゥッター・ディヤーブ・マフムード (‘Abd Allāh Diyāb al-Maḥmūd) 151 票
- ムフタマド・ディヤーブ・ギッダ (Muḥtamad Diyāb al-Ghidda) 150 票
- ムハンマド・シャラーシュ・シャラーシュ (Muḥammad Shalāsh al-Shalāsh) 146 票
- アミン・サーリフ・アズィーザ (Amīn Sālīh ‘Azīza) 144 票
- アブドゥルハミード・アフマド・アムーリー (‘Abd al-Ḥamīd Aḥmad al-‘Amurī) 143 票

- ヒクマ・イーサー・イブラーヒーム (Ḥikma ʿĪsā al-Ibrāhīm) 141 票
- アイマン・ムハンマド・カルハ (Ayman Muḥammad Kalkha) 138 票

ハマー支部労働者支局

- シャーディー・サアーダ (Shādī Saʿāda) 37 票
- ムハンマド・サウタル (Muḥammad Sawtal) 28 票
- ムハンマド・タクタナーズイー (Muḥammad Taqṭanāzī) 27 票

イドリブ支部イドリブ市支局

- ムスタファー・マンドウーラ (Muṣṭafā Mandūra) 79 票
- ナジーバ・ウスフル (Najība ʿUsfur) 75 票
- ムハンマド・ヤフヤー・アムーリー (Muḥammad Yahyā ʿAmūrī) 73 票
- ガッスーブ・シャアバーン・ジャウハル (Ghassūb Shaʿbān Jawhar) 73 票
- ムハンマド・ラマダーン・アスリーム (Muḥammad Ramaḍān Aslīm) 73 票
- ムハンマド・スライマーン・ムアーツズ (Muḥammad Sulaymān Muʿāzz) 60 票

イドリブ支部カフルタハーリーム支局

- ジャマール・ハッスーニー (Jamāl Ḥassūnī) 26 票
- イヤード・ユースフ (Iyād al-Yūsuf) 25 票
- ジャマール・アブドゥルアズィーズ (Jamāl ʿAbd al-ʿAzīz) 21 票

◇2024年2月11日

ハマー支部ガープ支局、サラミーヤ支局、スーラーン支局、ミスヤーフ支局、ムハルダ支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 11, 2024)。

ハマー支部ガープ支局

- サミール・ニウマ (Samīr Niʿma) 208 票
- アウファー・ワッスーフ (Awfā Wassūf) 200 票
- ファード・アクル (Fuʿād ʿAql) 193 票
- ムハンマド・アッジー (Muḥammad al-ʿAjī) 193 票
- リヤード・ズユード (Riyād Zuyūd) 182 票
- タラール・マウワース (Ṭalāl al-Mawwās) 173 票
- バルフーム・マスウード (Barhūm Masʿūd) 164 票
- インティサール・ハマウイー (Intṣār al-Hamawī) 158 票
- アマル・マフフード (Amal Maḥfūd) 158 票
- ムハンマド・ルアイディ (Muḥammad Ruʿaydī) 158 票

- シャーキル・ハンムード (Shākīr Ḥammūd) 154 票
- ジャマール・サルマーン (Jamāl Salmān) 152 票
- フィダー・ハッダード (Fidā' Ḥaddād) 149 票
- ヤフヤー・フサイヌー (Yahyā Ḥusaynū) 141 票
- ユースフ・バルフーム (Yūsuf Barhūm) 131 票

ハマー支部サラミーヤ支局

- アリージュ・シャーヒーーン (Arjī Shāhīn) 149 票
- ウサーマ・ハルバー (Usāma Ḥarbā) 147 票
- バッサーム・クアンヌーウ (Bassām Qannū') 135 票
- アブドウルカリーム・シーハーウィー ('Abd al-Karīm al-Shīhāwī) 132 票
- ガッサーン・ムフサイン (Ghassān al-Muḥsin) 125 票
- ハマーム・ディブヤート (Hamām al-Dibyāt) 125 票
- アフマド・ナーシル (Aḥmad Nāṣir) 124 票
- アフマド・ジャルディー (Aḥmad al-Jardī) 121 票
- タラール・ラズズーク (Ṭalāl Razzūq) 118 票
- イルハーム・スライマーン (Ilhām Sulaymān) 111 票
- スハード・ザイダーン (Suhād Zaydān) 110 票
- ムンズィル・サーリフ (Mundhīr al-Ṣāliḥ) 108 票
- ヤースィル・マフムード (Yāsīr al-Maḥmūd) 103 票
- ムハンマド・ヌスラ (Muḥammad Nuṣra) 102 票
- スライマーン・キファー (Sulaymān Kifā) 98 票

ハマー支部スーラーン支局

- アブドウルハリーム・ハリール ('Abd al-Ḥalīm Khalīl) 86 票
- アブドウルガフル・ハリール ('Abd al-Ghafūr al-Khalīl) 85 票
- アナス・トウルキー・アブー・ジャドアーン (Anas Turkī Abu Jad'ān) 72 票
- アフマド・ハリール (Aḥmad al-Khalīl) 68 票
- ムハンマド・カーシム (Muḥammad al-Qāsim) 66 票
- ハーフィズ・ダッラージュ (Ḥāfīz Darraj) 65 票
- ファーティマ・シャイフ (Fāṭima al-Shaykh) 64 票
- ナスル・アブドゥツラフマーン (Naṣr 'Abd al-Raḥmān) 63 票
- ハンムード・アッルーシュ (Ḥammūd 'Allūsh) 56 票

ハマー支部ミスヤーフ支局

- アサド・イーサー・イブラーヒーム (Asad 'Isā Ibrāhīm) 236 票

- サーイル・アフマド・ハラク (Thā'ir Aḥmad al-Ḥarak) 234 票
- スハイル・ジルジー・アースイー (Suhayl Jirjī 'Āṣī) 225 票
- アリー・マフムード・ウダイ ('Alī Maḥmūd al-'Uday) 220 票
- アニーサ・ヌールッディーン・スライマーン (Anīsa Nūr al-Dīn Sulaymān) 215 票
- ムハンマド・イブラーヒーム・クライブ (Muḥammad Ibrāhīm Kulayb) 203 票
- アブドウルハーディー・イブラーヒーム・ムスタファー ('Abd al-Hādī Ibrāhīm al-Muṣṭafā) 201 票
- マーズィン・アリー・ムハンマド (Māzin 'Alī Muḥammad) 198 票
- シャリーフ・アフマド・ハサン (Sharīf Aḥmad al-Ḥasan) 194 票
- ナズィーフ・カーミル・マフムード (Nazīf Kāmil Maḥmūd) 193 票
- アリー・マアルーフ・アツバース ('Alī M'rūf 'Abbās) 182 票
- フィラス・アリー・サルカル (Fīrās 'Alī al-Sarkal) 179 票
- アブドウルハーディー・ジャワード・アリー ('Abd al-Hādī Jawād 'Alī) 177 票
- ナジャート・ムハンマド・サイド・ザルフ (Najāt Muḥammad Sa'īd Zalf) 174 票
- ユーヌス・スライマーン・ナーシーフ (Yūnus Sulaymān Nāṣīf) 173 票

ハマー支部ムハルダ支局

- ムハンマド・マンスール (Muḥammad Maṣṣūr) 87 票
- ハーズィム・シャイフ (Ḥāzīm al-Shaykh) 85 票
- アブドウルカリーム・ジャマール ('Abd al-Karīm Jamāl) 77 票
- ズィヤード・ウマル (Ziyād al-'Umar) 77 票
- ファーティン・ザフルーク (Fātin Zahrūq) 72 票
- アブドゥンナーシル・バーズー ('Abd al-Nāṣir Bāzū) 69 票
- マムドーフ・アフマド (Mamdūḥ al-Aḥmad) 68 票
- ダッハム・サトーフ・ハサン (Dahḥām Saṭūf al-Ḥasan) 64 票
- サーリム・ドゥハーン (Sālim Dukhān) 62 票

また、イドリブ支部のイドリブ郡支局で代表選挙第 1 段階の候補者受付が行われた (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 11, 2024)。

◇2024年2月12日

ラタキア支部のラタキア市第 1 支局、ラタキア郡第 1 支局、カルダーハ支局、ジャブラ第 1 支局、ハツファ支局、ラッカ支部のサウラ支局、タッル・アブヤド支局、ユーフラテス河畔支局、ティシュリーン大学支部第 1 支局で代表選挙第 1 段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 12, 2024)。

ラタキア支部ラタキア市第1支局

- マーズィン・アフマド・アリー (Māzin Aḥmad ‘Alī) 138 票
- ムハンマド・ハーリド・アドハム (Muḥammad Khālīd Adham) 130 票
- バースィル・ムハンマド・アスラーン (Bāsir Muḥammad Aṣlān) 109 票
- ダッラール・ムハンマド・ハサン (Dallāl Muḥammad Ḥasan) 102 票
- サームイル・イスマーイール・シーハー (Sāmīr Ismā‘īl Shihā) 99 票
- ナズィーフ・アブドゥルカリーム・イブラーヒーム (Nazīh ‘Abd al-Karīm Ibrāhīm) 92 票

ラタキア支部ラタキア郡第1支局

- ムハンマド・アリー・ハンムデーイー (Muḥammad ‘Alī Ḥammūdī) 164 票
- スーリーン・アリー・マルタクーシュ (Sūlīn ‘Alī Martakūsh) 159 票
- ラフィーク・サーリフ・ナウファル (Rafīq Ṣāliḥ Nawfīl) 159 票
- ファウワーズ・スライマーン・シャイフ・ウバイド (Fawwāz Sulaymān al-Shaykh ‘Ubayd) 154 票
- アイマン・ビラール・ガーニム (Ayman Bilāl Ghānim) 154 票
- ワーイル・バディーウ・ヌスラ (Wā‘īl Badī‘ Nuṣra) 154 票
- アクサム・アリー・ガーニム (Aksam ‘Alī Ghānim) 153 票
- ムニーフ・サルマーン・ヒルワーニー (Munīf Salmān Ḥirwānī) 151 票
- イナーク・ジャマール・ザイナ (‘Ināq Jamāl Zayna) 149 票
- ジャービル・ムハンマド・アブドゥツラー (Jābil Muḥammad ‘Abd Allāh) 148 票
- イブラーヒーム・アリー・クブルスリー (Ibrāhīm ‘Alī Qubrūṣlī) 141 票
- スハイル・ユースフ・ラジャブ (Suhayl Yūsuf Rajab) 134 票
- バースィム・アリー・ダルウィーシュ (Bāsīm ‘Alī Darwīsh) 131 票
- ファーイズ・ムハンマド・ジャームース (Fāyīz Muḥammad Jāmūs) 120 票
- ムンズィール・イブラーヒーム・ドゥワイバ (Mundhīr Ibrāhīm Duwayba) 112 票

ラタキア支部カルダーハ支局

- マーズィン・サーリフ・ハマーマ (Māzin Ṣāliḥ Ḥamāma) 245 票
- アリー・ナーシール・シンディー (‘Alī Nāṣīr al-Shīndī) 236 票
- ワファー・アリー・ザフラ (Wafā‘ ‘Alī Zahra) 235 票
- アフド・タミーン・スルターン (‘Ahd Tamīn Sulṭān) 232 票
- イーサー・ムハンマド・イブラーヒーム (‘Īsā Muḥammad Ibrāhīm) 232 票
- アウス・ファーイズ・ウスマーン (Aws Fā‘īz ‘Uthmān) 232 票
- サミーウ・サーフィー・アドラー (Samī‘ Ṣāfī ‘Adrā)² 228 票

² Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 12, 2024 には、「アドラ」ではなく、「アドラー」(‘Adrā)と記載(誤記)されていた。

- ウィサーム・アミール・タツラーフ (Wisām Amīr Ṭarrāf) 226 票
- ウダイ・イーサー・ハビーブ (‘Uday ‘Īsā Ḥabīb) 218 票
- カイス・ジャウダト・サムヤー (Qays Jawdat Samyā) 212 票
- イブラーヒーム・アスアド・マフルーフ (Ibrāhīm As‘ad Makhlūf) 203 票
- ザイド・アクル・イーサー (Zayd ‘Aql ‘Īsā) 201 票
- ニダール・ムフスィン・アツサーフ (Niḍāl Muḥsin ‘Assāf) 188 票
- ムハンマド・アリー・イブラーヒーム (Muḥammad ‘Alī Ibrāhīm) 181 票
- ムハンマド・ハーミド・カンジュ (Muḥammad Ḥāmid al-Kanj) 179 票

ラタキア支部ジャブラ第1支局

- アフマド・ハミードウーシュ (Aḥmad Ḥamīdūsh) 256 票
- ルクマーン・バッドウール (Luqmān Baddūr) 248 票
- ハサン・ジャルディー (Ḥasan al-Jardī) 248 票
- アフマド・スूसィー (Aḥmad al-Sūsī) 243 票
- アリー・サブフ (‘Alī Ṣubḥ) 241 票
- アフマド・ガツサ (Aḥmad Ghaṣṣa) 232 票
- アリー・マフムード (‘Alī Maḥmūd) 230 票
- イブラーヒーム・ディーブ (Ibrāhīm Dīb) 223 票
- ルーズ・サイード (Rūz Sa‘īd) 223 票
- ヤースィル・マアツラー (Yāsir Ma‘allā) 220 票
- イーサー・ジュナイディー (‘Īsā Junaydī) 219 票
- ニザール・カーブカリー (Nizār Qābqālī) 213 票
- ラジャブ・アツバース (Rajab ‘Abbās) 211 票
- アースィフ・ユース (Āṣif Yūnus) 201 票
- アブドゥルフサイン・イスマーイーール (‘Abd al-Ḥusayn Ismā‘īl) 188 票

ラタキア支部ハツファ支局

- アフマド・マージド・アスアド (Aḥmad Mājid As‘ad) 197 票
- ラーミー・ジハード・マンスール (Rāmī Jihād Maṣṣūr) 192 票
- ムハンマド・ガーズィー・ハイルビク (Muḥammad Ghāzī Khayrbik) 191 票
- サミール・イブラーヒーム・スライティーン (Samīr Ibrāhīm Sulayfīn) 175 票
- ムニール・ムハンマド・カスマ (Munīr Muḥammad al-Qaṣma) 171 票
- イサーム・サイード・ハリール (‘Īṣām Sa‘īd Khalīl) 170 票
- ダーリン・ユースフ・ナーシール (Dārīn Yūsuf Nāṣīr) 170 票
- ズハイル・アフマド・イブラーヒーム (Zuhayr Aḥmad Ibrāhīm) 164 票
- アリー・ハビーブ・ユースフ (‘Alī Ḥabīb Yūsuf) 160 票

- アドナーン・ナディーム・ビータール(‘Adnān Nadīm Bīṭār) 157 票
- ヒクマト・アフマド・ハイダル(Hikmat Aḥmad Ḥaydar) 154 票
- バッサーム・サーフィー・ファティーマ(Bassām Ṣāfi Faṭīma) 154 票
- アリー・アズィーズ・カーシム(‘Alī ‘Azīz Qāsīm) 148 票
- ナビール・アリー・アリー(Nabīl ‘Alī ‘Alī) 148 票
- ワファー・イブラーヒーム・サルマーン(Wafā’ Ibrāhīm Salmān) 142 票

ラッカ支部サウラ支局

- アブドゥルカリーム・ハウジャ(‘Abd al-Karīm al-Khawja) 63 票
- クサイ・リヤー(Quṣay Riyā) 60 票
- バッサーム・リダー(Bassām Riḍā) 47 票

ラッカ支部タッル・アブヤド支局

- アブドゥルガニー・ヒラール(‘Abd al-Ghanī al-Hilāl) 40 票
- ムハンマド・ビツリー・シブリー(Muḥammad Binī al-Shiblī) 40 票
- ムハンマド・イーサー・クルディー(Muḥammad ‘Īsā al-Kurḍī) 36 票

ラッカ支部ユーフラテス河畔支局

- アンマール・フサイン(‘Ammār al-Ḥusayn) 81 票
- ファルヤール・ファラフ(Faryāl Farah) 80 票
- アブドゥルカーフィー・ハラフ(‘Abd al-Kāfi al-Khalaf) 55 票

ティシュリーン大学支部第1支局

- アリー・ハサン・ナイサーフィー(‘Alī Ḥasan Nayṣāfi) 69 票
- アリー・ムハンマド・ジュヌード(‘Alī Muḥammad Junūd) 44 票
- ムハンマド・ナズィーフ・アリー・ラビーウ(Muḥammad Nazīh ‘Alī Rabī) 43 票
- ファアド・リダー・ナーシル(Fahd Riḍā Nāṣir) 43 票
- ハーティム・アブドゥルカリーム・マフムデー(Ḥātim ‘Abd al-Karīm Maḥmūdī) 39 票
- グフラーン・ハイラート・シャキーラ(Ghufṛān Khayrāt Shaqīra) 33 票

◇2024年2月13日

ラタキア支部のラタキア市第2支局、ラタキア市第3支局、ラタキア郡第2支局、ジャブラ第2支局、イドリブ支部のサルキーン支局、ジルス・シュゲール支局、ティシュリーン大学支部第2支局、第3支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 13, 2024)。

ラタキア支部ラタキア市第2支局

- アブドゥッラー・カヒーラ(‘Abd Allāh Kaḥīla) 145 票

- アッザーム・スライティーン (‘Azzām Sulayṭīn) 136 票
- ラーフィウ・ダーリー (Rāfi‘ Dāri) 123 票
- アブドウルハナーン・スバイフ (‘Abd al-Hanān Ṣubayḥ) 118 票
- ワファー・マアッラー (Wafā’ Ma‘allā) 115 票
- マーズイン・ウムラーン (Māzin ‘Umrān) 115 票
- ファラフ・ハンナー (Farah Ḥannā) 112 票
- マジドウツラー・シバーニー (Majid Allāh Shibānī) 110 票
- サラーフ・イブラーヒーム (Ṣalāḥ Ibrāhīm) 105 票
- ヤースィル・サクル (Yāsir Saqr) 104 票
- サファー・ハーミド (Ṣafā’ Ḥāmid) 102 票
- ムハンマド・サルヒール (Muḥammad Sarḥīl) 98 票
- リーム・ガダー (Rīm al-Ghadā) 98 票
- ナウルス・フナイサ (Nawrus Khunaysa) 93 票
- ティーマー・ナッサー (Timā’ Naṣṣār) 85 票

ラタキア支部ラタキア市第3支部

- ワスィーム・ミーハーイール・フーリー (Waṣīm Mikhā’il Khūrī) 144 票
- ラーミズ・ムハンマド・ガトルーフ (Rāmiz Muḥammad Ghatrūf) 134 票
- アフマド・マージド・ブライディー (Aḥmad Mājid Bulayḍī) 127 票
- ムハンマド・ムスタファー・キーヒヤー (Muḥammad Muṣṭafā Kīkhiyā) 125 票
- ジャマール・ハリール・ラーイー (Jamāl Khalīl Rā’ī) 118 票
- ムンズィル・アリー・アーキル (Munḏhir ‘Alī ‘Āqīl) 110 票
- ワジハ・アフマド・アウサタ (Wajīha Aḥmad Awsaṭa) 109 票
- ジャービル・ジャービル・アスィー (Jābir Jābir al-‘Āsī) 109 票
- リヤード・ハムダーンハティーブ (Riyād Ḥandān al-Khaṭīb) 97 票

ラタキア支部ラタキア郡第2支局

- マディーン・ファーディル (Madīn Fāḍīl) 156 票
- タイスィール・ハビーブ (Taysīr Ḥabīb) 150 票
- スハイル・アブドウツラー (Suhayl ‘Abd Allāh) 148 票
- マーズイン・アフアンディー (Māzin Afandī) 148 票
- イヤード・ハイダル (Iyād Ḥaydar) 142 票
- ガッサーン・クバイリー (Ghassān Qubaylī) 135 票
- ハイサム・ビーシャーニー (Haytham Bīshānī) 134 票
- ファイサル・バアバア (Fayṣal Ba‘ba‘) 123 票
- ワーイル・マンスール (Wā’il Manṣūr) 121 票

- イターブ・ジャアバリ―(‘Itāb Ja‘barī) 110 票
- サーイル・クデスィーヤ(Sā‘ir Qudsīya) 95 票
- タマーム・ハンムード(Tamām Hammūd) 89 票

ラタキア支部ジャブラ第2支局(獲得票数は公表されず)

- ナイーム・ムハンマド・ワンヌース(Na‘īm Muḥammad Wannūs)
- アンワル・マアルーフ・ムハンマド(Anwar Ma‘rūf Muḥammad)
- ハーニー・ハサン・ハツバーバ(Hānī Ḥasan Ḥabbāba)
- ジャアファル・イブラーヒーム・ドゥユーブ(Ja‘far Ibrāhīm Duyūb)
- アマル・ハサン・マフラズ(Amal Ḥasan Maḥraz)
- ムハンマド・イブラーヒーム・アイユーブ(Muḥammad Ibrāhīm Ayyūb)
- アブドウルハサン・シュルーフ(‘Abd al-Ḥasan Shurūf)
- バドル・サリーム・ジャマーヒーリー(Badr Salīm Jamāhīrī)
- ヤフヤー・ハサン・バスマー(Yahyā Ḥasan Basmā)
- アフマド・ハビーブ・ブライブダーニー(Aḥmad Ḥabī Buraybdānī)
- リーム・アブドゥウツラフマーン・イード(Rīm ‘Abd al-Raḥmān ‘Id)
- マダル・ファイヤード・マンスーラ(Maḍār Fayyād Mansūra)
- ムンズィル・アリー・シバーニー(Mundhir ‘Alī Shibānī)
- ムハンマド・ハミード・アリー(Muḥammad Ḥamīd ‘Alī)
- カウサル・イブラーヒーム・イーサー(Kawthar Ibrāhīm ‘Isā)

イドリブ支部サルキーン支局

- タラール・カーディー(Talāl Qāḍī) 37 票
- アブドウルハミード・イスタンブーリー(‘Abd al-Ḥamīd Istānbūlī) 32 票
- ムハンマド・ファーディー・サアドゥーン(Muḥammad Fādī Sa‘dūn) 31 票

イドリブ支部ジスル・シュゲール支局

- ウマル・ハーリド・ダーダ(‘Umar Khālīd Dāda) 61 票
- ナーディル・アブー・アフマド(Nādir Abū Aḥmad) 56 票
- ガーズィー・グラーブ(Ghāzī Ghurāb) 43 票

ティシュリーン大学第2支局

- ハーズィム・ハサン(Hāzīm Ḥasan) 44 票
- ムフスィン・サーリム(Muḥsin Ṣarīm) 40 票
- アリー・ダリーバーティー(‘Alī Darībātī) 37 票
- フサイン・マーディー(Ḥusayn Māḍī) 35 票
- サラーマ・アブー・シャマラート(Salāma Abū al-Shamalāt) 33 票

➤ アナン・ガダー(‘Anān al-Ghadā) 28 票

ティシュリーン大学第3支局

- ヒクマト・アリー・バルバハーン(Hikmat ‘Alī Barbahān) 57 票
- マディーン・サミーウ・イブラーヒーム(Madīn Samī‘ Ibrāhīm) 57 票
- ウムラーン・アリー・カンジュー(‘Umrān ‘Alī Kanjū) 46 票
- ライヤーン・マスウード・ビラール(Rayyān Mas‘ūd Bilāl) 45 票
- アラー・イブラーヒーム・ハルマー(‘Alā‘ Ibrāhīm Khamā) 38 票
- ジャラール・バドル・ハドドラ(Jalāl Badr Khaḍra) 38 票

◇2024年2月14日

タルトゥース支部のタルトゥース市第1支局、タルトゥース市第2支局、タルトゥース郡第1支局、サーフイーター支局、シャイフ・バドル支局、ドウライキーシュ支局、経済支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 14, 2024)。

タルトゥース支部タルトゥース市第1支局

- イヤード・イブラーヒーム・アフマド(Iyād Ibrāhīm Aḥmad) 92 票
- ナーフ・イスマーイール・ナーフ(Nāyf Ismā‘īl al-Nāyif) 89 票
- ナーヅィル・ムハンマド・ハムダーン(Nādhir Muḥammad Ḥamdān) 88 票
- ムハンマド・ユースフ・アリー(Muḥammad Yūsuf ‘Alī) 86 票
- リーム・アクラム・バシュール(Rīm Akram Bashūr) 83 票
- ハーズィム・タウフィーク・ラズズーク(Hāzim Tawfiq Razzūq) 74 票
- ムハンマド・アフマド・トゥーフアーン(Muḥammad Aḥmad Tūfān) 73 票
- ファーティマ・ムハンマド・ナーブルスィー(Fātima Muḥammad Nābulṣī) 71 票
- イマード・サミール・カッドウール(‘Imād Samīr Qaddūr) 70 票

タルトゥース支部タルトゥース市第2支局

- マーズィン・ラマダーン(Māzin Ramaḍān) 117 票
- フサーム・アリー(Husām ‘Alī) 94 票
- サミール・ブトルス(Samīr Buṭrus) 75 票
- アフマド・アフマド(Aḥmad Aḥmad) 74 票
- アフマド・イーサー(Aḥmad ‘Īsā) 62 票
- イーサー・サブフ(‘Īsā Ṣubḥ) 58 票
- サーミル・サブフ(Sāmīr Ṣubḥ) 58 票
- ヌハー・マクナー(Nuhā Maknā) 55 票
- アドナーン・ガーニム(‘Adnān Ghānim) 55 票

タルトゥース支部タルトゥース郡第1支局

- ナズィーフ・アフマド・アフマド(Nazīh Aḥmad Aḥmad) 102 票
- アリー・アフマド・ユースフ(‘Alī Aḥmad Yūsuf) 93 票
- アーリフ・アリー・ハサン(‘Ārif ‘Alī Ḥasan) 87 票
- ナズィール・アリー・ダルウィーシュ(Nazīr ‘Alī Darwīsh) 86 票
- マーズィン・アフマド・アブドゥツラー(Māzin Aḥmad ‘Abd Allāh) 82 票
- ムハンナー・アツバース・ムハンナー(Muḥannā ‘Abbās Muḥannā) 81 票
- ラーミズ・ムハンマド・ダッラー(Rāmiz Muḥammad Dallā) 73 票
- ニダール・ナスル・アーガー(Niḍāl Naṣr Āghā) 66 票
- ファーディー・マフムード・アリー(Fāḍī Maḥmūd ‘Alī) 65 票

タルトゥース支部サーフィーター支局

- ウサーマ・マウイー(Usāma al-Mawī) 231 票
- ジャービル・ムハンマド(Jābir Muḥammad) 200 票
- サームル・ジャルジュース(Sāmīr Jarjūs) 189 票
- ユースフ・ジハード・アリー(Yūsuf Jihād ‘Alī) 188 票
- ラーニヤ・アブドゥツラティーフ(Rāniya ‘Abd al-Laṭīf) 185 票
- ラーティブ・イブラーヒーム(Rātīb Ibrāhīm) 178 票
- アフマド・クラージャ(Aḥmad Qurāja) 173 票
- アブドゥツラティーフ・アフマド(‘Abd al-Laṭīf Aḥmad) 164 票
- ヒヤーム・アリー(Hiyām ‘Alī) 161 票
- ムハンマド・ムフスィン(Muḥammad Muḥsin) 149 票
- アフマド・スライマーン(Aḥmad Sulaymān) 144 票
- マディーン・フドゥール(Madīn Khudūr) 141 票
- アリー・ビラール(‘Alī Bilāl) 137 票
- ファーディー・ディーブ(Fāḍī Dīb) 136 票
- アイユーブ・ザイナブ(Ayyūb Zaynab) 121 票

タルトゥース支部シャイフ・バドル支局

- フィラス・アリー・サルマーン(Firās ‘Alī Salmān) 186 票
- アリー・ユースフ・マアルーフ(‘Alī Yūsuf Ma‘rūf) 185 票
- ラマー・ユースフ・ユースフ(Lamā Yūsuf Yūsuf) 185 票
- バースィム・ムハンマド・ハサン(Bāsīm Muḥammad Ḥasan) 185 票
- カーミル・マフムード・ハムダーン(Kāmil Maḥmūd Ḥamdān) 185 票
- バースィル・ユースフ・サルマーン(Bāsīl Yūsuf Salmān) 185 票
- リハーブ・アリー・アツバース(Rihāb ‘Alī ‘Abbās) 184 票

- マフムード・アリー・マイフーブ (Maḥmūd ‘Alī Mayhūb) 184 票
- アンワル・ムハンマド・ジャフル (Anwar Muḥammad Jafūl) 183 票
- マフムード・サルマーン・ウバイダーン (Maḥmūd Salmān ‘Ubaydān) 181 票
- アリーヤー・イーサー・マフムード (‘Alīyā ‘Īsā Maḥmūd) 177 票
- アミン・ムハンマド・ナツダ (Amīn Muḥammad Nadda) 171 票
- シハーダ・アリー・イブラーヒーム (Shihāda ‘Alī Ibrāhīm) 169 票
- ヤースィル・ムハンマド・イブラーヒーム (Yāsir Muḥammad Ibrāhīm) 152 票
- アリー・ハサン・アリー (‘Alī Ḥasan ‘Alī) 151 票

タルトゥース支部ドゥライキーシュ支局

- ナスィーリーン・ハルブ・バドル (Nasīrīn Ḥarb Badr) 159 票
- アリー・ワヒード・ファイヤード (‘Alī Wahīd Fayyād) 153 票
- ハッサーン・アフマド・フドル (Ḥassān Aḥmad Khuḍr) 152 票
- アフマド・イブラーヒーム・シューバーサー (Aḥmad Ibrāhīm Shūbāsī) 148 票
- アリー・ユースフ・アリー (‘Alī Yūsuf ‘Alī) 146 票
- イブラーヒーム・ムハンマド・ワスーフ (Ibrāhīm Muḥammad Wasūf) 145 票
- サミール・アリー・アリー (Samīr ‘Alī ‘Alī) 137 票
- シャフィーク・ムハンマド・ムハンマド (Shafīq Muḥammad Muḥammad) 134 票
- アリー・アブドゥルカリーム・ハマード (‘Alī ‘Abd al-Karīm Ḥamād) 126 票
- タウフィーク・アフマド・アツバース (Tawfīq Aḥmad ‘Abbās) 124 票
- マフムード・サルマーン・フドル (Maḥmūd Salmān Khuḍr) 122 票
- ムハンマド・ユースフ・イーサー (Muḥammad Yūsuf ‘Īsā) 121 票
- ニダール・ハイダル・ハサン (Niḍāl Ḥaydar Ḥasan) 114 票
- サーミー・ムハンマド・カイダバーン (Sāmī Muḥammad Qayḍabān) 112 票
- ムハンマド・ユースフ・ワンヌース (Muḥammad Yūsuf Wannūs) 109 票

タルトゥース支部経済支局

- マイヤーダ・マフムード・ユースフ (マイヤーダ Maḥmūd Yūsuf) 85 票
- ムスタファー・ムハンマド・サラーマ (Muṣṭafā Muḥammad Salāma) 82 票
- ファード・ムハンマド・ムハンマド (Fu’ād Muḥammad Muḥammad) 75 票

また、ダイル・ザウル支部の各支局で代表選挙第 1 段階の候補者受付が行われた (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 15, 2024)。

◇2024 年 2 月 15 日

タルトゥース支部のタルトゥース郡第 2 支局、カドムース支局、バーニヤース市支局、バルマーナ支局、

マシユター支局、高等教育支局、労働者支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 15, 2024)。

タルトゥース支部タルトゥース郡第2支局

- バースィル・サルマーン・イーサー (Bāsil Salmān ʿĪsā) 180 票
- クサイ・アブドゥウツラティーフ (Quṣay ʿAbd al-Laṭīf) 172 票
- ナズィーフ・マアッラー・アサド (Nazīh Maʿllā Asad) 164 票
- サラーム・アッバース・サラミー (Salāma ʿAbbās Salāmī) 161 票
- シャフィーク・アフマド・シャイフ・アリー (Shafīq Aḥmad al-Shaykh ʿAlī) 159 票
- アフマド・スライマーン・カナージュ (Aḥmad Sulaymān Kanāj) 157 票
- フサーム・アッバース・アティーヤ (Ḥusām ʿAbbās ʿAṭīya) 155 票
- ムハンマド・カーミル・イスマーイール (Muḥammad Kāmil Ismāʿīl) 155 票
- トゥーニー・イリヤース・クルスーム (Ṭūnī Iliyās Kulthūm) 151 票
- アリー・ハサン・アリー (ʿAlī Ḥasan ʿAlī) 148 票
- リヤード・アフマド・ユースフ (Riyād Aḥmad Yūsuf) 145 票
- サーミル・アフマド・ダッルール (Sāmīr Aḥmad Dallīl) 143 票
- ヤースィーン・ユースフ・アフマド (Yāsīn Yūsuf Aḥmad) 141 票
- ハイサム・ミハーイール・フスニー (Haytham Mikhāʿīl Ḥuṣnī) 131 票
- ナスリーン・ムフサイン・イーサー (Nasrīn Muḥsin al-ʿĪsā) 127 票

タルトゥース支部カドムース支局 (獲得票数は公表されず)

- イーハブ・ムハンマド・ハンムード (Īhāb Muḥammad Ḥammūd)
- アフマド・ハイダル・ハルーフーシュ (Aḥmad Ḥaydar Ḥarfūsh)
- ハッサーン・ユースフ・ナーウース (Ḥassān Yūsuf Nāʿūs)³
- ウィサーム・スライマーン・シャアバーン (Wisām Sulaymān Shaʿbān)
- ハイサム・アフマド・スワイカート (Haytham Aḥmad Suwayqāt)
- ファヒーマー・ムフリズ・アルース (Fahīmā Muḥriz ʿArūs)
- ナウワール・アリー・ハビーブ (Nawwāl ʿAlī Ḥabīb)

タルトゥース支部バーニヤース市支局

- ヌールッディーン・アリー・ナイユーフ (Nūr al-Dīn ʿAlī Nayyūf) 208 票
- アドナーン・アフマド・イブラーヒーム (ʿAdnān Aḥmad Ibrāhīm) 191 票
- イブティサーム・ユヌス・ハイダル (Ibtīsām Yūnus Ḥaydar) 182 票
- フィラース・スライマーン・ムハンマド (Firās Sulaymān Muḥammad) 179 票

³ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 15, 2024 には、「ナーウース」ではなく、「ナウース」(Naʿūs)と記載(誤記)されていた。

- アーディル・マフムード・タリージャ (‘Ādil Maḥmūd Talīja) 178 票
- ユーヌス・イブラーヒーム・ハムドゥーシュ (Yūnus Ibrāhīm Ḥamdūsh) 173 票
- フサーム・ムハンマド・アリー (Ḥusām Muḥammad ‘Alī) 173 票
- ヌハード・イリヤース・ビシャーラ (Nuhād Iliyās Bishāra) 167 票
- ミルフアト・アリー・ハサン (Mīrfāt ‘Alī Ḥasan) 161 票
- ハーリド・ファフド・ハイダル (Khālīd Fahd Ḥaydar) 152 票
- アリー・イブラーヒーム・アリー (‘Alī Ibrāhīm ‘Alī) 151 票
- ユースフ・マフムード・ガンヌージュ (Yūsuf Maḥmūd Ghannūj) 146 票
- マルワーン・イーサー・ハサン (Marwān ‘Īsā Ḥasan) 145 票
- バヤーン・アリー・ウスマーン (Bayān ‘Alī ‘Uthmān) 144 票
- アブドゥルカリーム・ムルハム (‘Abd al-Karīm Muḥam) 142 票

タルトゥース支部バルマーナ支局 (獲得票数は公表されず)

- ナダー・ハサン・ムハンマド (Nadā Ḥasan Muḥammad)
- ファーイク・アリー・スライマーン (Fā’iq ‘Alī Sulaymān)
- ラシャー・アリー・サムヤー (Rashā ‘Alī Samyā’)
- ヤーシーン・ムハンマド・ムハンマド (Yāsīn Muḥammad Muḥammad)
- ジャアファル・マフムード・アスアド (Ja’far Maḥmūd As’ad)
- アフマド・アリー・アリー (Aḥmad ‘Alī ‘Alī)

タルトゥース支部マシュター支局

- ムハンマド・ユースフ・ヒムスィー (Muḥammad Yūsuf Ḥimṣī) 66 票
- ハサン・アリー・ラクマーニー (Ḥasan ‘Alī Raqmānī) 64 票
- サイフ・アリー・ジュムア (Sayf ‘Alī Jum’a) 58 票
- アリー・イブラーヒーム・ジブリー (‘Alī Ibrāhīm Jibī) 57 票
- ガッサーン・ハサン・フドル (Ghassān Ḥasan Khuḍr) 54 票
- ガッサーン・ジャブル・マフル (Ghassān Jabr Makhūl) 49 票

タルトゥース支部高等教育支局

- サルマーン・ムハンマド・マフムード (Salmān Muḥammad Maḥmūd) 58 票
- ユースフ・アブドゥルカリーム・アリー (Yūsuf ‘Abd al-Karīm al-‘Alī) 58 票
- フィラス・ハサン・イブラーヒーム (Firās Ḥasan Ibrāhīm) 53 票
- アリー・ハサン・サルマーン (‘Alī Ḥasan Salmān) 48 票
- ハサン・アブドゥルカリーム・スライマーン (Ḥasan ‘Abd al-Karīm Sulaymān) 44 票
- タラール・アリー・スライマーン (Ṭalāl ‘Alī Sulaymān) 40 票

タルトゥース支部労働者支局(獲得票数は公表されず)

- サミール・イブラーヒーム・イスマーイール (Samīr Ibrāhīm Ismā‘īl)
- マナール・アフマド・バツルール (Manāl Aḥmad Ballūl)
- フィラース・ムハンマド・アリー (Firās Muḥammad ‘Alī)

◇2024年2月17日

アレppo大学支部の殉教者アドナーン・マーリキー支局、殉教者アフダル・アラビー支局、殉教者アフマド・アッザーウィー支局、殉教者ムハンマド・ワリード・ムルキー支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 17, 2024)。

アレppo大学支部殉教者アドナーン・マーリキー支局

- リーザー・スルーカジヤーン (Lizā Sulūkajiyān) 38 票
- アブドゥッラー・ウバイド (‘Abd Allāh al-‘Ubayd) 36 票
- ムハンマド・ムハンマド・フサイン (Muḥammad al-Muḥammad al-Ḥusayn) 35 票
- ガッサーン・サーキト (Ghassān Sākit) 34 票
- アフマド・イーサー (Aḥmad ‘Isā) 32 票
- ムハンマド・カーシム・アブドゥッラー (Muḥammad Qāsim ‘Abd Allāh) 31 票

アレppo大学支部殉教者アフダル・アラビー支局

- アミール・ハーτζィ・サクル (Amīr al-Ḥājjī Ṣakr) 37 票
- ムスタファー・ファウワーズ・シャフナ (Muṣṭafā Fawwāz Shāḥna) 36 票
- アフマド・ハラフ (Aḥmad al-Khalaf) 36 票
- ガズワ・クナイファーティー (Ghazwa Kunayfātī) 33 票
- イマード・マルイー (‘Imād al-Mar‘ī) 31 票
- ムハンマド・マアムーン・ハーτζィ・カッドウール (Muḥammad Ma‘mūn Ḥājjī Qaddūr) 29 票

アレppo大学支部殉教者アフマド・アッザーウィー支局

- アブドゥルカリーム・フサイン (‘Abd al-Karīm al-Ḥusayn) 34 票
- サファー・サーリフ (Ṣafā‘ al-Ṣālīḥ) 33 票
- アフマド・シャイフ・カッドウール (Aḥmad Shaykh Qaddūr) 30 票
- マフムード・カーシム (Maḥmūd al-Qāsim) 28 票
- ヤーシーン・カルムータ (Yāsīn Qarmūṭa) 24 票
- ムスタファー・ジャーデル (Muṣṭafā al-Jādir) 22 票

アレppo大学支部殉教者ムハンマド・ワリード・ムルキー支局

- スハイル・ハワーティミー (Suhayl Khawātīmī) 48 票

- ムハンマド・サクル・ハマード (Muḥammad Ṣaqr Ḥamād) 41 票
- アフド・アフマド・サイド (‘Ahd Aḥmad Sa‘īd) 39 票
- ワスィーム・ラズズーク (Wasīm Razzūq) 36 票
- ハルドゥーン・ハーフィズ (Khaldūn Ḥāfīz) 36 票
- ワジーフ・ヌスラト・サマーニー (Wājih Nuṣrat Samānī) 35 票

◇2024年2月18日

アレッポ支部のアアザーズ支局、サフィーラ支局、ダイル・ハーフィル支局、バーブ支局、マンビジュ支局、自由職業支局、殉教者タイスィール・ハラビー支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 18, 2024)。

アレッポ支部アアザーズ支局

- ワヒード・ムーサー・ヒラール (Waḥīd Mūsā al-Hilāl) 77 票
- ファウワーズ・ダヒール (Fawwāz Dakhīl) 73 票
- ラーニヤー・サイド (Rāniyā Sa‘īd) 72 票
- ヤフヤー・ハーτζ・アリー (Yahyā Ḥājj ‘Alī) 71 票
- ムハンマド・ハサン・ディーブ (Muḥammad Ḥasan Dīb) 70 票
- サーリフ・バラカート (Ṣāliḥ Barakāt) 54 票

アレッポ支部サフィーラ支局

- アブドゥルマジード・ムハンマド・ガーズィー・イブラーヒーム (‘Abd al-Majīd Muḥammad Ghāzī Ibrāhīm) 75 票
- アフマド・シャワーフ・ダンダル (Aḥmad Shawāḥ al-Dandal) 66 票
- ラナー・ウマル・ビークー (Ranā ‘Umar al-Bīkū) 54 票

アレッポ支部ダイル・ハーフィル支局

- ガーニム・ワスミー (Ghānim al-Wasmī) 57 票
- イスマーイール・イブラーヒーム (Ismā‘īl al-Ibrāhīm) 43 票
- ムハンマド・バースィール・サルジャ (Muḥammad Bāsīl al-Thalja) 43 票

アレッポ支部バーブ支局

- アミン・ハリール・ナクル (Amīn Khalīl al-Naqr) 31 票
- マフムード・アキール・ダルウィーシュ (Maḥmūd ‘Aqīl Darwish) 29 票
- マイスーン・アブドゥッラヒーム・ハマードゥー (Maysūn ‘Abd al-Raḥīm al-Ḥamādū) 21 票

アレppo支部マンビジュ支局

- シヤムスツディーン・シャツダード⁴ (Shams al-Dīn al-Shaddād)⁴ 42 票
- バツカール・ハマディー (Bakkār Hamādī) 39 票
- アブドゥッラー・ムヒーッディーン・フサイン (‘Abd Allāh Muḥī al-Dīn al-Ḥusayn) 37 票
- ナースィル・ハラフ・ムサー (Nāṣir Khalaf al-Mūsā) 33 票
- イブラーヒーム・ムハンマド (Ibrāhīm Muḥammad) 32 票
- アブドゥルハーディー・バツカール (‘Abd al-Hādī al-Bakkār) 32 票

アレppo支部自由職業支局

- ニダール・ハサン (Niḍāl Ḥasan) 111 票
- イーサー・カール・アフマド (‘Īsā Kāl Aḥmad) 104 票
- ラーシーン・ジャウダト (Lāshīn Jawdat) 95 票
- ナジュダト・アフアシュ (Najdat ‘Afāsh) 90 票
- アブドゥッラー・ヒラール・マシュラフ (‘Abd Allāh Hilāl Mashlah) 84 票
- ハーズィム・ガザール (Ḥāzim Ghazāl) 83 票
- ザーヒル・バタル (Zāhir Baṭāl) 78 票
- ウサーマ・サーブニー (Usāma Ṣābūnī) 76 票
- アブドゥッラー・サイド⁴ (‘Abd Allāh Sa‘īd) 74 票

アレppo支部殉教者タイスィール・ハラビー支局

- マフムード・ダーウード (Maḥmūd Dāwūd) 50 票
- ユースフ・ジャウハル (Yūsuf Jawhar) 44 票
- アリー・ハワーシュ (‘Alī Hawāsh) 40 票

◇2024年2月19日

アレppo支部のアイン・アラブ支局、アフリーン支局、ジャラーブルス支局、就労者支局、殉教者ムハンマド・シハーダ支局、殉教者ムヒーッディーン・バツカール支局、ラッカ支部の農村第2支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 19, 2024)。

アレppo支部アイン・アラブ支局

- アブド・イーサー (‘Abbūd al-‘Īsā) 20 票
- ファイヤード・アブドゥルハミード (Fayyād ‘Abd al-Ḥamīd) 18 票
- ハサン・ジャラール (Ḥasan Jalāl) 17 票

⁴ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 18, 2024 には、「シャツダード」ではなく、「シャツダーディー」(Shaddadī)と記載(誤記)されていた。

アレppo支部アフリーン支局

- ナーゼイー・マーン・ムナーン・ムハンマド (Nāzīmān Munān Muḥammad) 29 票
- バルカダール・ムハンマド・ラシード (Barqadār Muḥammad Rashīd) 23 票
- ハリール・サリーム・ムツラー (Khalīl Salīm Mullā) 22 票

アレppo支部ジャラーブルス支局

- ハサン・ウワイズ (Hasan al-‘Uways) 26 票
- アドナーン・アミーン (‘Adnān Amīn) 26 票
- フサイン・マハッリー (Ḥusayn Maḥallī) 14 票

アレppo支部就労者支局

- イマード・サーリフ (‘Imād al-Ṣalīḥ) 95 票
- アマル・シューシャ (Amal al-Shūsha) 94 票
- ハサン・ハーヅジ・ハサン (Hasan Ḥājj Hasan) 80 票
- ムハンマド・バッサーム・ハーイク (Muḥammad Bassām Ḥāyik) 71 票
- ウマル・ファールーク・ハツラーク (‘Umar Fārūq Ḥallāq) 70 票
- クリースティーン・バダウィー (Krisṭīn Badawī) 67 票

アレppo支部殉教者ムハンマド・シハーダ支局

- アドナーン・ザーザー (‘Adnān Zāzā) 51 票
- フサイン・シャイフ・ジュツブ (Ḥusayn Shaykh al-Jubb) 49 票
- ハーリド・シハーダ (Khālīd al-Shihāda) 48 票

アレppo支部殉教者ムヒーツディーン・バククル支局

- カマール・アールーブ (Kamāl al-‘Ārūb) 29 票
- ガッサーン・ナアサーン (Ghassān Na‘sān) 28 票
- ハムドゥー・カルナファル (Ḥamdū Qarnafal) 24 票

ラッカ支部農村第2支局

- ムーサー・ハサン・アリー (Mūsā Ḥasan al-‘Alī) 65 票
- アブドゥラツザーク・ダルウィーシュ (‘Abd al-Razzāq al-Darwīsh) 64 票
- ムハンマド・アブドゥルアズィーズ・ウマル (Muḥammad ‘Abd al-‘Azīz al-‘Umar) 59 票
- イーサー・ハンムード・ハマード (‘Īsā Ḥammūd al-Ḥamāda) 56 票
- イブラーヒーム・アリー (Ibrāhīm al-‘Alī) 48 票
- イブラーヒーム・ジャースィム・ムーサー (Ibrāhīm Jāsīm al-Mūsā) 48 票

◇2024年2月20日

アレppo支部の教育第1支局、教育第2支局、教育第3支局、労働者第1支局、労働者第2支局、労働者第3支局、労働者第4支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 20, 2024)。

アレppo支部教育第1支局

- ナダー・ハリーブ(Nadā Ḥarīb) 55 票
- サーミル・ハッラーフ(Sāmīr Ḥallāq) 51 票
- ウムラーン・ジャービル(‘Umrān al-Jābir) 49 票
- マフムード・ドゥーガーン(Maḥmūd Dūghān) 39 票
- ニダール・スルターン(Niḍāl Sulṭān) 37 票
- ユースフ・カルアジー(Yūsuf Qal‘ajī) 36 票

アレppo支部教育第2支局

- サーリフ・ハディード(Ṣāliḥ Ḥadīd) 71 票
- ムハンマド・ハムダク(Muḥammad Ḥamdak) 67 票
- ウマル・アールーブ(‘Umar al-‘Ārūb) 66 票
- ラーティブ・アブドゥツサラーム(Rātib ‘Abd al-Salām) 52 票
- アフマド・ファウワーズ・ヤスキー(Aḥmad Fawwāz Yaskī) 46 票
- ムハンマド・マタル(Muḥammad Maṭar) 36 票

アレppo支部教育第3支局

- アブドゥルカーディル・アブー・ナアスー(‘Abd al-Qādir al-Abū Na‘sū) 78 票
- ウマル・グライウィー(‘Umar al-Ghuraywī) 63 票
- アナス・カバークィジー(Anas Qabāqībī) 55 票

アレppo支部労働者第1支局

- イブラーヒーム・ウワイド(Ibrāhīm al-‘Uwayd) 67 票
- ムワース・ムワース(Muwās al-Muwās) 41 票
- ジハード・サンマーン(Jihād al-Sammān) 38 票

アレppo支部労働者第2支局

- アリー・ハーτζィ・カルブーン(‘Alī Ḥājj Kalbūn) 58 票
- ナジュワー・ムハンマド・マラク(Najwā Muḥammad Malakh) 54 票
- ジーハーン・ムハンマド・ファールーク(Jihān Muḥammad Fārūq) 43 票

アレppo支部労働者第3支局

- ムハンマド・ナビール・ザルト (Muḥammad Nabīl Zalat) 56 票
- ムハンマド・バハー・バーディンジャキー (Muḥammad Bahā' Bādīnjakī) 37 票
- ムハンマド・ジャズマーティー (Muḥammad Jazmāfī) 36 票

アレppo支部労働者第4支局

- ハーリド・アブー・バクル (Khālīd Abū Bakr) 68 票
- アフマド・アルビーシュ (Aḥmad 'Arbīsh) 57 票
- ムハンマド・ジャラルール・カンタール (Muḥammad Jalāl Qantār) 54 票

◇2024年2月21日

イドリブ支部のサラークィブ支局ハーリム支局、ハーン・シャイフーン支局、マアツラト・ニウマーン支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 21, 2024)。

イドリブ支部サラークィブ支局

- ユースフ・ハラフ (Yūsuf al-Khalaf) 43 票
- ムハンマド・イーサー (Muḥammad 'Īsā) 31 票
- フサイン・ラフーム (Ḥusayn al-Raḥūm) 30 票

イドリブ支部ハーリム支局

- アブドゥッラフマーン・ラズズーク ('Abd al-Raḥmān Razzūq) 57 票
- ムハンマド・ハラフ (Muḥammad al-Khalaf) 55 票
- ムハンマド・ハーツジ・ハマーダ (Muḥammad Ḥājjī Ḥamāda) 49 票

イドリブ支部ハーン・シャイフーン支局

- フサーム・ハーリド・ハッルーム (Ḥusām Khālīd al-Ḥallūm) 50 票
- イブラーヒーム・アワド・ウバイド (Ibrāhīm 'Awad al-'Ubayd) 31 票
- ズィヤード・ユースフ (Ziyād al-Yūsuf) 31 票

イドリブ支部マアツラト・ニウマーン支局

- ジハード・ファルハート (Jihād Farḥāt) 72 票
- ムハンマド・イスマーイール (Muḥammad al-Ismā'īl) 68 票
- スィバーヒー・ハマドゥー (Sibāhī al-Ḥamadū) 60 票

クナイトラ支部の各支局で代表選挙第1段階の候補者受付が行われた (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 21, 2024)。

◇2024年2月22日

中央指導部書記長の B・アサドは、党の思想家、学術関係者らと会談し、将来のシリアにおけるバース党の政治、国民、経済、社会といったレベルでの役割、党のイデオロギーと活動の間に存在する乖離、代表選挙、党員が党の体制内において望む変革について対話を行った。

対話は、国民、党、そして思想やアイデンティティにかかわるテーマから始められ、変革に必要な包括的ビジョン、深遠な対話を通じたビジョンの構築、さらには統合的なビジョンの一環をなすことがなければ価値を持ち得ない措置とはどのようなものかなどが主に議論された。

出席者らは、「現在実施されている党の選挙が抜本的改革、あるいは人材の一新を経なければ実施し得ないものなのか」といった問いを提起、B・アサドに選挙の成功を図る基準としては何があるか、どの段階でバース党の選挙が政治的・思想的に成功したと言えるのかを質問した。

これに対して、B・アサドは以下のように答えた。

選挙においてもっとも重要なのは当選者の名前ではなく、より広範な参加をもたらし得るかにある。つまり、そうすることで、選挙結果は大多数の決意や希望を反映することになる。これが選挙の本質だ。

選挙に参加するという目的は達成された。より重要なのは、我々が選挙の経験を今度どのように反映させるかにある。

我々は、現状を鑑みても優れた選挙制度を確立できた。我々は選挙の参加を実現した。一方、選挙の経験は、一連の発展プロセスの一部に過ぎない。そこでの成功は多くの基準に関わっており、そのなかには、大多数の意見を表すような参加がどの程度広範に行われたのかといった点もある。今日党内で行われているこの対話も、選挙プロセスの成功を示す基準の一つだ。

これに対して、一部の出席者からは、党の組織構造が上意下達に限定されており、支持者や党員への対応という点で欠陥があると評価する者もいた。

B・アサドはこうした評価に同意しつつ、党のすべてのレベル間での対話を通じて、決定事項を共有し、それによって大多数を代表する全体の意見を作り出すべきだと提案、活力ある党は量ではなく質を追求し、党員増だけでなく、支持基盤の拡大にも関心を持つものだと言及した。

また、党と政権の関係について議論が移ると、B・アサドは以下のように述べた。

党と行政府との関係は、党が与党として策定する政策や方針によって定められ、政府がこうした政策の実施に責任を負う。党の包括的ビジョンを作り出すことは、党の思想、活動の仕組み、組織構造を作り出すことでもあり、党が行政府そのものへの関与を回避し、政策を策定し、政策実施を監督する役割に集中することで、より良い結果がもたらされてきた。

対話では、アイデンティティを標的とした戦いのなかで、党がこれをどのように守るためにどのような役割を果たすのか、西側が自らのソフトパワーを通じて確立しようとしているリベラリズムや思想的覇権主義

などシリア社会の課題にどう対処するのかなどが議論された(SANA, February 22, 2024、「シリア・アラブ春顛末記」2024年2月22日)。

◇2024年2月24日

ダイル・ザウル支部のブーカマール支局、マヤーディーン支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 24, 2024)。

ダイル・ザウル支部ブーカマール支局

- ハーティム・アンマーシュ・スライマーン(Hātīm ‘Ammāsh al-Sulaymān) 37 票
- ウバイド・ハルス・アッジャージュ(‘Ubayd Halṣ al-‘Ajjāj) 36 票
- アスアド・ダンダル(As‘ad al-Dandal) 31 票

ダイル・ザウル支部マヤーディーン支局(獲得票数は公表されず)

- ムフリス・フドル・イブラーヒーム(Muḥliṣ Khuḍr al-Ibrāhīm)
- ブシュラー・ファドル・ウルヤーン(Buṣhrā Faḍl al-‘Ulyān)
- ハーリド・マルイー・ハトルーシュ(Khālīd Mar‘ī al-Ḥatrūsh)
- バッシュャール・マフムード・シュアイビー(Bashshār Maḥmūd ash-Shu‘aybī)
- アフマド・トゥライウィシュ・シャッタート(Aḥmad Ṭulaywish ash-Shattāt)
- アドナーン・サーリフ(‘Adnān al-Ṣāliḥ)

◇2024年2月25日

ダイル・ザウル支部のダイル・ザウル市第1支局、農村第2支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 25, 2024)。

ダイル・ザウル支部ダイル・ザウル市第1支局

- ヒンド・アブブーシュ(Hind al-‘Abbūdsh) 58 票
- マルワーン・ハッドウー(Marwān al-Ḥaddū) 52 票
- アディーブ・ラッカード(Adīb al-Rakkād) 38 票

ダイル・ザウル支部農村第2支局

- ムハンマド・カッドウール・サイイド・アフマド(Muḥammad Qaddūr Sayyid Aḥmad) 44 票
- フサイン・アリー・マズィード(Husayn ‘Alī al-Mazīd) 41 票
- アフマド・アリー・ドウルズイー(Aḥmad al-‘Alī al-Durzī) 34 票

また、ダイル・ザウル支部の高等教育支局、ハサカ支部のハサカ農村支局、シャツダーディー支局、ラアス・アイン支局で代表選挙第1段階の候補者受付と投票が行われた(Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 25, 2024)。

◇2024年2月26日

ダイル・ザウル支部のダイル・ザウル市第2支局、農村第1支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 26, 2024)。

ダイル・ザウル支部ダイル・ザウル市第2支局

- ハリール・ハーτζィ・ウバイド (Khalil Hājī ‘Ubayd) 63 票
- ハーヰム・バッターフ (Hāzim Baṭṭāh) 63 票
- ハナー・フドリー (Hanā’ al-Khudrī) 57 票
- アーミル・サッラール (‘Āmir al-Ṣallāl) 57 票
- サフル・トゥウマ (Ṣakhr Ṭu‘ma) 41 票
- アフマド・ナーシル (Aḥmad al-Nāṣir) 34 票

ダイル・ザウル支部農村第1支局

- イブラーヒーム・ハサーウィー (Ibrāhīm al-Hasāwī) 92 票
- アブドゥルカリーム・フドル (‘Abd al-Karīm al-Khudr) 82 票
- アブブード・アウワード (‘Abbūd al-‘Awwād) 71 票
- ハマド・ラマダーン (Ḥamad al-Ramaḍān) 63 票
- ムーザル・イーサー (Mūzar al-‘Īsā) 59 票
- ムハンマド・アーシク (Muḥammad al-‘Āshiq) 51 票

また、ハサカ県支部のハサカ市支局、ジャブサ支局、高等教育支局で代表選挙第1段階の候補者受付が行われた。いずれの支局でも投票が行われたが、開票結果は公表されなかった (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 26, 2024)。

◇2024年2月27日

ラッカ支部の農村第1支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 27, 2024)。

ラッカ支部農村第1支局

- サーリフ・タッラード (Ṣāliḥ al-Ṭarrād) 133 票
- アリー・イブラーヒーム (‘Alī al-Ibrāhīm) 124 票
- アシュラフ・サトム (Ashraf al-Ṣaṭm) 119 票
- アブドゥッラー・スライマーン (‘Abd Allāh al-Sūlaymān) 117 票
- フサイン・アービド (Ḥusayn ‘Ābid) 114 票
- ハンムード・ジルジース (Ḥammūd Jirjīs) 107 票
- ジャースィム・フサイン (Jāsīm al-Ḥusayn) 107 票

- ファウワーズ・アッサーフ (Fawwāz al-‘Assāf)⁵ 107 票
- アブドゥルファッターフ・サーリフ (‘Abd al-Fattāḥ al-Ṣāliḥ) 104 票
- ムハンマド・カドルー (Muḥammad al-Kadrū) 104 票
- ムハンマド・アスカル (Muḥammad al-‘Askar) 101 票
- アブドゥッラー・イーサー (‘Abd Allāh al-‘Isā) 96 票

ダマスカス支部の各支局で代表選挙第 1 段階の候補者受付が行われた (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 27, 2024)。

◇2024年3月2日

ダルアー支部のイズラア支局、サナメイン支局、ナワー支局、スワイダー支部のスワイダー中央区西部支局、クナイトラ支部の在ダルアー・クナイトラ支局は次期中央委員会の選出に向けた代表選挙第 1 段階を実施した。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 2, 2024)。

ダルアー支部イズラア支局

- ハルドゥーン・ムハンマド・ズウビー (Khalidūn Muḥammad al-Zu‘bī) 133 票
- ハーリド・スライマーン・サラーマート (Khālid Sulaymān al-Salāmāt) 122 票
- イブラーヒーム・アブドゥッラー・バルヒー (Ibrāhīm ‘Abd Allāh al-Balkhī) 117 票
- ムハンマド・ムクビル・ハリーリー (Muḥammad Muqbil al-Ḥarīrī) 111 票
- ルダイナ・イリヤース・アーザル (Rudayna Iliyās al-‘Āzar) 109 票
- ズハイル・ムハンマド・ヤアクーブ (Zuhayr Muḥammad al-Ya‘qūb) 109 票
- アブドゥルマイーン・ムハンマド・ダイリー (‘Abd al-Ma‘īn Muḥammad al-Dayrī) 102 票
- アリー・アブドゥッラー・ガザーリー (‘Alī ‘Abd Allāh al-Ghazālī) 101 票
- ラーミー・イーサー・ナスルッラー (Rāmī ‘Isā al-Naṣr Allāh) 95 票

ダルアー支部サナメイン支局

- マージド・アウワード (Mājid al-‘Awwād) 180 票
- ヤースィーン・ザーミル (Yāsīn al-Zāmil) 171 票
- ハーリド・アウダ (Khālid al-‘Awda) 170 票
- ムハンマド・クルタリー (Muḥammad al-Kurtalī) 155 票
- ニダール・ファティーフ (Niḍāl Faṭīḥ) 147 票
- マフムード・マフムード (Maḥmūd al-Maḥmūd) 141 票
- ヤースィル・サアディー (Yāsīr al-Sa‘dī) 132 票

⁵ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 27, 2024 には、「ファウワーズ」ではなく、「ファウザー」(Fawzā)と記載(誤記)されていた。

- ファディーヤ・サルマーン (Faḍīya al-Salmān) 132 票
- ワスィーム・ヒラーフ (Wasīm Khilāf) 132 票
- アーヒド・アウワード (‘Āhid ‘Awwād) 129 票
- ハイファー・シュクル (Hayfā’ al-Shukr) 128 票
- アワード・サハーリー (‘Awaḍ al-Sahārī) 127 票
- マージド・ラヒール (Mājid al-Raḥīl) 123 票
- ヒシャーム・アトマ (Hishām al-‘Atma) 117 票
- ハービス・ガスィーン (Hābis al-Ghaṣīn) 108 票

スワイダー支部スワイダー中央区西部支局

- イーハーブ・ハーミド (Īhāb Ḥāmid) 99 票
- バッサーム・ザギーブ (Bassām Zaghib) 89 票
- ナーイフ・ハムザ (Nāif Hamza) 88 票
- ディヤーラー・ダウワーラ (Diyālā Dawwāra) 85 票
- イマード・ハルブ (‘Imād Ḥarb) 84 票
- サリーム・サルマーン (Salīm al-Salmān) 78 票
- ワーイル・ムハイサーウィー (Wā’il al-Muḥaythāwī) 75 票
- アイハム・ナスル (Ayham Naṣr) 74 票
- ファード・シャーティル (Fu’ād al-Shāṭir) 74 票

クナイトラ支部在ダルアー・クナイトラ支局 (獲得票数は公表されず)

- ハーリド・ダンダシー (Khālid Dandashī)
- ジャマール・アフマド (Jamāl al-Aḥmad)
- ムハンマド・アブドゥルムフスィン (Muḥammad ‘Abd al-Muḥsin)

◇2024年3月3日

ダルアー支部のダルアー市支局、ダルアー農村支局、シャジャラ支局、ブスラー・シャーム支局、ヤルムーク支局、高等教育支局、スワイダー支部のスワイダー市支局、シャフバー支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 3, 2024)。

ダルアー支部ダルアー市支局

- ムニール・スワイダーン (Munīr al-Suwaydān) 44 票
- シャウワーフ・アルーワ (Shawwākh ‘Alūwa) 37 票
- ダイフッラー・アブブード (Dayf Allāh al-‘Abbūd) 36 票

ダルアー支部ダルアー農村支局

- イマード・ラーディー (‘Imād al-Rāḍī) 50 票
- アブドウルハミード・リファアーイー (‘Abd al-Ḥamīd al-Rifā‘ī) 50 票
- ユースフ・ガザーウィー (Yūsuf al-Ghazāwī) 40 票

ダルアー支部シャジャラ支局

- アフマド・ハーニー・ハムダーン (Aḥmad Ḥānī Ḥamdān) 48 票
- ジャミール・アブドゥッラー・アブドゥッラー (Jamīl ‘Abd Allāh al-‘Abd Allāh) 48 票
- ファーティン・マフムード・ムハンマド (Fātin Maḥmūd al-Muḥammad) 34 票

ダルアー支部ブスラー・シャーム支局

Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 3, 2024 では、シャジャラ支局の開票結果の画像が誤って貼られていたために結果は不明。

ダルアー支部ヤルムーク支局

- ワリド・ヒムスイー (Walīd al-Ḥimṣī) 56 票
- カマル・バルムー (Kamāl Barnū) 46 票
- ムハンマド・ガザーウィー (Muḥammad al-Ghazāwī) 31 票

ダルアー支部高等教育支局 (獲得票数は公表されず)

- ムアンマル・ナウワフ・ハワーリナ (Mu‘ammar Nawwāf al-Hawārina)
- ラミヤー・アブドウルマウラー・ハリリー (Lamiyā ‘Abd al-Mawlā al-Ḥarīrī)
- マジュド・アターツラー・シャンマース (Majd ‘Atā Allāh al-Shammās)
- マジュディー・ハール・ジャームース (Majdī Ḥāyl al-Jāmūs)
- ムハンマド・ワイル・ハラキー (Muḥammad Wā‘il al-Ḥalaqī)
- ワイル・アブドウルカーディル・リファアーイー (Wā‘il ‘Abd al-Qādir al-Rifā‘ī)

スワイダー支部スワイダー市支局

- ディヤーナー・ナイーム (Diyānā Na‘īm) 109 票
- ターリク・アフイーフ (Ṭāriq al-‘Afīf) 98 票
- バースィル・イーサー (Bāsīl al-‘Isā) 95 票
- アドナーン・ムハンナー (‘Adnān Muḥnnā) 92 票
- ターリク・ダーフク (Ṭāriq al-Dāhūk) 88 票
- タラール・ダウワラ (Ṭalāl Dawwāra) 84 票
- ターリク・ハムザ (Ṭāriq Ḥamza) 82 票
- バッサーム・ハートウム (Bassām Ḥātūm) 82 票
- サマーフ・サルマーン (Samāḥ al-Salmān) 29 票

スワイダー支部シャフバー支局(獲得票数は公表されず)

- イミール・マカーリム (Imīl Makārim)
- シャーヒル・アラビー (Shāhir ‘Arabī)
- サラーフ・アリー (Ṣalāḥ al-‘Alī)
- ファルハーン・ハワーリー (Farḥān al-Hawārīn)
- ヒクマト・アリー (Hikmat al-‘Alī)
- ファード・サッルーム (Fu‘ād Sallūm)
- ムウダード・アブー・ハッスーン (Mu‘ḍād Abū Ḥassūn)
- ジャラール・ダーヌーン (Jalāl Dānūn)
- サミール・ジュバイル (Samīr Jubayl)
- マフムード・シャルギー (Maḥmūd Shalghīn)
- スライマーン・アンマーシヤ (Sulaymān ‘Ammāsha)
- ヤフヤー・サフナーウィー (Yahyā al-Ṣaḥnāwī)
- ブサイナ・ハラビー (Buthayna al-Ḥalabī)
- イスマト・アブー・アッサーフ (‘Ismat Abū ‘Assāf)
- ラビーア・マカーリム (Rabī‘a Makārim)

◇2024年3月4日

スワイダー支部のクライヤー支局、サルハド支局、高等教育支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 4, 2024)。

スワイダー支部サルハド支局

- マルワーン・ジャービル (Marwān Jābir)
- ニザール・アブー・シャーヒーン (Nizār Abū Shāhīn)
- フダー・ザルカタ (Hudā Zarqāta)
- ヤースィル・ジャルマカーニー (Yāsir al-Jamaqānī)
- サーミル・ブーハサーズ (Sāmīr Būḥasās)
- シャーミル・ダアブル (Shāmīl al-Da‘bul)
- ハイサム・シャリーティー (Haytham al-Sharīṭī)
- ナスィーム・フダイファ (Nasīm Ḥudayfa)
- ファイサル・サアディー (Fayṣal as-Sa‘dī)

スワイダー支部クライヤー支局

- アーティフ・アブー・ザフラ (‘Āṭīf Abū Zahrā) 46 票
- シブリー・サファディー (Shibī al-Ṣafādī) 43 票

- イヤード・アウワーム (Iyād al-‘Awwām) 40 票
- アラー・ムハンナー (‘Alā’ Muḥannā) 39 票
- マルワーン・アブー・ターフィシュ (Marwān Abū Ṭāfiṣh) 37 票
- ラーフィウ・ウァキア (Rāfi‘ al-Waqī‘a) 36 票

スワイダー支部高等教育支局

- ランダ・アブー・ファフル (Randa Abū Fakhr) 25 票
- サクル・ガドバーン (Ṣaqr al-Ghaḍbān) 24 票
- ズィヤード・サッルーム (Ziyād Sallūm) 24 票
- ムルサル・ムルシド (Mursal Muṣhid) 23 票
- ウムラーン・ジャバーイー (‘Umrān al-Jabā‘ī) 22 票
- リファト・タラービーヤ (Rifāt Ṭarābiya) 21 票

クナイトラ支部の第1支局、第2支局、第3支局、第1前線支局、第2前線支局は代表選挙第1段階を実施した。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 4, 2024)。

クナイトラ支部第1支局

- アリー・ファーウーリー (‘Alī al-Fā‘ūn) 95 票
- トウルキー・リファイー (Turkī al-Rifā‘ī) 89 票
- ラーシド・ハリール (Rāshid al-Khalīl) 88 票
- アズィーズ・ムハンマド (‘Azīz Muḥammad) 81 票
- インアーム・ハルサーウィー (In‘ām al-Kharsāwī) 77 票
- ムハンマド・アリー・ムハンマド (Muḥammad ‘Alī Muḥammad) 69 票

クナイトラ支部第2支局

- フサイン・アスカル (Ḥusayn ‘Askar) 149 票
- アンワル・アリー (Anwar ‘Alī) 146 票
- サーイル・タッハーン (Ṣā‘il al-Ṭaḥḥān) 142 票
- ターリク・アワド (Ṭāriq ‘Awaḍ) 141 票
- アリー・フライジュ (‘Alī al-Furayj) 140 票
- マフムード・サブラー (Maḥmūd Ṣabrā) 136 票
- ジャマール・フマイル (Jamāl Khumays) 134 票
- バースィル・カンス (Bāsil Qanṣ) 129 票
- アビール・アブドゥッター (‘Abīr ‘Abd Allāh) 127 票
- ハーリド・アブドゥッター (Khālīd al-‘Abd Allāh) 124 票
- ズハイル・アース (Zuhayr al-‘Ās) 123 票
- ムハンマド・ハーツジ (Muḥammad al-Ḥājī) 122 票

クナイトラ支部第3支局

- ハーリド・ハイヤート(Khālid al-Khayyāt) 160 票
- サファー・イスマーイール(Ṣafā' Ismā'īl) 144 票
- バースィル・ユースフ(Bāsil Yūsuf) 144 票
- アクラム・ムアーウイン(Akram al-Mu'āwin) 142 票
- マンスール・カッドウール(Manṣūr Qaddūr) 139 票
- ズィヤーブ・アフマド(Dhiyāb Aḥmad) 134 票
- ムーサー・アフマド(Mūsā al-Aḥmad) 127 票
- スィールファ・ハダード(Silfa Ḥaddād) 124 票
- アリー・マフムード('Alī Maḥmūd) 122 票

クナイトラ支部第1前線支局

- アイハム・フサイン(Ayham al-Ḥusayn) 142 票
- リヤード・ファールス(Riyād al-Fāris) 111 票
- ハムザ・スライマーン(Ḥamza Sulaymān) 104 票
- ハッサーン・ファールス(Ḥassān al-Fāris) 103 票
- マルワーン・ウラービー(Marwān 'Urābī) 97 票
- ハイサム・ドゥーマーニー(Haytham al-Dūmānī) 96 票
- アリー・ヒジャーズィー('Alī Ḥijāzī) 95 票
- ユースフ・リカーブ(Yūsuf Rikāb) 94 票
- ヤーミン・サイード(Yāmin al-Sa'īd) 94 票

クナイトラ支部第2前線支局(獲得票数は公表されず)

- ズィーバーン・アリー・アルヌース(Dhibān 'Alī al-'Amūs)
- フィラス・ラヒール・マハーウイシユ(Firās Raḥīl al-Mahāwish)
- アワド・イーサー・アリー('Awād 'Īsā al-'Alī)

◇2024年3月5日

ダマスカス郊外支部のクタイファ支局、タッル支局、ドゥーマー第1支局、ドゥーマー第2支局、ナブク支局、ヤブルード支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 5, 2024)。

ダマスカス郊外支部クタイファ支局

- ズィヤード・アムーリー(Ziyād al-'Amūrī) 109 票
- ムハンマド・アブドゥッダーイム(Muḥammad 'Abd al-Dā'im) 107 票
- ムハンマド・アダス(Muḥammad 'Adas) 106 票

- ファウワーズ・サフル(Fawwāz Ṣakhr) 100 票
- マージド・ワフビー(Mājid Wahbī) 98 票
- ハーリド・ガディー(Khālīd Ghadī) 96 票
- マフムード・サアドウツディーン(Maḥmūd Sa‘d al-Dīn) 82 票
- ムフリス・イブラーヒーム(Mukhlis Ibrāhīm) 81 票
- ムハンマド・イブラーヒーム(Muḥammad Ibrāhīm) 78 票

ダマスカス郊外支部タッル支局

- アムジャド・ハサン(Amjad Ḥasan) 95 票
- マーズィン・ウスマーン(Māzin ‘Uthmān) 93 票
- フドル・フルウ(Khuḍr al-Ḥulw) 92 票
- ムハンマド・アリー・シャーヒーン(Muḥammad ‘Alī Shāhīn) 86 票
- ハナー・ドウツラ(Hanā’ al-Durra) 82 票
- ハサン・マスウード(Ḥasan Mas‘ūd) 77 票
- ヤースィーン・バツジ(Yāsīn al-Bajj) 73 票
- イヤード・タラブ(Iyād Ṭalab) 60 票
- アフマド・ミールー(Aḥmad Mīrū) 57 票

ダマスカス郊外支部ドゥーマー第1支局

- ジャースィム・ムハンマド・マフムード(Jāsīm Muḥammad al-Maḥmūd) 119 票
- アブドウルカリーム・ワンヌース(‘Abd al-Karīm Wannūs) 116 票
- サーリフ・アリー・サーディカ(Ṣālīḥ ‘Alī Ṣādiqa) 113 票
- タウフイーク・シャーリト(Tawfiq al-Shālīt) 113 票
- ズィヤード・ハーリド(Ziyād al-Khālīd) 111 票
- マフムード・フーリー(Maḥmūd al-Khūlī) 103 票
- サラーフ・サーリフ(Ṣalāḥ Ṣālīḥ) 98 票
- ファーティマ・ハサン(Fāṭima Ḥasan) 96 票
- アドナーン・ワツザ(‘Adnān al-Wazza) 84 票

ダマスカス郊外支部ドゥーマー第2支局(獲得票数は公表されず)

- ナビール・ムハンマド・ズィヤーブ・マイダアーニー(Nabīl Muḥammad Dhiyāb al-Mayda‘ānī)
- アラーッディーン・マムドーフ・カスィーフ(‘Alā’ al-Dīn Mamdūḥ al-Qaṣīf)
- ザフラ・アブドウルカリーム・アワド(Zahra ‘Abd al-Karīm ‘Awaḍ)
- ファーリス・アブドウルジャリール・サルハーン(Fāris ‘Abd al-Jalīl Sarḥān)
- イサーム・フサイン・ナーイファ(‘Iṣām Ḥusayn Nāyifa)
- ハサン・ハーミド・ユース(Ḥasan Ḥāmid Yūs)

- ハーリド・アブドゥルアズィーズ・ナスル (Khālid ‘Abd al-‘Azīz Naṣr)
- アフマド・ムハンマド・アリー・ジャバル (Aḥmad Muḥammad ‘Alī al-Jabal)
- ファーリス・アリー・グライブ (Fāris ‘Alī al-Ghurayb)
- アリー・アブドゥルムウティール・アラーツディーン (‘Alī ‘Abd al-Mu‘ī ‘Alā’ al-Dīn)
- ハーリド・カースィム・ムサー (Khālid Qāsim Mūsā)
- アミーラ・ザカリーヤー・ハーヅジー (Amīra Zakariyā al-Hājī)

ダマスカス郊外支部ナブク支局

- リダー・アブドゥラツザーク・ムアーツズ (Ridā ‘Abd al-Razzāq Mu‘ādhdh) 70 票
- ハサン・ムハンマド・クライフ (Hasan Muḥammad al-Qulayḥ) 69 票
- フドル・ムハンマド・サーリフ (Khuḍr Muḥammad al-Ṣālīḥ) 62 票
- アブドゥルハリーム・ムハンマド・カースィム (‘Abd al-Ḥalīm Muḥammad al-Qāsim) 57 票
- ターミル・ムハンマド・ハイル・スイッディーク (Tāmir Muḥammad Khayr Ṣiddīq) 56 票
- フサイン・ムハンマド・アトルシャーン (Ḥusayn Muḥammad ‘Atrashān) 56 票

ダマスカス郊外支部ヤブルード支局

- ムハンマド・ムニール・ハンムード (Muḥammad Munīr Ḥammūd) 65 票
- ユースフ・イブラヒーム・ハンムード (Yūsuf Ibrāhīm Ḥammūd) 64 票
- ファーティマ・アブドゥラツザーク・ハイダル (Fāṭima ‘Abd al-Razzāq Ḥaydar) 59 票
- マフラーン・ジョルジュ・ジブリー (Mīhrān Jūrj Jibrī) 57 票
- アフマド・ムルヒム・フルーフ (Aḥmad Muḥim Khulūf) 56 票
- フサイン・マフムード・ヌーフ (Ḥusayn Maḥmūd Nūḥ) 51 票

◇2024年3月6日

ダマスカス郊外支部のキスワ地区、西ゲータ支局、東ゲータ地区で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 6, 2024)。

ダマスカス郊外支部キスワ地区

- ユースフ・シャーヒーン (Yūsuf Shāhīn) 76 票
- フィラース・ファルワーティール (Fīrās Farwātī) 65 票
- ラドワーン・ハーリド (Raḍwān Khālid) 65 票
- ハーリド・カルヤーン (Khālid al-Qaryān) 63 票
- ビラール・スワイリム (Bilāl al-Suwaylim) 59 票
- ファイサル・ファツハード (Fayṣal al-Fahhād) 55 票

ダマスカス郊外支部西ゲータ支局

- ニバル・イブラーヒーム・ハビーブ (Nībāl Ibrāhīm Ḥabīb) 100 票
- イサーム・ファーリス・ジュルース (‘Iṣām Fāris Jurūs) 99 票
- ムニール・ハスィーブ・シャアバーン (Munīr Ḥasīb Sha‘bān) 97 票
- ニウマーン・スバーフ・サラーマ (Nī‘mān Ṣubāḥ Salāma) 95 票
- ザカリヤー・ムハンマド・ジュムア・ダーウード (Zakariyā Muḥammad Jum‘a Dāwūd) 76 票
- マフムード・ムスタファー・マクシャーティー (Maḥmūd Muṣṭafā Maqshātī) 75 票
- アブード・ヌールッディーン・ハウ (‘Abūd Nūr al-Dīn al-Ḥaw) 70 票
- ズィヤード・シャアバーン・スツカリー (Ziyād Sha‘bān al-‘Sukkarī) 66 票
- ファフリー・ワジーフ・ジャッラーブ (Fakhrī Wajīḥ al-Jallāb) 66 票

ダマスカス郊外支部東ゲータ地区

- ムウタシム・ミスリー (Mu‘taṣīm al-Misrī) 138 票
- カマル・バルガナ (Qamar Barghana) 129 票
- バシール・ハザーウ (Bashīr Hazā‘) 128 票
- アブドゥルカリーム・ハッサーン (‘Abd al-Karīm al-Ḥassān) 126 票
- ファーディー・ダッカーク (Fādī al-Dakkāk) 117 票
- ジャマルッディーン・カーシュ (Jamāl al-Dīn al-Qāsh) 113 票
- サラーフ・バクルー (Ṣalāḥ Bakrū) 99 票
- ハーリド・スーダ (Khālid al-Sūdā) 96 票
- ハッサーン・ハサン (Ḥassān al-Ḥasan) 95 票

◇2024年3月7日

ダマスカス郊外支部のカトナー支局、クドスィーヤー支局、ザバダーニー支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 7, 2024)。

ダマスカス郊外支部カトナー支局

- マナール・アワド (Manār ‘Awad) 191 票
- シャーディー・ドゥービヤ (Shādī Dūbiya) 176 票
- ハナー・ワフバ (Hanā‘ Wahba) 169 票
- ウサーマ・アリー (Usāma al-‘Alī) 169 票
- イマード・サアーダート (‘Imād Sa‘ādāt) 169 票
- アフマド・ムルヒム (Aḥmad al-Mulhim) 166 票
- ハムザ・サブーティー (Ḥamza al-Sabūṭī) 164 票
- フィラーズ・アスラーウィー (Firās al-‘Asrāwī) 162 票

- ファタン・ナクーリー (Fatan Naqūrī) 160 票
- イブラーヒーム・ラクティーニー (Ibrāhīm Laqṭīnī) 154 票
- フサイン・アブドゥツラー (Ḥusayn al-‘Abd Allāh) 148 票
- シハーダ・アブー・ハーミド (Shihāda Abū Ḥāmīd) 147 票
- ウマル・カブラーン (‘Umar Qablān) 146 票
- ガーリブ・ズウビー (Gālib al-Zu‘bī) 140 票
- マフムード・クーラ (Maḥmūd al-Kūra) 136 票

عدد الأصوات	اسم المرشح	عدد الأصوات	اسم المرشح	عدد الأصوات	اسم المرشح
148 صوتاً	حسين العبدان	166 صوتاً	أحمد الملحم	191 صوتاً	منار عوض
147 صوتاً	شهادة ابو حامد	164 صوتاً	حمزة التوتري	176 صوتاً	شادي دويبه
146 صوتاً	عمر قبان	162 صوتاً	فراس العسراوي	169 صوتاً	هندا رعية
140 صوتاً	غالب الزغيبي	160 صوتاً	فائق لغوري	169 صوتاً	أسامة العلي
136 صوتاً	محمود الكورة	164 صوتاً	ابراهيم لقطيني	169 صوتاً	عماد سعادات

فرع ريف دمشق لحزب البعث العربي الاشتراكي
قسم الصحافة والإعلام الإلكتروني

(注)公開された開票結果の画像が荒く、転写に誤りがある可能性が否定できないため、オリジナルのデータ画像を掲載する。
(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 7, 2024.

ダマスカス郊外支部クドスィーヤー支局

- ハルドゥーン・ムハンマド・ナスーフ・アーミル (Khulūd Muḥammad Naṣūḥ ‘Āmir) 104 票
- ハーリド・ジャマル・ユースフ (Khālid Jamāl Yūsuf) 101 票
- ムジャーヒド・フアード・イスマーイール (Muḥāhid Fu‘ād Ismā‘īl) 80 票
- ユースフ・アリー・アリー (Yūsuf ‘Alī ‘Alī) 77 票

- ムニール・アブー・カフラー (Munīr Abū Kahlā) 76 票
- ムハンマド・フサイン・カーディー (Muḥammad Ḥusayn al-Qāḍī) 71 票

ダマスカス郊外支部ザバダーニー支局

- フサイン・ムハンマド・フサイン (Ḥusayn Muḥammad Ḥusayn) 65 票
- ムフリズ・アフマド・アワド (Muḥriz Aḥmad ‘Awaḍ) 64 票
- ハムザ・ダーヒル・アツバース (Ḥamza Ḍāhir ‘Abbās) 63 票
- イスマーイール・サイフッディーン (Ismā‘īl Sayf al-Dīn) 62 票
- ムニール・フサイン・タッル (Munīr Ḥusayn al-Tall) 60 票
- アフマド・アリー・ダーフーク (Aḥmad ‘Alī al-Dāhūk) 56 票

◇2024年3月9日

ダマスカス支部のダマスカス市第1支局、ダマスカス市第2支局、ダマスカス市第3支局、ダマスカス市第4支局、ダマスカス市第5支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 9, 2024)。

ダマスカス支部ダマスカス市第1支局

- シャーディー・ハイミー (Shādī al-Khaymī) 133 票
- ナガム・ウルヤー (Nagham ‘Ulyā) 98 票
- カースィム・ナクラシュ (Qāsim Naqrash) 84 票
- ビラール・クーラーン (Bilāl Kūrān) 81 票
- イスマーイール・フドル (Ismā‘īl Khuḍr) 79 票
- ムイーン・ライヤー (Mu‘īn Rayyā) 75 票
- アニス・カッドウール (Anīs Qaddūr) 66 票
- アラー・ザーザー (‘Alā’ Zāzā) 64 票
- アリー・アブド (‘Alī ‘Abbūd) 64 票

ダマスカス支部ダマスカス市第2支局

- ミシェル・ハッダード (Mishīl Ḥaddād) 86 票
- ヒシャーム・シャラーティー (Hishām Shalātī) 83 票
- ズィヤード・カルヤーン (Ziyād Qaryān) 80 票
- バースィル・シャーティル (Bāsīl al-Shātīr) 77 票
- イヤード・バグダーディー (Iyād Baghdādī) 69 票
- シャザー・イブラーヒーム (Shadhā Ibrāhīm) 67 票

ダマスカス支部ダマスカス市第3支局

- アリー・ジャディード(‘Alī Jadīd) 73 票
- バッサーム・バラカート(Bassām Barakāt) 68 票
- ファリード・アブドゥッラヒーム(Farīd ‘Abd al-Raḥīm) 64 票
- サミール・ジャザールリー(Samīr al-Jazā’irī) 62 票
- アブドゥッラー・ハサン(‘Abd Allāh al-Ḥasan) 49 票
- アブドゥルファッターフ・シャーウィーシュ(‘Abd al-Fattāh Shāwīsh) 36 票

ダマスカス支部ダマスカス市第4支局

- ハスナー・ムハンマド(Ḥasnā’ Muḥammad) 75 票
- アフマド・クルディー(Aḥmad al-Kurḍī) 74 票
- ナビール・ウルヤー(Nabīl ‘Ulyā) 60 票
- ジハード・ハーズィム(Jihād al-Khāzim) 60 票
- サームル・ハッダード(Sāmer Ḥaddād) 52 票
- ハイサム・ダーギスターニー(Haytham Dāghistānī) 46 票

ダマスカス支部ダマスカス市第5支局

- フルード・ムティーウ・アドラ(Khulūd Muṭī’ ‘Adra) 80 票
- アフマド・ユースフ・ガンヌーム(Aḥmad Yūsuf Ghannūm) 76 票
- アナス・アンワル・マールディーニー(Anas Anwar Mārdīnī) 66 票
- ムハンマド・ファーイズ・カッドウーラ(Muḥammad Fāyīz Qaddūra) 64 票
- アドナーン・ハリール・アリー・ハサン(‘Adnān Khaḥīl al-‘Alī al-Ḥasan) 63 票
- ムハンマド・サーミル・ナディール・ダブブーラ(Muḥammad Sāmīr Nadīr Dabbūra) 50 票

◇2024年3月10日

ダマスカス支部の経済支局、サービス第1支局、サービス第2支局、中央支局、労働者第1支局、労働者第2支局、ダマスカス大学支部の第3支局、第4支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 10, 2024)。

ダマスカス支部経済支局

- サファー・ナスィル(Ṣafā’ Nāṣīr) 113 票
- アラー・ヤースィーン(‘Alā Yāsīn) 68 票
- アリー・スライマーン(‘Alī Sulaymān) 67 票
- ムフスィン・ハンムディー(Muḥsin Ḥammūdī) 65 票
- ユースフ・ハルマー(Yūsuf Kharmā) 60 票
- ハイダル・ハイダル(Ḥaydar Ḥaydar) 57 票

ダマスカス支部中央支局

- アーディル・ラマダーン(‘Ādil Ramaḍān) 127 票
- ヌハード・シハーダート(Nuhād Shihādāt) 83 票
- サラーフ・ワンヌース(Ṣalāḥ Wannūs) 82 票
- アブドウルハキーム・サアディー(‘Abd al-Ḥakīm al-Sa’dī) 80 票
- アーミル・カツバーニー(‘Āmir Qabbānī) 58 票
- イマード・ジャツルール(‘Imād Jallūl) 54 票

ダマスカス支部サービス第1支局

- ハサナイン・ムハンマド・アリー(Ḥasanayn Muḥammad ‘Alī) 104 票
- ハイダル・イード(Haydar ‘Id) 96 票
- イスマーイール・ドゥーズカンジー(Ismā‘īl Dūzkanjī) 88 票
- タラール・フドル(Talāl Khudr) 75 票
- スマイヤ・バツルール(Sumayya Ballūl) 68 票
- アブドゥウツラヒーム・アブー・シャーマート(‘Abd al-Raḥīm Abū al-Shāmāt) 62 票

ダマスカス支部サービス第2支局

- ザйнаブ・ムニール・カーシム(Zaynab Munīr Qāsim) 94 票
- リーム・ムハンマド・カーミル・シャイフ・ハムダーン(Rīm Muḥammad Kāmil Shaykh Ḥamdān) 88 票
- ズハイル・ジュライズ・ダフダル(Zuhayr Jurays Dahdal) 87 票
- ラフィーク・アズィーズ・アルワーニー(Rafīq ‘Azīz ‘Alwānī)⁶ 78 票
- マフムード・サーリフ(Maḥmūd Ṣāliḥ) 63 票
- アイハム・イーサー(Ayham ‘Isā) 63 票

ダマスカス支部労働者第1支局

- アフマド・ムハンナー(Aḥmad Muḥannā) 49 票
- アリー・アツバース(‘Alī ‘Abbās) 29 票
- アフマド・マルイー(Aḥmad Mar‘ī) 29 票

ダマスカス支部労働者第2支局

- ムフスイン・アリー・ハドラ(Muḥsin ‘Alī Khaḍra) 40 票
- ハナー・ハンムード(Hanā’ Ḥammūd) 35 票
- ムスタファー・ヒラール(Muṣṭafā Hilāl) 31 票

⁶ Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 10, 2024 には、「アルワーニー」でなく、「アッルーニー」(‘Allūnī)と記載(誤記)されていた。

ダマスカス大学支部第3支局

- サハル・アツタール (Sahar al-‘Attār) 52 票
- フサイン・ティーナ (Ḥusayn Tīna) 49 票
- マフムード・ハディード (Maḥmūd Ḥadīd) 44 票
- ムスタファー・マワーリディー (Muṣṭafā Mawālīdī) 38 票
- ミールナー・スウード (Mīmā Su‘ūd) 35 票
- ガッサーン・ハッダード (Ghassān Ḥaddād) 33 票

ダマスカス大学支部第4支局

- ハウラ・ビシャーラ (Khawla Bishāra) 35 票
- ムハンマド・ハッスン (Muḥammad Ḥassūn) 34 票
- マイヤーダ・ディーブ (Mayyāda Dīb) 29 票
- アズィーズ・ムーサー (‘Azīz Mūsā) 27 票
- マダル・アッジー (Maḍar al-‘Ajī) 24 票
- アラー・カドマーティー (‘Alā Qadīmātī) 21 票

◇2024年3月11日

ダマスカス大学支部の第1支局、第2支局で代表選挙第1段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 11, 2024)。

ダマスカス大学支部第1支局

- ワッダーフ・ナウファル (Waḍḍāḥ Nawfal) 43 票
- ムハンマド・アブドゥッラー (Muḥammad al-‘Abd Allāh) 35 票
- イサーム・ハイダル (‘Iṣām Ḥaydar) 29 票
- スアード・マアルーフ (Su‘ād Ma‘rūf) 27 票
- ムンタシル・フサイン (Muntaṣir al-Ḥusayn) 27 票
- ハーミド・ファルザート (Ḥāmid Farzāt) 26 票

ダマスカス大学支部第2支局

- ナビール・フーシャーン (Nabīl al-Ḥūshān) 68 票
- アブドゥルワッハブ・シャフラー (‘Abd al-Wahhāb Shahlā) 65 票
- ラギード・ハサン (Raghīd Ḥasan) 65 票
- ムハンマド・ハッサーン・クルディー (Muḥammad Ḥassān al-Kurdī) 45 票
- マーヒル・ナッハース (Māhir al-Naḥās) 44 票
- イーハーブ・ヌクリー (‘Iḥāb al-Nuqrī) 41 票

◇その他

以下の支局においては、代表選挙第1段階の開票結果は公開されなかった。

- ▶ ヒムス支部: カルヤタイン支局、ヒムス支部スフナ支局
- ▶ イドリブ支部: イドリブ郡支局、アリーハー支局
- ▶ ハサカ支部: ハサカ市支局、ハサカ農村支局、カーミシュリー市支局、カーミシュリー農村支局、シャッターディー支局、ジャブサ支局、マーリキーヤ支局、ラアス・アイン支局、ルマイラーン支局、高等教育支局
- ▶ ダルアー支部: ナワー支局
- ▶ スワイダー県: スワイダー中央区東部支局
- ▶ バアス大学支部: 第1支局

3. 第2段階

拡大会合代表選挙の第2段階である支部での選挙は2024年2月29日から4月2日にかけて実施された。

◇2024年2月29日

ダイル・ザウル支部とハサカ支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 29, 2024)。

ダイル・ザウル支部

ダイル・ザウル市第1支局

- ▶ ヒンド・アツブーシュ (Hind al-‘Abbūsh) 44 票

ダイル・ザウル市第2支局

- ▶ サフル・トゥウマ (Ṣakhr al-Ṭu‘ma)⁷ 50 票
- ▶ ハリール・ハーツジ・ウバイド (Khalīl Ḥājj ‘Ubayd) 41 票

ブーカマール支局

- ▶ サーリフ・ダンドル (Ṣāliḥ al-Dandal) 56 票

ブサイラ支局

- ▶ ラーイド・ムハンマド (Rā‘id al-Muḥammad) 79 票

⁷ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 29, 2024 には、「トゥウマ」に定冠詞(al-)がついていなかった。

マヤーディーン支局

- アリー・マスウード(‘Alī al-Mas‘ūd) 67 票
- ナスリーン・ドゥワイヒー(Nasrīn al-Ḍuwayhī) 49 票

高等教育支局

- ターハー・ハリーフア(Ṭahā Khalīfa) 94 票
- マーリク・ウマル(Mālik al-‘Umar) 64 票

農村第1支局

- イブラヒーム・ハサーウィー(Ibrāhīm al-Ḥasāwī) 65 票
- ジャドアーン・サラーフ(Jad‘ān al-Ṣalāh) 63 票

農村第2支局

- アフマド・アリー(Aḥmad al-‘Alī)⁸ 57 票

ハサカ支部

ハサカ市支局

- ジョルジュ・スミー・ユースフ(Jūrj Šūmī Yūsuf) 55 票
- ムハンマド・サイド・ハラフ(Muḥammad Sa‘īd Khalaf) 49 票
- アフマド・シャウワーフ・サッラール(Aḥmad Shawwākh al-Ṣallāl) 47 票

ハサカ農村支局

- ハミード・ジャンムー・ジャウハル(Ḥamīd Jammū al-Jawhar) 59 票
- バッサーム・アリー・イリヤース(Bassām ‘Alī Ilyās) 52 票

カーミシュリー市支局

- ムハンマド・ダイフ・アフマド(Muḥammad Dayf al-Aḥmad) 83 票
- トウルキー・アズィーズ・ハサン(Turkī ‘Azīz Ḥasan) 68 票

カーミシュリー農村支局

- サーリム・ハッルーシュ・ハラフ(Sālim Hallūsh Khalaf) 71 票
- アブドゥルムンイム・フライル・ハミード(‘Abd al-Mun‘im Hulayl al-Ḥamīd) 64 票
- サイド・ダッアース・フサイン(Sa‘īd Da‘ās al-Ḥusayn) 60 票
- ラシード・ムハンマド・カウード(Rashīd Muḥammad al-Ka‘ūd) 59 票
- アフマド・シャイフ・アミン・シャイフ・ユースフ(Aḥmad al-Shaykh Amīn Shaykh Yūsuf) 53 票

⁸ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 24, 2024 のアフマド・アリー・ドウルズィー(Aḥmad al-‘Alī al-Durzī)と同一人物。

シャッターデー支局

➤ ムハンマド・ハサン・ハマド (Muḥammad Ḥasan al-Ḥamad) 48 票

ジャブサ支局

➤ アリー・ハサン・ユースフ (‘Alī Ḥasan al-Yūsuf) 58 票

マーリキーヤ支局

➤ ファウワーズ・ハミード・アリー (Fawwāz Ḥamīd al-‘Alī) 74 票

➤ アブド・スライマーン・ハムザ (‘Abd Sulaymān al-Ḥamza) 49 票

ラアス・アイン支局

➤ サールム・ムハンマド・サイヤーフ (Sālim Muḥammad al-Ṣayyāḥ) 51 票

➤ トウルキー・ムハンマド・ハイルー (Turkī Muḥammad al-Khayrū) 46 票

ルマイラーン支局

➤ ハーリド・サイド・フサイン (Khālīd Sa‘īd al-Ḥusayn) 47 票

高等教育支局

➤ ガッサーン・サーリフ・ハンムード (Ghassān Ṣāliḥ al-Ḥammūd) 67 票

➤ ハーリド・ナーシル・アブドウルアズィーズ (Khālīd Nāṣir ‘Abd al-‘Azīz) 59 票

◇2024年3月16日

人民議会バアス党ブロック所属所属議員からなる人民議会支部の167人が拡大会合代表選挙第2段階の投票を行った。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 16, 2024)。

人民議会支部

ダマスカス選挙区

➤ ニダール・ムハンナー (Nidhāl Muḥannā) 68 票

➤ ムハンマド・マナーフ・アツカード (Muḥammad Mannāf al-‘Aqqād) 48 票

ダマスカス郊外選挙区

➤ ヒクマト・アズブ (Ḥikma al-‘Azb) 58 票

➤ アブドゥッラフマーン・ハティーフ (‘Abd al-Raḥmān al-Khaṭīb) 53 票

ダルアー選挙区

➤ マナーフ・ファッラーフ (Manāf al-Fallāḥ) 66 票

➤ アブドゥンナーシル・ハリリー (‘Abd al-Nāṣir al-Ḥarīrī) 61 票

スワイダー選挙区

➤ ハーリド・カルバージュ (Khālid Karbāj) 69 票

クナイトラ選挙区

➤ リダー・ダムカシー (Riḍā al-Damaqṣī) 81 票

ヒムス選挙区

➤ アフド・スッカリー (ʿAhd Sukkarī) 80 票

➤ ムハンマド・ハサン・ラアド (Muḥammad Ḥasan Badr) 61 票

ハマー選挙区

➤ アイマン・マランディー (Ayman Malandī) 67 票

➤ ムスタファー・ハリール (Muṣṭafā Khalīl) 64 票

タルトゥース選挙区

➤ ラーニヤー・ハサン (Rānyā Ḥasan) 65 票

➤ ラーミー・サーリフ (Rāmī Ṣāliḥ) 55 票

ラタキア選挙区

➤ アイハム・ジュライクース (Ayham Juraykūs) 85 票

➤ アイマン・アフマド (Ayman Aḥmad) 48 票

イドリブ選挙区

➤ アフマド・ファラジュ (Aḥmad al-Faraj) 49 票

➤ ジャマール・マストゥー (Jamāl Maṣṭū) 47 票

アレppo選挙区

➤ アブドゥルムンイム・サワー (ʿAbd al-Munʿim al-Ṣawā) 81 票

➤ ムハンマド・ラビーウ・カルアジー (Muḥammad Rabīʿ Qalʿa-jī) 53 票

アレppo県諸地域選挙区

➤ カーシム・ムハンマド・ハサン (Qāsim Muḥammad Ḥasan) 52 票

➤ ウマル・ハマドゥー (ʿUmar al-Ḥamadū) 49 票

ラッカ選挙区

➤ アフマド・マタル・ハミーディー (Aḥmad Maṭar al-Ḥamīdī) 60 票

ダイル・ザウル選挙区

➤ ヤースイル・サラーマ (Yāsir al-Salāma) 58 票

➤ バッシュャール・ムトラク (Bashshār al-Muṭlaq) 55 票

ハサカ選挙区

- ハーリド・ハマーダ (Khālid al-Hamāda) 71 票
- ハサン・サッルーミー (Hasan al-Sallūmī) 67 票

◇2024年3月18日

ダマスカス支部とダマスカス大学支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 18, 2024)。

ダマスカス支部

ダマスカス市第1支局

- サリーム・ムハルダーウィー (Salīm Muḥardāwī) 124 票
- シャーディー・ハイミー (Shādī al-Khaymī) 108 票
- ナガム・ウルヤー (Nagham ‘Ulyā) 60 票

ダマスカス市第2支局

- ウィサーム・ナスルツラー (Wisām Naṣr Allāh) 108 票
- ミシェル・ハッダード (Mishīl Ḥaddād) 66 票

ダマスカス市第3支局

- ファーディー・アフマド (Fādī Aḥmad) 127 票
- ファリード・アブドゥッラヒーム (Farīd ‘Abd al-Raḥīm) 96 票

ダマスカス市第4支局

- ジハード・ハーズィム (Jihād al-Khāzim) 91 票
- ラッザーン・フワーリー (Razzān Ḥuwārī) 83 票

ダマスカス市第5支局

- マーズィン・トゥツファーハ (Māzin Tuḥfāḥa) 145 票
- フルード・アドラ (Khulūd ‘Adra) 101 票

経済支局

- サファー・ナーシル (Ṣafā’ Nāṣir) 72 票
- アラー・ヤースィーン (‘Alā Yāsīn) 67 票

サービス第1支局

- ハサナイン・ムハンマド・アリー (Ḥasanayn Muḥammad ‘Alī) 83 票
- アブドゥッラヒーム・アブー・シャーマート (‘Abd al-Raḥīm Abū al-Shāmāt) 69 票

サービス第2支局

- アンワル・ザイル(Anwar al-Zayr) 103 票
- ラフィーク・アルワーニー(Rafiq al-Wānī) 74 票

中央支局

- アブドウルハキーム・サアディー(‘Abd al-Ḥakīm al-Sa‘dī) 93 票
- ヌハード・シハーダート(Nuhād Shahādāt) 69 票

労働者第1支局

- アフマド・ムハンナー(Aḥmad Muḥannā) 66 票

労働者第2支部

- ハナー・ハンムード(Hanā’ Ḥammūd) 98 票

ダマスカス大学支部

第1支局

- ワッダーフ・ナウファル(Waddāḥ Nawfal) 78 票
- イサーム・ハイダル(‘Iṣām Ḥaydar) 48 票

第2支局

- アリー・クーサー(‘Alī Kūsā) 50 票
- アブドウルワッハーブ・シャフラー(‘Abd al-Wahhāb Shahla) 43 票

第3支局

- フサイン・ティーナ(Ḥusayn Tīna) 51 票
- マフムード・ハディード(Maḥmūd Ḥadīd) 50 票

第4支局

- ムハンマド・ハッスーン(Muḥammad Ḥassūn) 65 票
- ハウラ・ビシャーラ(Khawla al-Bishāra) 43 票

◇2024年3月19日

ダマスカス郊外支部とクナイトラ支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 19, 2024)。

ダマスカス郊外支部

カトナー支局

- マルワーン・ヒーラーナ (Marwān Hīlāna) 94 票
- フサイン・アブドゥツラー (Ḥusayn al-ʿAbd Allāh) 89 票
- ガーリブ・ズウビー (Gālib al-Zuʿbī) 83 票
- フィラーズ・アスラーウィー (Firās al-ʿAsrāwī) 68 票
- イマード・サアードート (ʿImād Saʿādāt) 63 票

キスワ地区

- フィラーズ・ファルワーティー (Firās Farwātī) 92 票
- イサーム・ハリールバ (ʿIṣām Kharība) 85 票

クタイファ支局

- ファウワーズ・サフル (Fawwāz Ṣakhr) 101 票
- ムハンマド・イブラーヒーム (Muḥammad Ibrāhīm) 94 票
- マージド・ワフバ (Mājid Wahba)⁹ 67 票

クドスィーヤー支局

- ハーリド・ユースフ (Khālid Yūsuf) 122 票
- ムジャーヒド・イスマーイール (Mujāhid Ismāʿīl) 114 票

ザバダーニー支局

- ムフリズ・アワド (Muḥriz ʿAwaḍ) 96 票
- ラドワーン・ムスタファー (Raḍwān Muṣṭafā) 85 票

タッル支局

- アフマド・ミールー (Aḥmad Mīrū) 87 票
- イヤード・タラブ (Iyād Ṭalab) 84 票
- フドル・フルウ (Khudr al-Ḥulw) 76 票

ドゥーマー第1支局

- スライヤー・ムスリマーニーヤ (Thurayyā Muslimānīya) 98 票¹⁰
- ズィヤード・ハーリド (Ziyād al-Khālid) 91 票

⁹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 5, 2024 には、「ワフバ」ではなく、「ワフビー」(Wahbī)と記載されていた。

¹⁰ Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 19, 2024 には、「ムスリマーニーヤ」ではなく、「ムスマーニーヤ」(Musmānīya)と記載(誤記)されていた。

➤ サーリフ・サーディカ (Ṣālih Ṣādiqa) 86 票

ドゥーマー第2支局

➤ サフワーン・アブー・サアダー (Ṣafwān Abū Sa‘dā)¹¹ 120 票

➤ ハーリド・ムーサー (Khalīd Mūsā) 97 票

➤ ナビール・マイダアーニー (Nabīl al-Mayda‘ānī) 90 票

➤ ファーリス・グライブ (Fāris al-Ghuryab) 64 票

ナブク支局

➤ リダー・ムアーツ (Riḍā Mu‘ādhdh) 142 票

➤ ハサン・クライフ (Ḥasan al-Qulayh) 132 票

西グータ支局

➤ アフマド・アリーシャ (Aḥmad ‘Arīsha) 107 票

➤ ニバール・ハビーブ (Nabīl Ḥabīb) 80 票

➤ ハーミド・アブー・ハリーフ (Ḥāmid Abū Khalīf) 66 票

東グータ地区

➤ アブドゥフ・ダルハバーニー (‘Abduh Darkhabānī) 105 票

➤ バシール・ハザーウ (Bashīr Hazā‘) 86 票

➤ ムウタスィム・ミスリー (Mu‘taṣim al-Misrī) 69 票

ヤブルード支局

➤ アンマール・ウラービー (‘Ammār ‘Urābī) 108 票

➤ フサイン・ヌーフ (Ḥusayn Nūh) 93 票

クナイトラ支部

第1支局

➤ アーリフ・ムハンマド・ラシュラーシュ (‘Ārif Muḥammad Raṣhrāsh) 55 票

➤ ラーシド・ユースフ・ハリール (Rāshid Yūsuf al-Khalīl) 46 票

第2支局

➤ トウウマ・ハイダル・アフマド (Ṭu‘ma Ḥaydar al-Aḥmad) 74 票

➤ ジャーシム・ズィーブ・バシュワート (Jāsīm Dhīb al-Bashwāt) 54 票

➤ ラミース・ファンディー・アフマド (Lamīs Fandī Aḥmad) 47 票

¹¹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 19, 2024 には、「サアダー」ではなく、「サアディー」(Sa‘dī)と記載(誤記)されていた。

➤ フサイン・アフマド・アスカル (Ḥusayn Aḥmad ‘Askar) 47 票

第3支局

➤ リファト・ユースフ・フサイン (Rif‘at Yūsuf Ḥusayn) 65 票

➤ ムウタッズ・アブー・ナスル・ジュムラーン (Mu‘tazz Abū al-Naṣr Jumrān) 57 票

➤ ズィヤーブ・ムーサー・アフマド (Ziyāb Mūsā Aḥmad) 43 票

第1前線支局

➤ ハーリド・ワリード・アバーザ (Khālīd Walīd Abāza) 80 票

➤ ハムザ・アフマド・スライマーン (Ḥamza Aḥmad Sulaymān) 63 票

➤ アイハム・ムハンマド・フサイン (Ayham Muḥammad al-Ḥusayn) 59 票

第2前線支局

➤ ズィーバーン・アリー・アルヌース (Dhibān ‘Alī al-‘Amūs) 61 票

在ダルアー・クナイトラ支局

➤ ジャースィム・ムハンマド・サーリフ (Jāsīm Muḥammad al-Ṣāliḥ)

◇2024年3月20日

ダルアー選挙区とスワイダー支部で拡大大会代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 20, 2024)。

ダルアー支部

ダルアー市支局

➤ フサイン・リファアーイー (Ḥusayn al-Rifā‘ī) 83 票

ダルアー農村支局

➤ イマード・ラーディー (‘Imād al-Rāḍī) 121 票

イズラア支局

➤ ハルドゥーン・ズウビー (Khaldūn al-Zu‘bī) 95 票

➤ ムハンマド・ハリール (Muḥammad al-Ḥarīrī) 66 票

➤ ルダイナ・アーザル (Rudayna al-‘Āzar)¹² 62 票

¹² Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 20, 2024 には、「アーザル」ではなく、「アーザール」(‘Āzār)と記載(誤記)されていた。

サナマイン支局

- ヤースイーン・ザーミル (Yāsīn al-Zāmil) 93 票
- ハーリド・カナート (Khālid Qanāt) 90 票
- ハービス・ガスィーン (Hābis al-Ghaṣīn) 83 票
- ズーダ・ムハーリブ (Dhūda al-Muḥārib) 66 票
- ヤースィル・サアディー (Yāsīr al-Sa‘dī) 61 票

シヤジャラ支局

- アフマド・ハムダーン (Aḥmad Ḥamdān) 71 票

ナワー支局

- アブドゥルカリーム・ジャバーウィー (‘Abd al-Karīm al-Jabāwī) 64 票
- マンハル・アマーリーン (Manhal al-‘Amārīn) 60 票

ヤルムーク支局

- カマール・バルムー (Kamāl Bamū) 125 票
- ブスラー・シャーム支局
- ワーフィー・ダウス (Wāfī al-Daws) 59 票

高等教育支局

- ムハンマド・ワーイル・ハラキー (Muḥammad Wā‘il al-Ḥalaqī) 68 票
- ムアンマル・ハワーリナ (Mu‘ammar al-Hawārīna) 67 票

スワイダー支部

スワイダー市支局

- ディヤーナー・ナイーム (Diyānā Na‘īm) 65 票
- アドナーン・ムハンナー (‘Adnān Muḥmnā) 92 票
- ワリード・アブー・アサリー (Walīd Abū ‘Asālī) 65 票

スワイダー中央区西部支局

- イーハーブ・ハーミド (Īhāb Ḥāmid) 64 票
- バッサーム・ザギーブ (Bassām Zaghib) 59 票
- イマード・ハルブ (‘Imād Ḥarb) 51 票

スワイダー中央区東部支局

- アンワル・ハサニーヤ (Anwar al-Ḥasanīya) 87 票
- バッシュャール・ナツサール (Bashshār Naṣṣār) 68 票
- ガッサーン・イツツディーン (Ghassān ‘Izz al-Dīn) 66 票

➤ フィラス・アブー・ザイド (Firās Abū Zayd) 56 票

➤ ウマル・ジャバーイー (‘Umar al-Jabā’ī) 55 票

クライヤー支局

➤ イフサーン・アブー・フジャイリー (Iḥsān Abū Hujayrī) 58 票

➤ アーティフ・アブー・ザフラ (‘Āṭif Abū Zahrā) 51 票

サルハド支局

➤ マルワーン・ジャービル (Marwān Jābir) 87 票

➤ サーミル・ブーハサーズ (Sāmīr Būḥaṣāṣ)¹³ 77 票

➤ ナスィーム・フダイファ (Nasīm Ḥudayfa) 49 票

シャフバー支局

➤ イミール・マカーリム (Imīl Makārim) 70 票

➤ バッサーム・タウィール (Bassām al-Ṭawīl) 66 票

➤ ファード・サッルーム (Fu’ād Sallūm) 65 票

➤ スライマーン・サーリフ・アンマーシヤ (Sulaymān Ṣāliḥ ‘Ammāsha) 62 票

➤ ヤフヤー・サフナーウィー (Yahyā al-Ṣaḥnāwī) 53 票

高等教育支局

➤ サクル・ガドバーン (Ṣaqr al-Ghadbān) 85 票

➤ ズィヤード・サッルーム (Ziyād Sallūm) 59 票

◇2024年3月24日

ヒムス支部とバース大学支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 24, 2024)。

ヒムス支部

ヒムス市第1支局

➤ カナアーン・ジャウダ (Kana’ān Jawda) 121 票

➤ ウマル・フーリーヤ (‘Umar Ḥūrīya) 90 票

➤ ターリク・フドル (Ṭāriq al-Khudr) 70 票

¹³ Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 20, 2024 には、「ブーハサーズ」ではなく、「ブハサーズ」(Būḥaṣāṣ)と記載(誤記)されていた。

ヒムス市第2支局

- アーリフ・シャイフ (ʿĀrif al-Shaykh) 81 票
- ムハンマド・アッバース (Muḥammad ʿAbbās) 80 票

ヒムス市第3支局

- フサーム・アウダ (Ḥusām ʿAwda) 119 票
- ムハンマド・サージュ (Muḥammad al-Ṣāj) 116 票
- ナーディル・ハムドゥーシュ (Nādir Ḥamdūsh) 64 票

ヒムス中央区第1支局

- サール・フドゥール (Sāʿir Khuḍūr) 84 票
- アブドゥッサラーム・ハツダード (ʿAbd al-Salām Ḥaddād) 79 票

ヒムス中央区第2支局

- ワフィーク・ジャウラーニー (Wafīq al-Jawrānī) 140 票
- ハーリド・ダーヒル (Khālid al-Dāhir) 108 票
- ムンズィル・クーサー (Munadhḥir al-Kūsā) 103 票

カルヤタイン支局

- フザイファ・アブドゥツラー (Ḥudhayfa al-ʿAbd Allāh) 117 票

クサイル支局

- バドル・ラアド (Badr Raʿd) 126 票
- イリヤース・ザハビー (Ilyās Dhahāb)¹⁴ 119 票
- ムハンマド・アイユーブ (Muḥammad Ayyūb) 95 票

シーン支局

- ラーフ・アリー (Raʿf ʿAlī) 92 票
- ラミース・ドゥユーブ (Lamīs Duyūb) 91 票
- ダルウィーシュ・ダルウィーシュ (Darwīsh Darwīsh) 89 票

スフナ支局

- ムハンマド・マフムード (Muḥammad al-Maḥmūd) 77 票

タッルカラフ支局

- ナディーム・アリー (Nadīm al-ʿAlī) 105 票

¹⁴ Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 24, 2024 には、「ザハビー」ではなく、「ワフビー」(Wahbī)と記載(誤記)されていた。

- ムハンマド・ラーイー (Muḥammad al-Ra'ī) 96 票
- アリー・サンカリー (‘Alī Sankarī) 90 票
- ダマル・アリー (Damar ‘Alī) 78 票
- サミール・アツバース (Salīh ‘Abbās) 70 票

タドムル支局

- ザキー・ウライウィー (Zakī al-‘Ulaywī) 103 票
- ミシュアル・ハンムード (Mish‘al al-Ḥammūd) 79 票

マフザム支局

- マアムーン・ジャウラーニー (Ma‘mūn al-Jawrānī)¹⁵ 130 票
- アッザーム・ミーラード (‘Azzām Mīlād) 89 票
- ウマイマ・フドゥール (Umayma Khuḍūr) 73 票

ラスタン支局

- アフマド・スイブスイビー (Aḥmad al-Sibsibī) 137 票
- ムスリフ・ザギーリー (Muṣliḥ al-Dhaghīlī)¹⁶ 103 票

教育支局

- フィラーズ・アイヤーシュ (Firās ‘Ayyāsh) 87 票
- ファード・アースイー (Fu‘ād ‘Āṣī) 80 票

殉教者バースィル・アサド支局

- イヤード・ザフルール (Iyād Zafūr) 167 票
- イーサー・スライマーン (‘Īsā Sulaymān) 123 票
- ラーミー・ユースフ (Rāmī al-Yūsuf) 90 票
- ファーディー・イブラーヒーム (Fādī Ibrāhīm) 76 票
- ムハンマド・バククル (Muḥammad Bakkūr) 74 票

バアス大学支部

第1支局

- アブドゥルバースィト・ハティーブ (‘Abd al-Bāsiṭ al-Khaṭīb) 51 票
- アドナーン・シャイフ・ハンムード (‘Adnān al-Shaykh Ḥammūd) 51 票

¹⁵ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 7, 2024 には、「ジャウラーニー」ではなく、「ハウラーニー」(al-Ḥawrānī)と記載されていた。

¹⁶ Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 24, 2024 には、「ダギーリー」ではなく、「ダギーラ」(al-Dhaghīla)と記載されていた。

第2支局

- イマード・マスーフ(‘Imād Masūh) 49 票
- ハナー・ジャースィム(Hanā’ al-Jāsīm) 38 票

第3支局

- ファーイク・シュッドウド(Fā’iq Shuddūd) 72 票
- アーディル・マフラーティー(‘Ādil Makhlātī) 31 票

◇2024年3月25日

ハマー支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 25, 2024)。

ハマー支部

ハマー市第1支局

- アイマン・ダツカーク(Ayman al-Daqqāq) 107 票
- ハイダル・フィルダーウィー(Haydar Firdāwī) 82 票

ハマー市第2支局

- マフムード・ザンブーア(Mahmūd Zanbū’a) 159 票
- ラーイド・ウスマーン(Rā’id Muṣṭafā ‘Uthmān) 79 票

ガープ支局

- アウファー・ワッスーフ(Awfā Wassūf) 119 票
- リヤード・ズユード(Riyād Zuyūd) 108 票
- ファード・アクル(Fu’ād ‘Aql) 107 票
- ムハンマド・アッジー(Muhammad al-‘Ajī) 100 票
- マフズーム・ハイダル(Makhzūm Haydar) 94 票

サラミーヤ支局

- イスマーイル・サイフー(Ismā’īl Sayfū) 113 票
- ウサーマ・ハルバー(Usāma Ḥarbā) 100 票
- ハマーム・ディブヤート(Hamām al-Dibyāt) 90 票
- アブドゥルカリーム・シーハーウィー(‘Abd al-Karīm al-Shihāwī) 70 票
- バッサーム・カンヌーウ(Bassām Qannū‘) 69 票

スーラーン支局

- アフマド・ハリール(Aḥmad al-Khalīl) 119 票

- アブドウルハリーム・ハリール (‘Abd al-Ḥalīm Khalīl) 85 票
- ハーリド・ハディード (Khālīd Ḥadīd) 68 票

ムハルダ支局

- ハーヰム・シャイフ (Ḥāzīm al-Shaykh) 109 票
- ワリード・スルス (Walīd al-Thulth) 80 票
- マムドーフ・アフマド (Mamdūh al-Aḥmad) 69 票

ミスヤーフ支局

- スハイル・イブラーヒーム (Suhayl Ibrāhīm) 110 票
- ハナー・アフマド (Hanā’ Aḥmad) 104 票
- アリー・ウダイ (‘Alī al-‘Uday) 80 票
- アブドウルハーディー・ムスタファー (‘Abd al-Ḥādī al-Mustafā) 68 票
- ムハンマド・クライブ (Muḥammad Kulayb) 61 票

高等教育支局

- シュクリーヤ・ハツキー (Shukrīya Ḥaqqī) 120 票
- アブドゥラッザーク・サーリム (‘Abd al-Razzāq Sālim) 77 票

農村支局

- ラディーヤ・サクル (Raḍīya Saqr) 101 票
- サリーム・フルーフ (Sālim Khulūf) 100 票
- アブドウルハמיד・アムーリー (‘Abd al-Ḥamīd al-‘Amūrī) 95 票
- マーヒル・ユーンヌス (Māhir al-Yūnus) 84 票
- ヒクマ・イブラーヒーム (Ḥikma al-Ibrāhīm) 71 票

労働者支局

- シャーディー・サアーダ (Shādī Sa‘āda) 77 票

◇2024年3月26日

イドリブ支部とラッカ支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 26, 2024)。

イドリブ支部

イドリブ市支局

- マイヤーダ・ジャッブール (Mayāda Jabbūr) 52 票
- ガッスーブ・ジャウハル (Ghaṣṣūb Jawhar) 48 票

イドリブ郡支局

➤ アドナーン・アジャミー(‘Adnān ‘Ajāmī) 47 票

アリーハー支局

➤ ムハンマド・ファフド・スース(Muḥammad Fahd al-Šūs) 54 票

カフルタハーリーム支局

➤ サーイル・ナースィフ・サルハブ(Thā‘ir Nāṣiḥ Salḥab) 67 票

サラーキブ支局

➤ アフマド・ジャースィム・ナツジャール(Aḥmad Jāsīm al-Najjār) 76 票

サルキーン支局

➤ アブドウルハミード・イスタンブーリー(‘Abd al-Ḥamīd Istānbūlī) 65 票

ジスル・シュゲール支局

➤ ウマル・ダーダー(‘Umar Dādā)¹⁷ 66 票

ハーリム支局

➤ アワド・マフムード(‘Awād Maḥmūd) 63 票

ハーン・シャイフーン支局

➤ フサーム・ハーリド・ハッルーム(Ḥusām Khālīd al-Ḥallūm) 66 票

マアッラト・ニウマーン支局

➤ ジハード・ファルハート(Jihād Farahāt) 54 票

ラッカ支部

ラッカ市支局

➤ アブドゥツラツザーク・ジャースィム(‘Abd al-Razzāq al-Jāsīm) 52 票

サウラ支局

➤ クサイ・リヤー(Quṣay Riyā) 90 票

タッル・アブヤド支局

➤ ムハンマド・ジュワイド(Muḥammad al-Juwayd) 47 票

¹⁷ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 13, 2024 には、「ダーダー」ではなく、「ダーダ」(Dāda)と記載されていた。

ユーフラテス河畔支局

- ファルヤール・ナディーム・ファラフ (Faryāl Nadīm Farah) 40 票

教育支局

- アフマド・ハサン (Aḥmad al-Ḥasan) 104 票

農村第1支局

- アブドゥラッザーク・ハリーフ (ʿAbd al-Razzāq Khalīfā) 92 票
- ファウワーズ・アッサーフ (Fawwāz al-ʿAssāf) 58 票
- アリー・イブラーヒーム (ʿAlī al-Ibrāhīm) 57 票
- サーリフ・タッラード (Ṣāliḥ al-Ṭarrād) 51 票

農村第2支局

- ムーサー・アリー (Mūsā al-ʿAlī) 90 票
- アブドゥラッザーク・ダルウィーシュ (ʿAbd al-Razzāq al-Darwīsh) 59 票

◇2024年3月28日

アレッポ支部とアレッポ大学支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 28, 2024)。

アレッポ支部

アアザーズ支局

- ワヒード・ムーサー・ヒラール (Waḥīd Mūsā al-Hilāl) 103 票
- ヤフヤー・ハーツジ・アリー (Yahyā Ḥājj ʿAlī) 99 票

アイン・アラブ支局

- アブド・イーサー (ʿAbbūd al-ʿIsā) 122 票

アフリーン支局

- ハリール・ムッラー (Khalīl Saḥīm Mullā) 102 票

サフィーラ支局

- アブドゥルマジード・イブラーヒーム (ʿAbd al-Majīd Ibrāhīm) 110 票

ジャラーブルス支局

- ハサン・ウワイス (Ḥasan al-ʿUways) 84 票

ダイル・ハーフィル支局

- ガーニム・ワスミー (Ghānim al-Wasmī) 118 票

バーブ支局

- アミン・ナクル (Amīn Khalīl al-Naqr) 133 票

マンビジュ支局

- アブドゥッラー・フサイン (‘Abd Allāh al-Ḥusayn) 117 票
- シヤムスッディーン・シャツダード (Shams al-Dīn al-Shaddād)¹⁸ 85 票

殉教者タイスイール・ハラビー支局

- ユースフ・ジャウハル (Yūsuf Jawhar) 89 票

殉教者ムハンマド・シハーダ支局

- アドナーン・ザーザー (‘Adnān Zāzā) 91 票

殉教者ムヒーッディーン・バククル支局

- ハムドゥー・カルナファル (Ḥamdū Qarnafal) 100 票

教育第1支局

- アフマド・マンスール (Aḥmad Manṣūr) 126 票
- アブドゥルムニム・ムスタファー (‘Abd al-Mun‘im al-Muṣṭafā) 112 票

教育第2支局

- サーリフ・ハディード (Ṣāliḥ Ḥadīd) 108 票
- ウマル・アールーブ (‘Umar al-‘Ārūb) 98 票

教育第3支局

- アブドゥルカーディル・アブー・ナアスー (‘Abd al-Qādir al-Abū Na‘sū) 122 票

自由職業支局

- ナジュダト・アフアシュ (Najdat ‘Afash) 107 票
- ザーヒル・バタル (Zāhir Baṭal) 100 票
- ラーシーン・ジャウダト (Lāshīn Jawdat) 72 票

¹⁸ Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 28, 2024 には、「シャツダード」ではなく、「シャダーディー」(Shaddādī)と記載(誤記)されていた。

就労者支局

- フサイン・ディヤーブ (Ḥusayn Diyāb) 96 票
- イマード・サーリフ (‘Imād al-Sāliḥ) 92 票

労働者第1支局

- ムハンマド・ラビーウ・ナブハーン (Muḥammad Rabī‘ Nabhān) 124 票

労働者第2支局

- アリー・ハーヅジ・カルブーン (‘Alī Ḥājj Kalbūn) 107 票

労働者第3支局

- イマードッディーン・ガドバーン (‘Imād al-Dīn Ghaḍbān) 64 票

労働者第4支局

- ハーリド・アブー・バクル (Khālīd Abū Bakr) 118 票

アレppo大学支部

殉教者アドナーン・マーリキー支局

- ナビーラ・ラズズーク (Nabīla al-Razzūq) 66 票
- ムハンマド・ムハンマド・フサイン (Muḥammad al-Muḥammad al-Ḥusayn) 58 票

殉教者アフダル・アラビー支局

- イマード・マルイー (‘Imād al-Mar‘ī) 73 票
- イブラーヒーム・ハディード (Ibrāhīm Ḥadīd)¹⁹ 71 票

殉教者アフマド・アッザーウィー支局

- マーヒル・カルマーン (Māhir Karmān) 63 票
- アフマド・シャイフ・カッドウール (Aḥmad Shaykh Qaddūr) 54 票

殉教者ムハンマド・ワリード・ムルキー支局

- ルアイ・シャーシャーティー (Lu‘ay Shāshāṭī) 70 票
- アフド・サイード (‘Ahd Sa‘īd) 60 票

◇2024年4月1日

ラタキア支部とティシュリーン大学支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の

¹⁹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 28, 2024 には「ハディード」に定冠詞(al-)がついていなかった。

通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 1, 2024)。

ラタキア支部

ラタキア市第1支局

- アーミル・ヒラール (ʿĀmir Hilāl) 81 票
- マーズイン・アリー (Māzin ʿAlī) 60 票

ラタキア市第2支局

- アブドゥッラー・カヒーラ (ʿAbd Allāh Kaḥīla) 88 票
- マーズイン・ウムラーン (Māzin ʿUmrān) 81 票
- サラーフ・イブラーヒーム (Ṣalāḥ Ibrāhīm) 76 票
- ワファー・マアッラー (Wafāʾ Maʿallā) 73 票
- ヤースィル・サクル (Yāsir Ṣaqr) 62 票

ラタキア市第3支局

- ジャービル・アースイー (Jābir al-ʿĀsī) 69 票
- ジャマール・ラーイー (Jamāl Rāʿī) 65 票
- ラーミズ・ガトルーフ (Rāmiz Ghaṭrūf) 65 票

ラタキア郡第1支局

- ラフイーク・ナウファル (Rafīq Nawfal) 118 票
- スーリーン・マルタクーシュ (Sūlīn Martakūsh) 113 票
- ムハンマド・ハンムデーイー (Muḥammad Ḥammūdī) 79 票
- ムンズィル・ドゥウワイバ (Mundhir Duwayba) 79 票
- ファウワーズ・シャイフ・ウバイド (Fawwāz al-Shaykh ʿUbayd) 78 票

ラタキア郡第2支局

- マディーン・ファーディル (Madīn Fādīl) 112 票
- タイスイール・ハビーブ (Taysīr Ḥabīb) 83 票
- イヤード・ハイダル (Iyād Ḥaydar) 83 票
- ワーイル・マンスール (Wāʾil Manṣūr) 70 票

カルダーハ支局

- ハイサム・イスマーイール (Haytham Ismāʾīl) 124 票
- アウス・ウスマーン (Aws Fāʾiz ʿUthmān) 114 票
- サミーウ・アドラ (Samīʾ Adra) 90 票

➤ マーズィン・ハマーマ (Māzin Ṣāliḥ Ḥamāma)²⁰ 63 票

➤ ワファー・ザブラ (Wafā' ʿAlī Zahra) 63 票

ジャブラ第1支局

➤ タハーニー・シャリーハ (Tahānī Yahyā Shalīḥa) 96 票

➤ アフマド・ハミードウーシュ (Aḥmad Ḥamīdūsh) 92 票

➤ アブドゥルフサイン・イスマエール (ʿAbd al-Ḥusayn Ismāʿīl) 83 票

➤ イーサー・ジュナイディー (ʿĪsā Junaydī) 80 票

➤ ルクマーン・バッドウール (Luqmān Baddūr) 69 票

ジャブラ第2支局

➤ アブドゥルハサン・シュルーフ (ʿAbd al-Ḥasan Shurūf) 115 票

➤ マダル・マンスーラ (Maḍār Fayyād Mansūra) 97 票

➤ ナイム・ワンヌース (Naʿīm Muḥammad Wannūs) 88 票

➤ アフマド・ブライブダーニー (Aḥmad Ḥabī Buraybdānī) 86 票

➤ バドル・サリーム・ジャマーヒーリー (Badr Salīm Jamāhīrī) 60 票

ハッファ支局

➤ アフマド・アスアド (Aḥmad Mājid Asʿad) 87 票

➤ ヒクマト・ハイダル (Ḥikmat Aḥmad Ḥaydar) 82 票

➤ バッサーム・ファティーマ (Bassām Ṣāfi Faṭīma) 77 票

➤ ワファー・サルマーン (Wafā' Salmān)²¹ 68 票

➤ アドナーン・ナディーム・ビータール (ʿAdnān Nadīm Bīṭār) 67 票

ティシュリーン大学支部

第1支局

➤ バッサーム・アブドゥルカリーム・ハサン (Bassām ʿAbd al-Karīm Ḥasan) 62 票

➤ アリー・ハサン・ナイサーフィー (ʿAlī Ḥasan Naysāfi) 54 票

第2支局

➤ ハーズィム・スライマーン・ハサン (Ḥāzīm Sulaymān Ḥasan) 84 票

➤ ムフスィン・ジャミール・サーリム (Muḥsin Jamīl Ṣārim) 39 票

²⁰ Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 1, 2024 には、「ハマーマ」ではなく、「ハマーミー」(Ḥamāmī)と記載(誤記)されていた。

²¹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 1, 2024 には、「サルマーン」ではなく、「スライマーン」(Sulaymān)と記載(誤記)されていた。

第3支局

- ミールナー・アフマド・ダッラーラ (Mīmā Aḥmad Dallāla) 54 票
- ヒクマト・アリー・バルバハーン (Ḥikmat ‘Alī Barbahān) 42 票

◇2024年4月2日

タルトゥース支部で拡大会合代表選挙第2段階が実施された。開票結果は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 2, 2024)。

タルトゥース支部

タルトゥース市第1支局

- イヤード・イブラーヒーム・アフマド (Iyād Ibrāhīm Aḥmad) 121 票
- ムハンマド・ハビーブ・フサイン (Muḥammad Ḥabīb Ḥusayn) 119 票
- ナーズィル・ムハンマド・ハムダーン (Nādhir Muḥammad Ḥamdān) 80 票

タルトゥース市第2支局

- サミール・バフジャト・フドル (Samīr Bahjat Khuḍr) 120 票
- マーズィン・ナーイフ・ラマダーン (Māzin Nāyif Ramaḍān) 118 票
- アフマド・ムハンマド・アフマド (Aḥmad Aḥmad) 84 票

タルトゥース郡第1支局

- ジャマール・ムハンマド・ガズィール (Jamāl Muḥammad Ghazīl) 108 票
- ナズィーフ・アフマド・アフマド (Nazīh Aḥmad Aḥmad) 88 票
- ムハンナー・アツバース・ムハンナー (Muhannā ‘Abbās Muhannā) 84 票

タルトゥース郡第2支局

- バースィル・サルマーン・イーサー (Bāsil Salmān ‘Īsā) 157 票
- ナズィーフ・マアツラー・アサド (Nazīh Ma‘allā Asad) 148 票
- サラマ・アツバース・サラミー (Salāma ‘Abbās Salāmī) 99 票
- フサーム・アツバース・アティーヤ (Ḥusām ‘Abbās ‘Aḥfiya) 81 票
- シャフィーク・アフマド・シャイフ・アリー (Shafīq Aḥmad al-Shaykh ‘Alī) 80 票

カドムース支局

- ハッサーン・ユースフ・ナーウース (Ḥassān Yūsuf Nā‘ūs) 106 票
- ウィサーム・スライマーン・シャアバーン (Wisām Sulaymān Sha‘bān) 149 票
- イーハーブ・ムハンマド・ハンムード (Īhāb Muḥammad Ḥammūd) 148 票
- ハイサム・アフマド・スワイカート (Haytham Aḥmad Suwayqāt) 145 票

➤ ナウワール・アリー・ハビーブ (Nawwāl ‘Alī Ḥabīb) 126 票

シャイフ・バドル支局

➤ リハーブ・アリー・アツバース (Rihāb ‘Alī ‘Abbās) 115 票

➤ マフムード・アリー・マイフーブ (Maḥmūd ‘Alī Mayḥūb) 94 票

➤ ラマー・ユースフ・ユースフ (Lamā Yūsuf Yūsuf) 91 票

➤ シハーダ・アリー・イブラーヒーム (Shihāda ‘Alī Ibrāhīm) 84 票

➤ フィラース・アリー・サルマーン (Firās ‘Alī Salmān) 83 票

ドウライキーシュ支局

➤ アリー・ワヒード・ファイヤード (‘Alī Waḥīd Fayyād) 132 票

➤ ナスリーン・ハルブ・バドル (Nasrīn Ḥarb Badr) 130 票

➤ フィラース・アフマド・ハーミド (Firās Aḥmad Ḥāmid) 119 票

➤ アフマド・イブラーヒーム・シューバースイー (Aḥmad Ibrāhīm Shūbāsī) 114 票

➤ サミール・アリー・アリー (Samīr ‘Alī ‘Alī) 109 票

バーニヤース市支局

➤ アドナーン・アフマド・イブラーヒーム (‘Adnān Aḥmad Ibrāhīm) 152 票

➤ イブティサーム・ユヌス・ハイダル (Ibtisām Yūnus Ḥaydar) 97 票

➤ ユヌス・イブラーヒーム・ハムドゥーシュ (Yūnus Ibrāhīm Ḥamdūsh) 89 票

➤ フィラース・スライマーン・ムハンマド (Firās Sulaymān Muḥammad) 87 票

➤ バヤーン・ウスマーン (Bayān ‘Alī ‘Uthmān) 44 票

バルマーナ支局

➤ マフムード・アリー・シャーリーシュ (Maḥmūd ‘Alī Shālīsh) 145 票

➤ ナダー・ハサン・ムハンマド (Nadā Ḥasan Muḥammad) 128 票

マシュター支局

➤ ムハンマド・ユースフ・ヒムスイー (Muḥammad Yūsuf Ḥimṣī) 123 票

➤ ガッサーン・ハサン・フドル (Ghassān Ḥasan Khuḍr) 92 票

経済支局

➤ マイヤーダ・マフムード・ユースフ (Mayyāda Maḥmūd Yūsuf) 101 票

高等教育支局

➤ フィラース・ハサン・イブラーヒーム (Firās Ḥasan Ibrāhīm) 105 票

➤ サルマーン・ムハンマド・マフムード (Salmān Muḥammad Maḥmūd) 95 票

労働者支局

➤ マナール・アフマド・バツルール (Manāl Aḥmad Ballūl) 117 票

サーフィーター支局

➤ ウサーマ・ムハンナー・マウイー (Usāma Muḥannā al-Maw‘ī) 150 票

➤ ラーティブ・マフムード・イブラーヒーム (Rātib Maḥmūd Ibrāhīm) 124 票

➤ ハイサム・アツバース・アースイー (Haytham ‘Abbās ‘Āṣī) 108 票

➤ ユースフ・ジハード・アリー (Yūsuf Jihād ‘Alī) 103 票

➤ ラーニヤ・アブドゥラッティーフ (Rāniya ‘Abd al-Laṭīf) 87 票

以上、拡大会合代表選挙の第 2 段階においては、支部の代表 405 人が選出された。このうち、240 人あまりが第 1 段階において選出された支局の代表 (開票結果が発表された支局の代表は 234 人) だった。

IV. 第 3 回中央委員会拡大大会合

1. 議事の確定

代表選挙が終了したことを受け、B・アサドは 2024 年 4 月 15 日、中央指導部メンバーと臨時会合(第 342 回会合)を開催し、第 3 回中央委員会拡大大会合で行われる中央指導部、中央委員会、監査委員会の選挙における立候補や投票の仕組み、立候補者間の公正確保の方途、中央委員会メンバーの各県への定数の配分などについて審議した(Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 15, 2024)。中央指導部はまた 4 月 18 日にも臨時会合(第 343 回会合)を開催し、審議を継続、第 3 回中央委員会拡大大会合の議事を確定し、その内容を記した決定第 378 号(決定第 378/31 号)を発出した。決定の全文は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 19, 2024)。

中央指導部は 2024 年 4 月 15 日の第 342 回会合および 2024 年 4 月 18 日の第 343 回会合において、中央委員会拡大大会合の議事運営を審議し、以下の通り決定した。

第 1 条 中央委員会拡大大会合は以下の同志より構成される:

A. 正規メンバー、合計 83 人の同志:

- ・ 中央委員会の現職メンバー 69 人
- ・ 監査委員会メンバー 5 人
- ・ 各人民機構の会長 6 人
- ・ 国民進歩戦線の副代表(中央指導部副書記長) 1 人
- ・ ダール・バアス(Dār al-Ba'ṭh)の代表 1 人
- ・ 党中央教化学学校校長 1 人

B. 支部で選出されたメンバー 405 人

C. 書記長同志に招待された同志若干名

D. オブザーバー・メンバー:

- ・ 中央指導部から招待された同志
- ・ 会合中に選挙監視の任務を継続する高等選挙委員会メンバー

選挙に立候補したが、当選しなかった者は、いかなる状況であれ会議に参加することはできない。

第 2 条 委員会メンバーの立候補基準:

- ・ 党における役職: 支局書記長クラス以上
- ・ (人民)機構および(職能)組合における役職: 県レベルでの書記長、支部長以上
- ・ 行政における役職: 県レベルでの局長以上
- ・ 立法における役職: 人民議会議員

(中央委員会拡大大会合メンバーへの立候補条件における一般および個別の条件に準じる)

第3条 選挙の仕組み:

中央委員会の選挙は地域(Quir、国)を1つ選挙区として行われ、各支部に割り当てられた一定数のメンバーを選出する。

第4条 会合の議事次第:

- A. 殉職者の御霊に対する1分間の黙祷
- B. 国歌斉唱
- C. スローガン復唱
- D. 書記長指導演説
- E. 会合議長1人と議事2人の選出(書記長が候補者を提案し、投票で決定)
- F. 会合議長による議事提案、審議、採決:
 - 1. 開会総会
 - 2. 三つの組織委員会への参加者の割り当て
 - 3. 閉会総会

第1 開会総会

会合議長は以下の提案を読み上げ、採決を行う:

- 1. 閉会総会における書記長同志と監査委員会の選出。
- 2. 中央委員会は定数を125人とし、うち75人について提案された形式に沿って選出、50人を書記長同志が指名する。
- 3. 組織にかかる問題を審議するための以下三つの委員会の設置:
 - 第1委員会:中央委員会における各支部の定数(下限と上限)を検討する。
 - 第2委員会:県知事および人民機構支部長同志の代表性(各人が代表している県、あるいは出身県のいずれに準ずるのか)を検討する。
 - 第3委員会:次期人民議会議員の選出の仕組みを検討する。

第2 各委員会会合

各委員会は、前述の議題について審議し、閉会総会において提案を行う。各委員会は上述の議題にかかる提案の草案を提起し、議論することができる。

第3 閉会総会

- 1. 各委員会の結論の審議と採決
- 2. 書記長の選出
- 3. 監査察委員会メンバー5人の選出
- 4. 中央委員会メンバー75人の選出
- 5. 中央委員会メンバー125人の氏名の発表

第5条 中央指導部選挙の準備:

1. 書記長を議長とする中央委員会会合を開き、中央指導部を設置
2. 中央委員会の書記長を選出
3. バアス党歌を斉唱して閉会

第6条 本決定はその実施に必要な者に対して通知される。

中央指導部は4月21日、中央委員会拡大会合の議事にかかる2024年4月19日決定第378号を修正した2024年4月21日決定第379号を発出した。決定の全文は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), April 21, 2024)。

中央指導部は2024年4月21日の第344会合において、中央委員会拡大会合の議事運営にかかる2024年4月19日決定第378/31号について、党機関の同志からの問い合わせ、コメント、意見、提案を審議し、以下の通り決定した。

2024年4月19日決定第378/31号を修正し、以下の通りとする:

第1条 中央委員会拡大会合は以下の同志より構成される:

A. 正規メンバー、合計83人の同志:

- ・ 中央委員会の現職メンバー 69人
- ・ 監査委員会メンバー 5人
- ・ 各人民機構の総裁 6人
- ・ 国民進歩戦線の副代表 1人
- ・ ダール・バアスの代表 1人
- ・ 党中央教化学校校長 1人

B. 支部で選出されたメンバー 405人

C. 書記長同志に招待された同志若干名

D. オブザーバー・メンバー:

- ・ 中央指導部から招待された同志
- ・ 会合中に選挙監視の任務を継続する高等選挙委員会メンバー

選挙に立候補したが、当選しなかった者は、いかなる状況であれ、会議には招待されない。

第2条 選挙の仕組み:

中央委員会の選挙は地域(Quṭr, 国)を1つ選挙区として行われ、各支部に割り当てられた一定数のメンバー(添付の表の通り)を選出する。これは「中央委員会拡大会合代表選挙実施にかかる指示」における一般及び個別の条件に基づくものであり、各県の支部の定数を下限3人、上限8人とする。各大学の支部は例外とし、代表者2人によって代表されるものとする。

注記: 県知事および人民機構の支部長同志の立候補は出身地で行われる。各大学支部は例外とし、所属する支部において立候補する。

第3条 会合の議事次第:

- A. 国歌斉唱
- B. 殉職者の御霊に対する1分間の黙祷
- C. スローガン復唱
- D. 書記長指導演説
- E. 会合議長1人と議事2人の選出(書記長が候補者を提案し、投票で決定)
- F. 会合議長は、審議、採決を行う以下の議事を提案:
 1. 開会会合
 2. 閉会会合

第1 開会会合

会合議長は以下の提案を読み上げ、採決を行う:

1. 閉会会合における書記長同志の選出。
2. 閉会会合における監査委員会の設置。
3. 中央委員会は定数を125人とし、うち80人について提案された形式に沿って選出、45人を書記長同志が指名する。

第2 閉会会合

1. 書記長の選出
2. 5人からなる監査委員会メンバーの設置
3. 中央委員会メンバー80人の選出
4. 中央委員会メンバー125人の氏名の発表
5. バアス党歌斉唱による議事終了

第4条 中央指導部選挙:

1. 書記長を議長とする中央委員会会合を開き、中央指導部を設置
2. 中央委員会の書記長を選出

第5条 本決定はその実施に必要な者に対して通知される。

委員会メンバー80人のうち各支部から選出される代表者の定数

	支部	支部への割当数
1	ダ マ ス カ ス	5
2	ダ マ ス カ ス 郊 外	7
3	ダ ル ア ー	4
4	ス ワ イ ダ ー	5
5	ク ナ イ ト ラ	3
6	ヒ ム ス	7

	支部	支部への割当数
7	ハ マ ー	7
8	タルトゥース	8
9	ラ タ キ ア	7
10	イ ド リ ブ	3
11	ア レ ッ ポ	6
12	ラ ッ カ	3
13	ダイル・ザウル	3
14	ハ サ カ	4
15	ダマスカス大学	2
16	バアス大学	2
17	ティシュリーン大学	2
18	アレppo大学	2

2. 中央委員会選挙立候補者の発表

続いて、中央指導部は2024年5月1日、第3回中央委員会拡大会合で実施される中央委員会の選挙における立候補者を発表した。各支部における立候補者は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 1, 2024)。

ダマスカス支部

- ムハンマド・フサーム・サンマーン (Muḥammad Ḥusām al-Sammān)
- マーズィン・トゥツファールハ (Māzin Tuḥfāḥa)
- ファーディー・アフマド (Fādī Aḥmad)
- ラッザーン・フワーリー (Razzān Ḥuwārī)
- ウィサーム・ナスルツラー (Wisām al-Naṣr Allāh)
- サリーム・ムハルダウィー (Salīm Muḥradāwī)
- ジハード・アスアド・ハーズム (Jihād al-As‘ad al-Ḥāzim)
- ムハンマド・イッザト・アラビー・カーティビー (Muḥammad ‘Izzat ‘Arab Kātībī)
- ニダール・ムハンナー (Niḍāl Muḥannā)
- ナガム・ウルヤー (Nagham ‘Ulyā)
- ミシェル・ハッダード (Miṣhīl Ḥaddād)
- サファー・ナーシル (Ṣafā’ Nāṣir)
- アブドゥラヒーム・アブー・シャーマート (‘Abd al-Raḥīm Abū al-Shāmāt)
- ハサナイン・ムハンマド・アリー (Ḥasanayn Muḥammad ‘Alī)
- ファリード・アブドゥラヒーム (Farīd al-‘Abd al-Raḥīm)
- フルード・アドラ (Khulūd ‘Adra)
- アブドゥルハキーム・サアディー (‘Abd al-Ḥakīm al-Sa‘dī)

- アイマン・フルーク (Ayman Ḥurūq)
- ムハンマド・マナーフ・アッカード (Muḥammad Munāf al-‘Aqqād)
- ヌハド・シハーダート (Nuḥād al-Shihādāt)
- バッサーム・アブー・アブドゥツラー (Bissām Abū ‘Abd Allāh)
- ラフィーク・アルワーニー (Rafīq al-‘Alwānī)
- アラー・ヤースィーン (‘Alā’ Yāsīn)
- アフマド・アブドゥルカリーム・ジャールーシヤ (Aḥmad ‘Abd al-Karīm al-Jārūsha)
- ワスィーム・アーディル・サアディー (Wasīm ‘Ādil al-Sa‘dī)

ダマスカス郊外支部

- ラドワーン・ムスタファー (Raḍwān Muṣṭafā)
- アフマド・フマーム・ハイダル (Aḥmad Humām Ḥaydar)
- ムジャーヒド・イスマーイール (Mujāhid Ismā‘īl)
- アフマド・アリーシヤ (Aḥmad ‘Arīsha)
- アブドゥフ・ダルハバーニー (‘Abduḥ Darkhabānī)
- ハーミド・アブー・ハリーフ (Ḥāmid Abū Khalīf)
- イサーム・ハリールバ (‘Iṣām Kharība)
- アンマール・ウラービー (‘Ammār ‘Urābī)
- スライヤー・ムスリマーニーヤ (Thurayyā Muslimāniya)
- マルワーン・ヒーラーナ (Marwān Ḥilāna)
- アブドゥツラフマーン・ハティーフ (‘Abd al-Raḥmān al-Khaṭīb)
- ヒクマト・アズブ (Ḥikmat al-‘Azb)
- ズィヤード・ハーリド (Ziyād al-Khālīd)
- フィラーズ・アスラーウィー (Firās ‘Asrāwī)
- バシール・ハザーウ (Bashīr Hazā’)
- サーリフ・サーディカ (Ṣāliḥ Ṣādiqa)
- フサイン・アブドゥツラー (Ḥusayn al-‘Abd Allāh)
- ファーリス・グライブ (Fārīs al-Ghurayb)
- アフマド・ミールー (Aḥmad Mīrū)
- ムハンマド・イブラーヒーム (Muḥammad Ibrāhīm)
- フィラーズ・ファルワーティー (Firās Farwātī)
- ムウタシム・ミスリー (Mu‘taṣim al-Miṣrī)
- フサイン・ディヤーブ (Ḥusayn Diyāb)
- ハーリド・ムーサー (Khālīd Mūsā)
- イヤード・タラブ (Iyād Ṭalab)

- ジャマール・カーディリー (Jamāl al-Qādirī)
- ナビール・マイダアーニー (Nabīl al-Mayda‘ānī)
- アリー・ディヤーブ (‘Alī Diyāb)
- ファーイズ・イブラーヒーム (Fāyīz Ibrāhīm)
- スブヒーヤ・ジュムア (Ṣubḥīya Jum‘a)

ダルアー支部

- フサイン・サーリフ・リファーイー (Husayn Ṣāliḥ al-Rifā‘ī)
- ヤースィン・ガッサーブ・ザーミル (Yāsīn Ghassāb al-Zāmal)
- アブドゥンナーシル・アフマド・ハリーリー (‘Abd al-Nāṣir Aḥmad al-Ḥarīrī)
- イマード・リズク・ラーディー (‘Imād Rizq al-Rādī)
- ワーフィー・アブドゥツラフマーン・ダウス (Wāfī ‘Abd al-Raḥmān al-Daws)
- カマール・アブドゥツラフマーン・バルムー (Kamāl ‘Abd al-Raḥmān Barmū)
- アフマド・ハーニー・ハムダーン (Aḥmad Hānī al-Ḥamdān)
- マンハル・ナザール・アマールীন (Manḥal Nizāl al-‘Amārīn)
- マナーフ・イスマーイル・ファツラーフ (Manāf Ismā‘īl al-Fallāḥ)
- ハーリド・ムサー・カナート (Khālīd Mūsā Qanāt)
- ルダイナ・イリヤース・アーザル (Rudayna Ilyās al-‘Āzar)
- アブドゥルカリーム・スライマーン・ジャバーウィー (‘Abd al-Karīm Sulaymān al-Jabāwī)
- ハルドゥーン・ムハンマド・ズウビー (Khalidūn Muḥammad al-Zu‘bī)
- ズーダ・イブラーヒーム・ムハーリブ (Zūda Ibrāhīm al-Muḥārib)
- ヤースィル・ムハンマド・サアディー (Yāsīr Muḥammad al-Sa‘dī)
- ムアンマル・ナウワフ・ハワーリナ (Mu‘ammar Nawwāf al-Hwārīna)

スワイダー支部

- サフワーン・スライマーン・アブー・サアダー (Ṣafwān Sulaymān Abū Sa‘dā)²²
- ハサン・アブドゥツラー・アトラシュ (Hasan ‘Abd Allāh al-Atrash)
- イフサーン・アフマド・アブー・フジャイリー (Iḥsān Aḥmad Abū Ḥujaylī)
- アンワル・トウルキー・ハサニーヤ (Anwar Turkī al-Ḥasanīya)
- ヤフヤー・ダーミン・サフナーウィー (Yahyā Dāmin al-Ṣaḥnāwī)
- バッサーム・ファウズィー・タウィール (Bassām Fawzī al-Ṭawīl)
- ワリド・ファーディル・アブー・アサリー (Walīd Fāḍīl Abū ‘Asālī)
- イーハーブ・シブリー・ハーミド (Iyḥāb Shāmī Ḥāmid)

²² Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 1, 2024 には「サアダー」ではなく「サアダ」(Sa‘da)と記載(誤記)されていた。

- イサーム・サーリフ・ナイーム (‘Iṣām Ṣhiblī Na‘īm)
- イミール・マカーリム・マカーリム (Imīl Makārim Makārim)
- ハーリド・ファーイズ・カルバージュ (Khālīd Fāyīz Karbāj)
- サクル・ハリーム・ガドバーン (Ṣaqr Ḥalīm al-Ghaḍbān)
- フィラース・スライマーン・アブー・ザイド (Firās Sulaymān Abū Zayd)
- ディヤーナー・ガッサーン・ナイーム (Diyānā Ghassān Na‘īm)
- ナスィーム・アター・フダイファ (Nasīm ‘Aṭā Ḥudayfā)
- アドナーン・ファルハーン・ムハンナー (‘Adnān Farḥān Muḥannā)
- イマード・サルマーン・ハルブ (‘Imād Salmān Ḥarb)
- ガッサーン・フサイン・イツズッディーン (Ghassān Ḥusayn ‘Izz al-Dīn)²³
- マルワーン・サービル・ジャービル (Marwān Ṣābir Jābir)
- ナージー・アジュワド・フダウィー (Nāḡī Ajwad al-Ḥudawī)
- ウマル・ムハンナー・ジャバーイー (‘Umar Muḥannā al-Jībā‘ī)
- アーティフ・ハサン・アブー・ザフラ (‘Āṭif Ḥasan Abū Zahra)
- ファード・ヤースィル・サッルーム (Fu‘ād Yāsir Sallūm)
- サーミル・イスマーイール・ブーハサーズ (Sāmīr Ismā‘īl Būḥaṣāṣ)²⁴
- スライマーン・サーリフ・アンマーシャ (Sulaymān Ṣālīḥ ‘Ammāsha)
- バッサーム・ファウアード・ザギーブ (Bassām Fu‘ād Zaghib)
- ズィヤード・アフマド・サッルーム (Ziyād Aḥmad Sallūm)

クナイトラ支部

- ラミース・ファンディー・アフマド (Lamīs Fandī Aḥmad)
- フサイン・アフマド・アスカル (Ḥusayn Aḥmad ‘Askar)
- ハーリド・ハズアル・ハズアル (Khālīd Khaz‘al Khaz‘al)
- ズィヤーブ・ムーサー・アフマド (Dhiyāb Mūsā Aḥmad)²⁵
- ガッサーン・ウマル・ハラフ (Ghassān ‘Umar Khalaf)
- ハーリド・ワリド・アバーザ (Khālīd Walīd Abāza)
- フィラース・アフマド・ハーミド (Firās Aḥmad al-Ḥāmid)
- ワヒード・マフムード・ザアル (Waḥīd Maḥmūd al-Za‘al)
- ズィーバーン・アリー・アルヌース (Dhibāb ‘Alī al-‘Arnūs)

²³ Facebook (@al.baath.party.in.syria, May 1, 2024 には、「イツズッディーン」ではなく、「イルズッディーン」(‘Irz al-Dīn)と記載(誤記)にされていた。

²⁴ Facebook (@al.baath.party.in.syria, May 1, 2024 には、「ブーハサーズ」ではなく、「ブー・ハサーズ」(Bū Ḥaṣāṣ)と記載(誤記)にされていた。

²⁵ Facebook (@al.baath.party.in.syria, May 1, 2024 には、「ズィヤーブ」ではなく、「ディヤーブ」(Diyāb)と記載(誤記)されていた。

- リファト・ユースフ・フサイン (Rif'at Yūsuf Ḥusayn)
- ジャーシム・ムハンマド・サーリフ (Jāsīm Muḥammad al-Ṣāliḥ)
- ハムザ・アフマド・スライマーン (Ḥamza Aḥmad Sulaymān)

アレppo支部

- アフマド・サーリフ・イブラーヒーム (Aḥmad Ṣāliḥ Ibrāhīm)
- アフマド・ムハンマド・マンスール (Aḥmad Muḥammad Mansūr)
- ラナー・スウード・ユースフ (Ranā Su'ūd Yūsuf)
- ファーディル・ムスタファー・ナツジャーラ (Fādīl Muṣṭafā Najjār)²⁶
- イマードッディーン・ハリール・ハーッジ・ガドバーン ('Imād al-Dīn Khalīl al-Hājj Ghaḍbān)
- ムハンマド・アブドゥルムンイム・ムハンマド・ムスタファー (Muḥammad 'Abd al-Mun'im Muḥammad al-Muṣṭafā)
- ムハンマド・ラビーウ・ウマル・ナブハーン (Muḥammad Rabī 'Umar Nabhān)
- カーシム・ムハンマド・ハサン (Qāsīm Muḥammad Ḥasan)
- ウマル・マフムード・ハマドゥー ('Umar Maḥmūd al-Ḥamadū)
- ムハンマド・アブドゥッラー・ハズズーリー (Muḥammad 'Abd Allāh al-Ḥazzūrī)
- ナジュダト・アブドゥルカーディル・アフアシュ (Najdat 'Abd al-Qādir 'Afash)
- ウマル・アフマド・アールーブ ('Umar Aḥmad al-'Ārūb)
- サーリフ・アフマド・ハディード (Ṣāliḥ Aḥmad al-Ḥadīd)
- ハーリド・ワリド・アブー・バクル (Khālīd Walīd Abū Bakr)
- ラーシーン・ラーイフ・ジャウダト (Lāshīn Rā'if Jawdat)
- アブドゥルムンイム・ハリール・サウワー ('Abd al-Mun'im Khalīl al-Ṣawwā)
- ハムドゥー・アブドゥルマジード・カルナファル (Ḥamdū 'Abd al-Majīd Qarnafal)
- シャムスッディーン・ハラフ・シャツダード (Shams al-Dīn Khalaf al-Shaddād)
- ヤフヤー・アブドゥルハミード・ハーッジ・アリー (Yahyā 'Abd al-Ḥamīd al-Hājj 'Alī)
- アドナーン・アブドゥルカリーム・ザーザー ('Adnān 'Abd al-Karīm Zāzā)
- ザーヒル・ムハンマド・ガーリブ・バタル (Zāhir Muḥammad Ghālib Bātal)
- アミーン・ハリール・ナクル (Amīn Khalīl al-Naqr)
- アリー・ラシード・ハーッジ・カルブーン ('Alī Rashīd al-Hājj Kalbūn)
- ズィヤード・ムハンマド・スブヒー・サツバーク (Ziyād Muḥammad Ṣubḥī Ṣabbāgh)
- ムハンマド・ラビーウ・ムハンマド・ナズィール・カルアジール (Muḥammad Rabī Muḥammad Nadhīr Qal'a-jī)
- ハリール・サリーム・ムッラー (Khalīl Salīm Mullā)
- ムハンマド・マジドゥッディーン・ナーシド (Muḥammad Majīd al-Dīn al-Nāshīd)

²⁶ Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 1, 2024 には、「ムスタファー」ではなく、「ムスタフアー」(Muṣṭatfā)と記載(誤記)されていた。

ラタキア支部

- ハイサム・イブラーヒーム・イスマーイール (Haytham Ibrāhīm Ismā'īl)
- ニクーラー・イリヤース・マルティーシュー (Nīqūlā Ilyās Marṭīshū)
- タハーニー・ヤヒヤー・シャリーハ (Tahānī Yahyā Shalīḥa)
- ワファー・サイド・マアッラー (Wafā' Sa'id Ma'allā)
- スーリーン・アリー・マルタークシュ (Sūlīn 'Alī Martakūsh)
- アイハム・ナジュダト・ジュライクース (Ayham Najdat Juraykūs)
- イーサー・アブドウルハミード・ムハンマド・ジュナイディー ('Īsā 'Abd al-Ḥamīd Muḥammad Junaydī)
- アウス・ファーズ・ウスマーン (Aws Fā'iz 'Uthmān)
- バースィム・スライマーン・スーダーン (Bāsīm Sulaymān Sūdān)
- マダル・ファイヤード・マンスーラ (Maḍar Fayyād Mansūra)
- ヤースィル・バディーア・サクル (Yāsīr Badī 'Saqr)
- マーズィン・ハーティム・ウムラーン (Māzin Ḥātim 'Umrān)
- ラフィーク・サーリフ・ナウファル (Rafīq Ṣālīḥ Nawfal)
- アイマン・アフマド・アフマド (Ayman Aḥmad Aḥmad)
- ムハンマド・アブドウルカーデル・ムスタファー・シュライティフ (Muḥammad 'Abd al-Qādir Muṣṭafā Shurayṭīḥ)
- ナイーム・ムハンマド・ワンヌース (Na'im Muḥammad Wannūs)
- タイスイール・カーミル・ハビーブ (Taysīr Kāmil Ḥabīb)
- サミーウ・サーフィー・アドラ (Samī' Ṣāfi 'Adra)
- マーズィン・アフマド・アリー (Māzin Aḥmad 'Alī)
- ムンズィル・イブラーヒーム・ドウワイバ (Munḍir Ibrāhīm Duwayba)
- ファイハー・アリー・タリーフィー (Fayḥā' 'Alī Ṭarīfī)
- ワーイル・ムハンナー・マンスール (Wā'il Muḥannā Mansūr)
- アドナーン・ナディーム・ビータール ('Adnān Nadīm Bīṭār)
- アブドウルフサイン・イブラーヒーム・イスマーイール ('Abd al-Ḥusayn Ibrāhīm Ismā'īl)
- アブドウルハサン・アリー・シュルーフ ('Abd al-Ḥasan 'Alī Sharūf)
- ルクマーン・アリー・バドゥール (Luqmān 'Alī Badūr)
- ウマイマ・アリー・サイド (Umayma 'Alī Sa'id)
- バドル・サリーム・ジャマーヒーリー (Badr Salīm Jamāhīrī)
- ワファー・イブラーヒーム・サルマーン (Wafā' Ibrāhīm Salmān)
- アフマド・イブラーヒーム・ハミードウーシュ (Aḥmad Ibrāhīm Ḥamīdūsh)
- マーズィン・サーリフ・ハマーマ (Māzin Ṣālīḥ Hamāma)
- サラーフ・イブラーヒーム・イブラーヒーム (Ṣalāḥ Ibrāhīm Ibrāhīm)
- アーミル・ムハンマド・カマール・グライブ ('Āmir Muḥammad Kamāl Ghurayb)
- ハイサム・マフムード・ウムラーン (Haytham Maḥmūd 'Umrān)

➤ ヤースィル・ムハンナー・シャーヒーーン (Yāsir Muḥannā Shāhīn)

ヒムス支部

- ウマル・フーリーヤ (‘Umar Ḥūrīya)
- アリー・ムハンマド・ハンムード (‘Alī Muḥammad Ḥammūd)
- アッザーム・ファーズ・ミーラード (‘Azzām Fā’iz Mīlād)
- フサーム・ムハンマド・アウダ (Ḥusām Muḥammad ‘Awda)
- イヤード・ナスル・ザフルール (Iyād Naṣr Zafūr)
- ナディーム・アズィーズ・アリー (Naḍīm ‘Azīz ‘Alī)
- ハーラ・イズツディーン・アターシー (Hāla ‘Izz al-Dīn al-Atāsī)
- ムハンマド・アブドウルハミード・サージュ (Muḥammad ‘Abd al-Ḥamīd al-Šāj)
- ムウタッズ・アブー・ナスル・ジュムラーン (Mu’tazz Abū al-Naṣr Jumrān)
- サーイル・ナスル・フドール (Sā’ir Naṣr Khuḍūr)
- バドルツディーン・ラアド (Badr al-Dīn Ra’d)²⁷
- カナアーン・ジャウダ (Kan’ān Jawda)²⁸
- ファード・イスカンドル・アスィー (Fu’ād Iskandar ‘Āṣī)
- ファーディー・ナーシル・イブラーヒーム (Fādī Nāṣir Ibrāhīm)
- ウマイマ・スライマーン・フドゥール (Umayma Sulaymān Khuḍūr)
- アブドゥッサラーム・ハッダード (‘Abd al-Salām Ḥaddād)
- ラミース・イブラーヒーム・ドゥユーブ (Lamīs Ibrāhīm Duyūb)
- フザイファ・アブドゥッラフマーン・アブドゥッラー (Ḥudhayfa ‘Abd al-Raḥmān al-‘Abd Allāh)
- ラーフ・アリー (Ra’f ‘Alī)
- サミール・アツバース (Samīr ‘Abbās)
- ターリク・ムハンマド・フドル (Ṭāriq Muḥammad al-Khuḍr)
- ムハンマド・サーリフ・ラーイー (Muḥammad Ṣāliḥ al-Rā’ī)
- アフド・ダーヒル・スツカリー (‘Ahd Zāhir al-Sukkarī)
- ムハンマド・ハサン・ラアド (Muḥammad Ḥasan Ra’d)
- ザキー・ダーヒル・ウライウィー (Zakī Zāhir al-‘Ulaywī)
- フィラーズ・サーリフ・アイヤーシュ (Fīrās Ṣāliḥ ‘Āyyāsh)
- ラーミー・ユースフ・ユースフ (Rāmī Yūsuf al-Yūsuf)
- ムハンマド・アツバース (Muḥammad ‘Abbās)

²⁷ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 7, 2024 および Facebook (@al.baath.party.in.syria), March 24, 2024 には、「バドルツディーン」ではなく、「バドル」(Badr)と記載されていた。

²⁸ Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 1, 2024 には、「ジャウダ」ではなく、「ジャウダー」(Jawdā)と記載(誤記)されていた。

ハマー支部

- ムハンマド・アシュラフ・バーシューリー (Muḥammad Ashraf Bāshūrī)
- ワリード・スルス (Walīd al-Thulth)
- スハイル・イブラーヒーム (Suhayl Ibrāhīm)
- ラディーヤ・サクル (Raḍīya al-Saqr)
- マフズーム・ハイダル (Makhzūm Haydar)
- アブドウルハリーム・ハリール (‘Abd al-Ḥalīm Khalīl)
- アフマド・イブラーヒーム・ハリール (Aḥmad Ibrāhīm Khalīl)
- マーヒル・ユース (Māhir al-Yūnus)
- アブドウルハミード・アムーリー (‘Abd al-Ḥamīd ‘Amūrī)
- サッラーム・サンカル (Sallam Saṅqar)
- シャーディー・サアーダ (Shādī Sa‘āda)
- ムハンマド・アリー・マフルーフ (Muḥammad ‘Alī Makhlūf)
- ムハンマド・アッジー (Muḥammad al-‘Ajji)
- マムドーフ・アフマド (Mamdūh al-Aḥmad)
- ムハンマド・イブラーヒーム・クライブ (Muḥammad Ibrāhīm Kulayb)
- アブドウルカリーム・シーハーウィー (‘Abd al-Karīm al-Shīḥawī)
- アブドゥラッザーク・サーリム (‘Abd al-Razzāq Sālim)
- アウファー・ワッスーフ (Awfā Wassūf)
- アイマン・ダッカーク (Ayman al-Daqqāq)
- ハイダル・ファルダウィー (Haydar Fardāwī)
- ファーディル・ワルダ (Fādīl Warda)
- ムハンマド・ズィヤード・スルターン (Muḥammad Ziyād Sultān)
- ファード・アリー・アクル (Fu‘ād ‘Alī ‘Aql)
- アイマン・ムハンマド・マランディー (Ayman Muḥammad Malandī)
- ユース・アズィーズ・アリー (Yūnus ‘Azīz al-‘Alī)
- ナビール・カーミル・アツバース (Nabīl Kāmil ‘Abbās)

タルトウース支部

- ムハンマド・ハビーブ・フサイン (Muḥammad Ḥabīb Husayn)
- ハイサム・アツバース・アースイー (Haytham ‘Abbās ‘Āsī)
- ジャマル・ムハンマド・グザイル (Jamāl Muḥammad Ghuzayl)
- ナダー・ムハンマド・アリー (Nadā Muḥammad ‘Alī)
- マフムード・アリー・シャールーシユ (Maḥmūd ‘Alī Shālīsh)
- サミール・バフジャド・フドル (Samīr Bahjat Khuḍr)

- バースィル・サルマーン・イーサー (Bāsīl Salmān ‘Īsā)
- ムハンナー・アッバース・ムハンナー (Muhannā ‘Abbās Muhannā)
- サミール・アリー・アリー (Samīr ‘Alī ‘Alī)
- ウサーマ・ムハンナー・マウイー (Usāma Muhannā al-Ma‘wī)
- サルマーン・ムハンマド・マフムード (Salmān Muḥammad Maḥmūd)
- アフマド・イブラーヒーム・シューバースイー (Aḥmad Ibrāhīm Shūbāsī)
- ユーヌス・イブラーヒーム・ハムドゥーシュ (Yūnus Ibrāhīm Ḥamdūsh)
- フサーム・アッバース・アティーヤ (Ḥusām ‘Abbās ‘Aṭīya)
- バヤーン・アリー・ウスマーン (Bayān ‘Alī ‘Uthmān)
- ラーニヤ・アリー・アブドゥウッラティーフ (Rāniya ‘Alī ‘Abd al-Latīf)
- アドナーン・アフマド・イブラーヒーム (‘Adnān Aḥmad Ibrāhīm)
- ハッサーン・ユースフ・ナーウース (Ḥassān Yūsuf Nā‘ūs)
- ラマー・ユースフ・ユースフ (Lamā Yūsuf Yūsuf)
- アリー・ワヒード・ファイヤード (‘Alī Wahīd Fayyād)
- ナスリーン・ハルブ・バドル (Nasrīn Ḥarb Badr)
- ラーティブ・マフムード・イブラーヒーム (Rātib Maḥmūd Ibrāhīm)
- ナズィーフ・マアッラー・アサド (Nazīh Ma‘allā Asad)
- マーズィン・ナーイフ・ラマダーン (Māzīn Nāyif Ramaḍān)
- マフムード・アリー・マイフーブ (Maḥmūd ‘Alī Mayhūb)
- フィラース・ハサン・イブラーヒーム (Fīrās Ḥasan Ibrāhīm)
- ハイサム・アフマド・スワイカート (Haytham Aḥmad Suwayqāt)
- マナール・アフマド・バツルルール (Manāl Aḥmad Ballūl)
- ラーニヤー・ムフスィン・ハサン (Rāniyā Muḥsin Ḥasan)
- イヤード・イブラーヒーム・アフマド (Iyād Ibrāhīm Aḥmad)
- ラーミー・ムハンマド・サーリフ (Rāmī Muḥammad Sālīh)
- マイヤーダ・マフムード・ユースフ (Mayyāda Maḥmūd Yūsuf)
- シハダー・アリー・イブラーヒーム (Shihāda ‘Alī Ibrāhīm)
- ウィサーム・スライマーン・シャアバーン (Wisām Sulaymān Sha‘bān)
- ナウワール・アリー・ハビーブ (Nawwāl ‘Alī Ḥabīb)
- ムハンマド・ユースフ・ヒムスィー (Muḥammad Yūsuf Ḥimṣī)
- サラーマ・アッバース・サラミー (Salāma ‘Abbās Salāmī)²⁹

²⁹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 1, 2024 には、「サラーマ・アッバース・サラミー」ではなく、「サラミー・アッバース・サラーマ」(Salāmī ‘Abbās Salāma)と記載(誤記)されていた。

➤ ムンズィル・サルマーン・ズイマーム (Munḏir Salmān Zimām)

イドリブ支部

- アフマド・ジャースィム・ナツジャール (Aḥmad Jāsīm al-Najjār)
- ムハンマド・ザーヒル・ユースフイー (Muḥammad Zāhir al-Yūsufī)
- アワド・ハサン・マフムード (‘Awad Ḥasan Maḥmūd)
- ジャマール・スライマーン・ムストゥー (Jamāl Sulaymān Muṣṭū)
- アブドゥウツラツザーク・アフマド・ハリーフア (‘Abd al-Razzāq Aḥmad Khalīfā)
- マイヤーダ・ジブライーール・ジャッブール (Mayāda Jibrā’īl Jubbūr)
- アフマド・ムハンマド・ファラジュ (Aḥmad Muḥammad al-Faraj)
- シーリーン・アブドゥルアズィーズ・ユースフ (Shūrīn ‘Abd al-‘Azīz al-Yūsuf)
- アドナーン・ムハンマド・ザイン・アジャミー (‘Adnān Muḥammad Zayn ‘Ajamī)
- リヤード・アブドゥウツラー・ユースフ (Riyāḍ ‘Abd Allāh Yūsuf)
- アブドゥルワッハーブ・アフマド・ウスマーン (‘Abd al-Waḥḥāb Aḥmad al-‘Uthmān)

ラッカ支部

- アブドゥウツラツザーク・ジャースィム・ジャースィム (‘Abd al-Razzāq Jāsīm al-Jāsīm)
- アフマド・マタル・ハミーディー (Aḥmad Maṭar al-Ḥamīdī)
- ムハンマド・イスマーイーール・ジュワイド (Muḥammad Ismā’īl al-Juwayd)
- ヒンド・マフムード・タリーフ (Hind Maḥmūd al-Ṭarīf)
- ハーズィム・ハリール・アブドゥルガニー (Ḥāzīm Khalīl ‘Abd al-Ghanī)
- ファルヤール・ナディーム・ファラフ (Faryāl Nadīm Farah)
- アリー・ムハンマド・イブラーヒーム (‘Alī Muḥammad al-Ibrāhīm)

ダイル・ザウル支部

- ラーイド・アリー・ガドバーン (Rā’id ‘Alī al-Ghaḍbān)
- ターハー・ハマディー・ハリーフア (Ṭāhā Ḥamādī al-Khalīfā)
- サーリフ・ウバイド・ダンダル (Ṣālīḥ ‘Ubayd al-Dandal)
- マアン・スブヒー・アツブード (Ma’an Ṣubḥī ‘Abbūd)
- ジャドアーン・ムハンマド・サーリフ (Jad’ān al-Muḥammad al-Ṣālīḥ)
- スーマル・ファイサル・ザーヒル (Sūmar Fayṣal al-Zāhir)
- ナスリーン・マフムード・ドゥウワイヒ (Nasrīn Maḥmūd al-Ḍuwayḥī)
- マーリク・アブドゥウツラツザーク・ウマル (Mālīk ‘Abd al-Razzāq al-‘Umar)
- サーヒル・ハーツジ・サクル (Sāhir al-Ḥājj Ṣakr)
- バッシュヤール・スバイフ・ムトラク (Bashshār Ṣubayḥ al-Muṭlaq)
- ヤースィル・アリー・サラーマ (Yāsīr ‘Alī al-Salāma)

ハサカ支部

- トウルキー・アズィーズ・ハサン (Turkī ‘Azīz Ḥasan)
- ジャーズィーヤ・アブドゥツシャイフ・アリー (Jāzīya ‘Abd al-Shaykh ‘Alī)
- ファウワーズ・ハミーディー・アリー (Fawwāz Ḥamīdī al-‘Alī)³⁰
- ラシード・ムハンマド・カウード (Rashīd Muḥammad Ka‘ūd)
- ハミード・ジャンムー・ジャウハル (Ḥamīd Jammū al-Jawhar)
- アフマド・シャウワーフ・サッラール (Aḥmad Shawwākh al-Ṣallāl)
- ハーリド・ハンムード・ハマード (Khālīd Ḥammūd al-Ḥamāda)
- サイド・ダッアース・ハサン (Sa‘īd Da‘ās al-Ḥasan)³¹
- サーリム・ムハンマド・サイヤーフ (Sālīm Muḥammad al-Ṣayyāh)
- ハーリド・サイド・フサイン (Khālīd Sa‘īd al-Ḥusayn)
- アリー・ハサン・ユースフ (‘Alī Ḥasan al-Yūsuf)
- ムハンマド・ハサン・ハマド (Muḥammad Ḥasan al-Ḥamad)
- ハサン・ハムザ・サッルーミー (Ḥasan Ḥamza al-Sallūmī)
- アフマド・シャイフ・アミーン・シャイフ・ユースフ (Aḥmad Shaykh Amīn Shaykh Yūsuf)
- ガッサーン・サーリフ・ハンムード (Ghassān Ṣāliḥ al-Ḥammūd)
- ムハンマド・ムハンマド・サイド・ハラフ (Muḥammad Muḥammad Sa‘īd Khalaf)
- ジョルジュ・スーミー・ユースフ (Jūrj Ṣūmī Yūsuf)
- アブドゥルムンイム・フライル・ハミード (‘Abd al-Mun‘im Hulayl al-Ḥamīd)

ダマスカス大学支部

- ハーリド・ハルブーニー (Khālīd al-Ḥalbūnī)
- ハウラ・ビシャーラ (Khawla al-Bishāra)
- マフムード・ハディード (Maḥmūd Ḥadīd)
- ワッダーフ・ナウファル (Waḍḍāḥ Nawfal)
- イサーム・ハイダル (‘Iṣām Ḥaydar)
- マフムード・ザンブーア (Maḥmūd Zambū‘a)
- ラーマー・アズィーズ (Rāmā ‘Azīz)
- ムハンマド・ハッスーン (Muḥammad Ḥassūn)
- アリー・クーサー (‘Alī Kūsā)
- アブドゥルワツハーブ・シャフラー (‘Abd al-Wahhāb Shahlā)
- ハサン・ティーナ (Ḥasan Tīna)

³⁰ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 29, 2024 には「ハミーディー」ではなく、「ハミード」(Ḥamīd)と記載されていた。

³¹ Facebook (@al.baath.party.in.syria), February 29, 2024 には「ハサン」ではなく、「フサイン」(al-Ḥusayn)と記載されていた。

➤ ジョルジュ・ライイス (Jūrj al-Rayyis)

バース大学支部

- ファーイク・ファフド・シュツドワード (Fā'iq Fahd Shuddūd)
- アドナーン・アブドゥッラフマーン・シャイフ・ハンムード (‘Adnān ‘Abd al-Raḥmān al-Shaykh Ḥammūd)
- ムハンナド・アブドゥッラツザーク・アイユーブ (Muhammad ‘Abd al-Razzāq Ayyūb)
- アブドゥルバースィト・ハティーブ (‘Abd al-Bāsiṭ al-Khaṭīb)
- ムハンマド・イーサー (Muḥammad ‘Īsā)
- ヒシャーム・ジャミール・ビシャーラ (Hishām Jamīl al-Bishāra)

ティシュリーン大学支部

- ミールナー・アフマド・ダッラーラ (Mīmā Aḥmad Dallāla)
- バッサーム・アブドゥルカリーム・ハサン (Bissām ‘Abd al-Karīm Ḥasan)
- ルアイ・サユーフ (Lu‘ay Suyūḥ)
- ムフスィン・サーリム (Muḥsin Ṣarīm)
- ハーズィム・ハサン (Ḥāzim Ḥasan)
- アリー・ナイサーフィー (‘Alī Niṣṣāfi)
- ヒクマト・バルバハーン (Hikmat Barbahān)

アレツポ大学支部

- イブラーヒーム・ムハンマド・ハディード (Ibrāhīm Muḥammad al-Ḥadīd)
- ルアイ・ファトフッラー・シャーシャーティー (Lu‘ay Faṭḥ Allāh Shāshāfi)
- ナビーラ・サーミー・ラツズーク (Nabīla Sāmī al-Razzūq)
- ムハンマド・ナーイフ・ディーブー・サルティー (Muḥammad Nā’if Dībū al-Saltī)
- ムハンマド・ムハンマド・フサイン (Muḥammad al-Muḥammad al-Ḥusayn)
- イマード・ムハンマド・マルイー (‘Imād Muḥammad al-Mar’ī)
- アフド・アフマド・サイード (‘Ahd Aḥmad Sa’īd)

3. 開会会合

2024年5月4日、第3回中央委員会拡大会合が、ダマスカス郊外県アクラバー町にある会議宮殿で開催された。会合の議事は4月21日の中央指導部決定第379号に沿って進められ、国歌斉唱、殉職者の御霊に対する1分間の黙祷、スローガン復唱に続いて、B・アサドが指導演説を行い、シリアが直面している最大の脅威はネオ・ナチ、ネオ・リベラリズム、宗教過激主義といったイデオロギー戦争であり、思想やイデオロギーなくして、それに対抗することはできないと述べるとともに、イデオロギー政党であるバース党が果たす役割は、戦争が文化的・イデオロギー的性格を持つなかで重要性を増していると指摘した。また、バース党にとって、社会主義とは社会的公正であり、自身が実現し、現状に相応しい社会主義のモデルが

どのようなものを定義し、自らが優先事項と考える領域、とりわけ経済分野において前進し、ブレークスルーを起さねばならないと強調した。

指導演説の内容は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024, 「シリア・アラブの春顛末記」2024 年 5 月 4 日)。

同志男女諸君、あなた方に歓迎と祝福の意を表す。また、この選挙での当選者、そしてすべての参加者を祝福したい。我々が期待したその肯定的諸側面、そして我々にとって教訓となるその否定的諸側面は、間違いなく、党の発展の道のりに大きな付加価値を付与するものだ。それは、今後の段階において、議論、検討され、関連する規則に修正が施される主題となるだろう。

確かに、選挙は今回が初めてではない。何年前にも我々は選挙を戦った。だが、今回の選挙は、とりわけ詳細と規則、そしてそれに伴う熱意、さらには我々が目にした大きな勢いという点で、誇張なしに、党の歴史における真の分岐点になることができる。我々がこの数カ月間目にしてきたものが、結党以来、そしてシリアが独立以来歩んできた 80 年弱の時間のなかで、類を見ないものだったからだ。この 80 年弱の間に、党は政治の部隊における主役となった。結党以来、とりわけバグダード条約機構に対峙した 1950 年代、ムスリム同胞団と対峙した当時、そしてエジプトとの統合において、党はすでに政治の主役であり、その原動力だった。その後、(エジプトとの)分離に対峙し、1963 年 3 月 8 日の革命に至るまで、そしてその後の矯正運動後の段階に入り、確固たる(党の)インフラを確立し、1970 年代末から 1980 年代初めにかけてムスリム同胞団と再び対決し、現下の戦争にいたった。党は武装部隊のために殉教者を捧げ、これを育ててきた。もちろん、1980 年代のムスリム同胞団(との)対決の段階においても、党は多大な殉教者と犠牲を捧げた。つまり、党の歴史と役割をシリアの歴史と分かつことは困難なのだ。これが真実だ。だが、このことはすべてのバース黨員にとって、特権ではなく責務なのだ。シリアが経験してきた大いなる変化をさらに大いなるものにするための責務なのだ。シリアが独立以降の歴史のなかで経験してきた節目節目と同様に重要なのだ。

歴史を通じてイデオロギー政党であり続けてきた我々の党は、敵にとって真の問題だった。すべてのイデオロギーは、社会の統合、社会の強靱化、社会の強化、祖国防衛を目的とする。このことが敵にとって問題であることは自明だ。つまり、祖国が直面する最大の脅威は、ネオ・ナチ、ネオ・リベラリズム、宗教過激主義といったイデオロギー戦争なのだ。このイデオロギー戦争に、思想、イデオロギーなくして、我々は対峙できない。経済戦争であれ、テロ戦争であれ、経済によって飢餓をもたらしたり、テロによって殺戮を行ったりすることを必ずしも目指してはいない。狙いは、時間の積み重ねのなかで、イデオロギー、教義にとって代わるような何らかのイデオロギー、あるいはそれに類するものへと変貌し、権利を譲歩させようとする絶望の文化をもたらすことだ。つまり、こうした状況を踏まえた場合、シリアの状況のみに話を限定しているのではなく、世界的な状況についても話しているのだ。そこでは、世界中が文化的・イデオロギー的性格を有した戦争を目の当たりにしており、イデオロギー政党はこれまで以上に重要性を増している。30 年前に主張されたのとは異なり、イデオロギーの時代は終わっておらず、イデオロギー政党の時代も終わってはいない。こうした主張は正しくない。我々は

世界でもっとも高いイデオロギー的段階のなかで生きている。なぜなら、過激主義はイデオロギーであり、ネオ・リベラリズムはイデオロギーであり、西側がさまざまなタイトルで呼びかける服従もイデオロギーだからだ。シリアのバアス党を筆頭とするイデオロギー政党の役割は、シリアが辿ってきたすべての段階において、またバアス党結党から 77 年が経過し、シリアに対するテロ戦争が発生してから 10 年が経ったとくにこの今において、これまでも増して重要性を増している。疑う余地なく、バアス党は今も、組織面、イデオロギー面で強力だ。だが、このことは、75 年にわたるその歴史を通じて蓄積された否定的側面が少ないことを意味しない。それは、発展がなかったこと、蓄積した過ちへの対処がなされなかったことが理由ではない。我々が恐れているのは、敵がどれだけ増え、凶暴な私たちで立ち現われようとも、敵ではない。そう考えている。そうではなく、我々が真に恐れているのは、こうした過ちやその蓄積への対応がなされないことである。なぜなら、それは党の組織やイデオロギーを崩壊させかねないものだからだ。発展について話し、発展のプロセスを進める時、分析を好む者がしばしば言うように、そうしたことを必要とする外的な状況があるからではない。あるいは、そうした圧力があるからでもない。西側は長年にあきらめてきた。だが、我々が発展しているのは、社会が常に進歩を続け、社会が常にダイナミックな状態にあり、同じ場所にけっして留まろうとしないなかで、党や祖国が発展を当然のこととして必要としているからだ。前に向かって進まない社会の構造は、遅れた古い構造となってしまう。困難な状況が強まるたびに、さらなる発展が必要となるのであり、その逆ではない。先送りは正しい選択肢ではなく、全速力での発展が、おそらくは困難な状況に立ち向かうために、もっとも重要且つ唯一の方法にして手段なのだ。我々、そして世界が今日身を置いている大いなる変化とは、我々に直接的、あるいは間接的に影響を与え、我々に大きな責務と重大な課題を与える。

我々が党として今日直面している第 1 の課題は、党の組織の構築である。それは党の課題であるだけではない。我々は党の発展について、祖国に存在するすべての建物とは別の建物として話すのではない。それは一般的な課題だ。シリアにおいて、我々には一般レベルにおいて組織文化における問題がある。この問題を国家のなかでも、国家の枠外にある組織のなかでも目にしている。また、社会全般のなかでも目にしている。制度構築に際して国家レベルでステップを踏んできたとしても、我々の前にある道のりは依然として長い。党レベルにおいては、あなた方ががこれまでに行った選挙も、さらにはそれに先立つ数年間も、制度的な行動に向けたステップだった。だが、とりわけ今回の選挙を受けて、あるいはこの拡大会合を受けて、バアス党の制度構築の道のりにおけるこれまでのステップを補うステップを踏んでいくべきだ。だが、我々は、中央委員会と中央指導部の選挙をもって今日終了する選挙の管理体制について議論した昨年と同じように、党のすべてのレベルにおいて深遠な対話を行うことから始めねばならない。

我々が始めねばならない第 1 点、それは時に存在しながらも説明されていないいくつかの概念があること、時に必要であるものの存在しない概念があるということだ。党と権力の関係といった概念などがそれだ。これは、(旧憲法の)第 8 条とは関係ない。第 8 条がもはや存在しないがゆえに、この点について議論しなければならないと考えている者もいる。そうではなく、それは常に続けられ、明確な思

想的基盤を有さねばならない確固たる対話なのだ。党と権力の関係は、県に介入する党支部がある、あるいは中央指導部、かつて地域指導部と呼ばれていた組織が政府の活動に介入するといったような、我々がこれまで、狭い枠組みに限定して、議論してきたものではない。そうではなく、行うべき作業はこうした形によるものではなく、与党であることを踏まえたかたちでの党の役割、政策を実施する政府の役割と結びついている。党が、「超政府政策」と名づけている政策、つまりは包括的政策を策定する主体であるのは当然だ。政府はこうした政策を実施するために作られる。つまり、政府の政策は党のヴィジョンから生じるのであって、一方が他方を支配するものではない。なぜなら、党の役割が交代したとの議論がしばしば行われるからだ。党の役割の後退とは党の弱体化のことだが、後退ではない。それは党の役割の再配置であり、これによって、党は、政府が実施する日々の諸手続きにおける問題から党を守り、次いで党が負っていない責任を党に負わせることになる。同時に、党が自らの責任を政府に負わせることは許されない。つまり、党と権力の関係は、我々は議論しなければならない第 1 の主題なのだ。では、我々の役割とはどのようなものなのか、また党の綱領を実施する行政府の役割とはどのようなものなのか。

第 2 点は、すべてのレベルでの組織構造、とりわけ中央指導部、支部、支局の構造だ。我々には今、(中央指導部内に)複数の部局があり、各支部の指導部にはこれと同じ数のメンバーがおり、そのほとんどが常勤のメンバーだ。バース党が政権を握って 60 年が経て、各部門においてこうした部局が同じままであることは論理的と言えるのか。社会は変化し、世界は変化し、経済、産業、テクノロジー、そしてあらゆるものが変化した。だが、部局はそのまま維持されてきた。我々が同じ場所にとどまることは論理的と言えるのか。部局、そして党が対処する部門についてまず再検討すべきだ。各指導部を再検討すべきだ。だが、それは、部局を統合すること、あるいは不要となった部門を廃止すること、今の時代に即した新たな部門を追加することを意味するのか。そうした側面はある。だが、別の側面として、常勤のメンバーの数を再検討すべきだ。つまり、数が多過ぎる、あるいは実際には仕事がない人材がいると言うのなら、それは時間とエネルギーの無駄だ。メンバーの数を減らすべきなのか。そこには肯定的な面と否定的な面がある。肯定的な面についてはすでに述べた。だが、否定的な面としては、党の決定を狭いサークルのなかに押し込めてしまうことがある。これは良いことではない。対話の輪と決定の輪が広がる度に、制度的な面で仕事はより優れたものになる。数を減らさず、メンバーを常勤と非常勤にするというアイデアもある。もちろん、可能性としてあって、検討する必要がある。今後の議論のためにいくつかアイデアを上げているだけだ。我々の前には、我々の組織の発展の土台となる多くの主題がある。

重要な主題として、中央委員会の役割もある。中央委員会は結成から 44 年あまりが経つが、今まで本格的に活発な活動を行ってはいない。その理由は、そのパフォーマンスであることもあれば、細則そのものにあることもある。党には細則があり、中央委員会にも細則がある。財務規定もあり、監査委員会の規定もある。こうした細則を再考する必要がある。中央委員会は党の心臓だ。我々はそれに何を望めばいいのか。我々が話題にしている政策の立案に介入すべきなのか。党の政策立案に介入するのであれば、その構造を変え、人民議会のように専門の委員会を設置すべきなのか。中央

委員会にふさわしいかたちとはどのようなものなのか。中央指導部との関係はどのような性格とすべきか。中央委員会が通常は存在せず、数日間だけ役割を果たすことが論理的と言えるのか。1日、あるいは2日だけ会合が開かれ、そのなかで中央指導部が大部分が作文的な報告に基づいて議論することが論理的と言えるのか。私はこうした役割が中央委員会にとってふさわしいものだとは考えていない。中央委員会にあるデータをどのように処理することができるのか。これらのデータは常に更新されている。中央指導部には、中央委員会に定期的に情報を提供する義務があり、中央委員会が会合を開催することで、任務を遂行することができる。我々は今、中央委員会メンバーの大部分が今回の選挙で選ばれ、その構成が、支部メンバーであれ、任命されたメンバーであれ、そうでないメンバーであれ、これまでとは同じではないということを踏まえたうえで、一步踏み込んだ話をした。また、我々は、今回選ばれるメンバーが、細則の定める通り、必要とされる説明責任プロセスを実行できると考え、またそうであることを望んでいる。3分の2のメンバーによって不信任、あるいはそれ以外の詳細なプロセスが実行すべきだと考えている。同じことが支部、そして支局の大会においても言える。これらのレベルにおける大会が、単なる大会、あるいは発言の場にとどまり、結論を得ないままに、発言や実践が行われることは許されない。なぜなら、対話、議論、決定、そして説明責任のための大会だからだ。これが大会の役割であり、大会において適用されるべきものなのだ。支部や支局の大会は、中央指導部から見た場合の中央委員会の役割に似ている。つまり、中央委員会と中央指導部の関係についても同じ問いを行うことができる。支部、支局、そしておそらくは班において、各大会のメンバーとより上のレベルはどのような関係にあるのか。だが、説明責任や変化に言及する際、次のような問いをしたい。任務を確定しないまま説明責任を果たすことができるのか。つまり、我々は何を根拠に特定のレベルの指導部の同志が怠慢だと考えることができるのか。我々が「お前はやる気がない」とこの同志に言う場合、彼に求められている任務は何なのか。これは、こうしたレベルの組織を発展させるというアイデアの成否を左右する根本的な問いだ。

同じ枠組みにおいて、我々が不信任という発想に向かい、指導部において同志の成否を特定する明確な基準に至ることに成功した場合、これらのレベルにおいても、高等選挙委員会に現在適用されている仕組みを維持すべきなのか。あるいは、大会、あるいは中央委員会拡大会合に先立って開催される定例会合とのつながりを維持すべきなのか。私は仕組みが草の根レベルで党の同志たちの間に安心感を醸成したと考えている。統制のとれた真の選挙を実現するために、この仕組みがどう機能し続けるかを検討する必要がある。

さらに同じ枠組みにおいて、我々は(中央)委員会の役割とそれを律する細則について自問したい。我々が今回の選挙を、一つの社会からなる完全に自由な選挙として捉えたのなら、この選挙は、党員の一般的な状況についての正確なイメージを与えていただろう。たとえ、どの同志にとっても、自らを売り込み、選挙運動を行うための時間が足りなかったとしたら、この仕組みにおいて各階層の代表性を特定することが困難であることを踏まえた場合、それは全国レベルでの問題を生み出していただろうか。つまり、我々は細則に立ち戻らねばならない。規則によって、我々は国民レベルで各階層の代表性を制御することが容易になるのか。これもまた論点である。

我々は間もなく人民議会選挙を控えているが、そこには非常に重要な点がある。我々は、どのようにして党員ではない階層と合意を形成し、バアス党の代表者を選ぶことができるのか。我々は人民議会、そして地方自治体の代表者を選ぶことにはなる。だが、我々が選ぶ人物は、閉ざされた党内プロセスのなかの代表なのではなく、同じ地域、あるいはシリアという一つの社会のなかにいるさまざまな階層の代表でもある。では、我々はどのようにしてこうしたプロセスを実行し、党員ではない階層の満足も勝ち取ることができるのか。この点についても今後議論しなければならない。

党の財務規定も、効率的で透明性を有し、浪費や汚職を撲滅し得るような財務規定を作り出す、あるいはそれを発展させようとしなければならない。それゆえ、中央指導部の財務局とその責任者の再任は我々にとって優先事項だ。また我々が活性化に向けて取り組むことになる監査委員会も重要な役割を担うことになる。とりわけ、この委員会は書記長直轄となり、財務監査の役割を担うことになる。だがより重要なのは、実績全般もフォローすることだ。つまり、その任務のなかには、大会の議事をフォローすることが含まれる。さらに、今回の拡大会合において承認されることもまた監査委員会によってフォローされることになる。

もちろん、これらが、私が優先事項だと考えている主題なのだが、問いというかたちで提示されている別の主題も多々ある。それらに対する答えは、我々の党の今後の組織の形態を決定するものであり、党の役割や効率性を確定、あるいは反映するものなのだ。こうした実際の主題のすべてに実質的な枠組みを与えるものが、バアス党の細則であり、それゆえに催促を広範に再考する必要がある。なぜなら、細則なくして、我々が発展させようと考えているいかなるものも、結果を得ることはないからだ。細則はあらゆる分野においても成果を生み出す基礎なのだ。

第2の課題は、党のヴィジョン、とりわけ党内の問題をめぐるヴィジョンの形成にかかわっている。ここで言う党のヴィジョンとは、党が、さまざまな問題、そしてセクターにおいて、市民に対する国家の役割をどのように理解するのかということの意味している。行政権は、こうしたヴィジョンを実施計画へと変更するために与えられる。我々みな、そしてシリアのすべての市民にとってもっとも重要な第1の主題とは、生活状況だ。我々が生活状況から始めたいと考えるのなら、我々党にとって基本となる主題以外から始めることはできない。その主題とは社会主義だ。我々にとっての社会主義とは、我々の理解によれば、社会的公正である。公共部門の完全所有や民間部門の廃止など、記述された学術的な定義、古い理論に立ち返ることはできない。こうした定義、あるいは形式は、実際のところシリアにおいては一度たりとも社会主義とは言わなかった。社会主義は、1世紀以上前に世界のさまざまな場所で、そしてさまざまなかたちで採用された。そのなかにはシリアも含まれたが、そこでは社会主義は、1960年代の過激主義やマルクス主義から、1991年以降のインフィターフ、そして今日のインフィターフに至るまで幅広いものであり、多くのモデルがあった。我々は、社会的公正を実現し、我々が暮らす現状に対処し、さらに前に向かって進歩していくことを可能にするうえでふさわしいモデルが何かを特定しなければならない。もちろん、我々は今、進歩について包括的に話しているのではなく、現実的な話をしている。特定の分野、とりわけ経済においてブレークスルーをもたらす能力、我々はそれがシリアでの自分たちにとっての最優先事項だと考えている。

だが、社会主義は党としての我々に一つの問いを投げかけている。それは、バアス党の経済面でのアプローチがイデオロギーから生じるのはいつなのか、経済的基盤から生じるのはいつなのか、というものだ。両者の間に一致はあるのか、あるいは矛盾しているのか。あるいは、我々が取り組み、イデオロギー的側面と科学的・経済的基盤に同時に依拠し得る妥協点はあるのか。同じ枠組みにおいて、疲弊や損失を被ることなく、イデオロギー的基盤に耐える経済の力は一般的にどのようなものなのか。つまり、既に述べた通り、均衡を見つけ出すことなのだ。イデオロギーはバアス党の方法の基礎をなしており、それを放棄することはできない。我々がイデオロギーという場合、それは社会主義であり、すでに述べた通り社会的な側面なのだ。社会的側面と経済的側面の均衡とはどのようなものか。実際にはすべて一つの主題についての問いなのだ。だが、あらゆる側面から見なければならぬ。なぜなら、我々が経済的基盤と社会的基盤の均衡について話す時、それはつまりは、我々が、社会を犠牲にして、抽象的に経済的側面がない厳密な路線を進むことになるからだ。そうすることで、我々はこうした状況において資本主義政党に成り下がってしまう。抽象的な社会的側面に向かって逆に進むこともあり得ない。なぜなら、そうなれば、我々は破綻国家になってしまうからだ。だから、私がこれらの主題を話すのは、イデオロギーと経済の均衡点に達するためなのだ。

2005年の(シリア)地域大会以降、過去約20年にわたって、社会市場経済について多くのことが提起されてきた。この概念が担っていなかった意味や解釈が持ち込まれた。そのなかには、シリアが経験した誤りや失敗も含まれており、それらはその定義に際して持ち込まれたものだった。なかには、それ自体があたかもイデオロギーであるかのように扱う者もいた。もしそれがイデオロギーだったとしたら、我々は社会主義を維持することはなかっただろう。もしそれが理論で、社会主義もイデオロギーではなく、理論だったとしたら…。そう考えたために、我々は社会主義を置き換え、そこに社会市場経済を据えてしまった。実際、この問題についての我々のヴィジョンは簡略化され過ぎていた。市場とは競争であり、プロセスとは社会主義を発展させるプロセスであって、それ以上でもそれ以下でもない。だが、我々が市場という言葉だけを維持したのであれば、それは、我々が粗野な市場経済へと移行することを意味してしまう。「社会」という言葉は社会主義的な方法を維持しつつ、市場において競争を維持することだ。市場と社会主義は併存し得ないという者もいるだろう。だが、この言葉は正しくない。なぜなら、中国モデルは世界において明白に示しているからだ。中国は1978年以降、共産主義的・社会主義的な中央集権国家のまま、市場経済に移行した。別の側面もある。それは、生活状況にかかわる主題である。党は発足以来、勤労者に寄り添ってきた。もちろん、勤労者という定義は、労働しているが、貧しい階級という意味だ。我々は一般的に勤労者と言うべきなのか、あるいは、貧困者というべきなのか。この概念をより包括的に捉えて、我々は貧困者をより広範な階層という意味で用いて話したい。第1に、党がこのより広範な階層に寄り添うことは当然だ。なぜなら、この階層は誰よりも経済危機の影響に晒されているからだ。だが、宗教でさえ貧困者に寄り添う。ザカートは富裕者から貧困者に施されるのであって、富裕者から富裕者に施されるものではない。税金でさえ、一方で富裕者と貧困者の公正や資金配分を実現し、他方で貧困層が自らに与えられた資金のすべてを経済に注ぎ込むためのものである。だが、バアス党が統治する国家は、すべての国民のための国家だ。バア

ス党が依拠し、さまざまな階層間で利益が交錯——矛盾ではなく——していることを表現する計画、あるは方法とはいかなるものなのか。つまり、これらの階層は、互いに利益を獲得する。一つの階層が別の階層を犠牲に利益を得ることはない。貧困層は実質的には購買力なのだ。貧困者、中間層の状況が良くなければ、経済が動くことはない。富裕者や資本家は、この国において雇用機会を創出することができる。つまり、我々は勤労者、貧困階級を経済的な視点で見て、そのうえで社会的な視点から捉えなければならない。なぜなら、社会的視点とは、党を慈善活動へと変えるものだからだ。一方、経済的視点は、党をこの階層の利益を実現し、社会全般の利益を実現し、同時に国益も実現する経済活動へと変えるのだ。

ここで幾つか例を挙げよう。前述した均衡とは何を意味しているのか。我々は自らの政策、そして主題をこれらの階層に寄り添わせているのに、なぜ結果が別の方向に向かってしまうことがあるのか。輸出政策がその一例だ。世界のなかに輸出を経済発展の主要な基礎に置いている国はない。だが、シリアが経験してきた状況ゆえに、我々はしばしば輸出に依拠し、市場において敗北してきた。なぜなら、輸入業者が、断続的、変動的、あるいは非連続的な市場を受け入れないために、輸出業者とともに敗北を喫してしまうからだ。輸出が後退したことで、我々は外貨を失い、雇用機会を失っている。シリア・ポンドが圧力を受け、インフレや為替レートが圧力に晒される。その代償を支払わされるのは、勤労者、貧困階級だ。インフレ、つまり為替レートと生産を均衡させ、我々は為替レートを制御しようとしている。もちろん、完全に制御はできない。だが、物価を一定に保とうとして為替レートを制御すると、生産に支障が生じる。ここには常に定期される問いがある。優先事項はどこにあるのか、という問いだ。為替レートなのか、生産なのか。物価が一定に保たれれば、雇用機会は創出されない。貧困者はどのように暮らしていけるのか。どのように自らを発展させられるのか。どのように貧困層を中間層に変えられるのか。政府、行政府が均衡を実現するための計画を策定できるようにするために我々が答えるべき重要な問いなのだ。

別の例として支援がある。数十年の長きにわたって、中央銀行は、本来の仕事ではないにもかかわらず、市民全般、とりわけこれらの階層にとって必要だとして、支援を担ってきた。何らかの(支援)方法を作ることが必要だったこともあり、中央銀行がこれを担ってきた。結果はどうだったのか。中央銀行はインフレに対応する力を弱めてしまった。現在、インフレを制御するために多大な仕事をしているが、インフレを食い止めるには至っていない。だが、こうした政策が多岐にわたっていれば、為替レートの現状は改善され、結果としてこれらの階層の状況も改善されていいただろう。以上は、我々がより貧しい階層のための政策に向かうことを示す例に過ぎない。だが、異なった結果、つまり誠実な意志とは逆の結果がもたらされるだろう。つまり、ここで、我々は政府の政策について議論することはできない。むしろ、ここで、過去、現在、そして未来のいかなる政府も擁護するつもりもない。経済と社会が均衡していなければ、政策にもあらゆるレベルで麻痺が生じ、政策に麻痺が生じれば、行政府があらゆるレベルにおいて行うことになる実施にも失敗が生じる、私はそう言いたいのだ。

もう一つの面、そして我々にとっても重要な社会主義と関連した主題は、公共部門だ。我々は公共部門を、工場、あるいは労働者といったように抽象的に捉えがちである。実際のところ、公共部門は、

シリアの歴史を通じて重要な役割を果たしおり、大きな困難に直面しながらも今もまだ重要だ。だが、公共部門を矮小化された主題に限定することはできない。行政公共部門には役割があり、またこれとはまったく異なった役割を持つ経済公共部門もある。生産経済公共部門もあるし、サービスを提供するサービス行政公共部門もある。これらの部門のそれぞれに役割がある。我々はこれらを一つの主題として見ている。だが、経済について二つに分けて話させて欲しい。問いは、我々が何を望んでいるか、というものだ。どのバアス党員でも良いので、公共部門に何を望んでいるのか、それによって雇用を望んでいるのか、物価の下支えを望んでいるのかと訊いたとする。あるいは、それによって利益を得ることを望んでいるのかと訊いたとする。これら三つを望んでいるのであれば、シリアでそれは実現し得るのか。とくに、社会面、すなわち(物価の)下支えと雇用とともに経済面での収益性はあるのか。どんな経済的な組織を設立する法令においても、収益は基本的な主題である。では、収益とは何を意味しているのか。それは、輸入品(の価格)が実質コスト、給与、電力、燃料費よりも高いということだ。だが、現実には、ほとんどの組織において異なっている。とくに、政策がこれらの機関に対して行われる場合、つまりは、これらの組織の支援が必要とされている場合、支援は、これらの組織の仕事でなく、政府の財政にかかる仕事となる。一方、雇用については、我々が雇用することで損失を被ることが経済的だと言えるのであれば、なぜ、行政部門において雇用しないでいる必要があるのか。あるいは、浪費や汚職につき込まれ、国家が義務を十分に履行できなくなってしまうような資金を、なぜ人々に与えないのか。もし、雇用が国家の仕事の一つなのであれば、まずこう問うべきだ。国家における雇用の限度はいったいどのようなものなのか。シリアの国家は雇用を続けるとして、シリアにおける雇用の限度とはどのようなものなのか。これまで我々が考えてきたように、雇用は国家の義務なのか。すべての仕事が公共部門に含まれるのか。我々はどのように雇用を行い、そのクオリティを維持するのか。シリアの状況は国家が発展しなければ発展し得ないことを我々は熟知している。国家が発展しなければ、我々が高いクオリティの雇用を行うことはできない。ここでもまた、我々は社会的雇用の側面とクオリティ面をバランスさせようとしている。国家が雇用を行う場合、党として我々が行う政策とはどのようなものなのか。

農業部門ももう一つの重要な主題である。だが、農業、あるいは農業支援は議論すべき主題ではない。どんな農業国においても農業は国家安全保障と同じだと思う。議論はつまりは、農業支援の仕組みをめぐって行われるべきだ。我々は、いつものように生産品を支援するのか、それとも農業生産者を支援し、支援が寄生者に中間搾取されることなく、農民に直接、そして完全にいきわたらせるのか。これはバアス党にとって必要な主題の一つだ。

これまで述べてきたことのすべてが、汚職撲滅という主題を構成している。汚職撲滅は、一部の人が言うように、個別の主題でも、抽象的で感情的な主題でも、復讐に根差した主題でもない。それは結果だ。制度が正しく構築されることの結果だ。汚職撲滅は、正しい環境を必要とし、正しい環境は健全なシステムを必要とする。健全なシステムがなければ、実際に成果を実現することはないため、汚職撲滅に時間が割かれることもない。例をあげると、ある都市で、自治体がゴミを収集せず、害虫が発生し、流行病はさらに蔓延していて、保健省の医療スタッフにその都市に赴いて、流行病に対処す

るよう任じ、衛生状況を正常化するよう要請した場合、スタッフらはまっさきに「我々には何もできない、病院も、医師も薬も、流行病は撲滅できない。ゴミを収集することから始めろ」と言うだろう。汚職撲滅とはこのように捉えられるべきものだ。既存の行政を麻痺させているゴミを収集しなければ、汚職撲滅という問題において何らの成果も得られない。つまり、党はヴィジョンを持てるよう、そして政府がこのヴィジョンをもって行政計画を策定できるよう、我々は質問に答えていかねばならない。この方向に向けた作業を延期してはならない。なぜなら、戦争勃発前から長年にわたって「今がその時ではない」といった周知の一文を用いることに慣れてしまっているからだ。この文は夢を単なる夢で終わらせてしまう。

これまで述べてきたことの要点を明確にすることで、一部の人が好むように、今回の会合が「ペレストロイカ」会合で、公営部門や支援を放棄するものだと解釈されないようにしたい。これまで述べたことは公共部門の放棄を決して意味しない。なぜなら、それは重要な役割を持っており、それは維持されるからだ。だが、公営部門は高い質を誇り、熟慮されたもので、目的を伴ったものでなければならない。これまで述べたことは、支援の放棄を意味しない。なぜなら、支援は貧困層のために必要なだけでなく、経済力にとって必要だからだ。問題は支援という原則ではなく、支援の形式、方法にある。これまで述べたことは、我々が国家の役割を強化し、経済、社会、政治といった分野、そして祖国全般において、その義務を完全に実行できるようになることを意味しない。こう疑問に思う人もいる——我々は提起されている質問への答えを書記長から聞くことを期待していた、と。私は今、答えや意見を述べたが、それは、私が議論の道を閉ざすことを意味することになってしまう。だが、私が今日ここにいるのは、議論の道を閉ざすために議論を投げかけるためではない。これがまず第 1 点だ。また第 2 に、市民に影響を与えるより大きな問題は、書記長、大統領、首相、党指導部、あるいは政府の意見に基づいているのではない。これらの問題は、まず党のレベルで、次に国民レベルでの広範な対話を行うことを必要としている。そうすることで、我々のなかの誰もが、意見を持ち、正しい決定を下せるようになる。

我々党にとっての第 3 の課題は、党の思想を今の時代に合致させつつ、我々の帰属に反しないかたち、すなわち我々がいる現在と調和するかたちで、そして同時に我々の起源を失わないかたちで再編成することだ。アラブ民族主義政党としての我々の党は、一つの理論に依拠するのではない。つまり、我々は、100 年前の一握りの有識者や思想家が集まって、ウルーバという名のアイデンティティがあると決したことからもたらされた理論だけに依拠するのではない。我々は歴史的で現実的な真の社会的帰属に依拠している。理論は、その後にもたらされ、理論は、この帰属に枠組みを与え、思想的なかたちを与え、それを本能的な状態から積極的で活動的な状態に変化させ、社会の統合と力を強化するのである。こうした状況によって、狭量なジャーヒーリヤ的狂信主義への帰属は包括的で広範な状態へと移行し、それによって社会を構成するすべては統合され、帰属(意識)は人種概念から文明的で人間的なレベルに押し上げられる。そしてこのレベルは、民族間の人種、宗教、言語、文化、地理、利益、そして利益の交換といった、あらゆる分野での相互作用に基づいて、自然に、自発的に、そして漸進的に構築されるものだ。これらすべての要素が社会を構成している。それゆえ、民族主義

政党というのは、植民地主義勢力によって狙われるのだ。我々の政党を含むこれらの政党が、宗派的、あるいは人種的な諸概念のもとに作られたとしたら、それは西側による直接の支援を受けていたことだろう。なぜなら、それは、植民地主義的な分割という諸目的に合致しているからだ。これらの政党を標的とすることは、我々アラブ人の社会の基礎をなす主題や要素、すなわちウルーバ、イスラーム教、キリスト教を標的とすることで完全なものとなり、彼らはこれらの要素の間に亀裂を生じさせようと働きかけてきた。彼らは、長年にわたってアラブ・キリスト教の問題から、とくにシリア、つまりビラード・シャームをめぐって、この地域はキリスト教的であり、アラブ人、イスラーム教徒、そして言語はイスラーム教成立以降に生じた侵略の結果として生じたのだと言ってきた。つまり、彼らは一連の要素を一つにまとめ、それを一つの壺のなかに押し込めた。ビラード・シャームにおける真のアイデンティティは、アラブ人としてのアイデンティティではなく、14世紀強、あるいはそれよりも若干短い期間しか経っていない人工的なアイデンティティだというのだ。

実際のところ、これらの要素は互いに結びついてはいない。我々がアラブ人について話すとき、そして言語、イスラーム教について話すとき、それぞれに異なった歴史がある。アラブ人は、紀元前1000年の歴史文書からアラブ人として言及されている。その存在は、アラム人の時代、スィルヤーニー(シリア正教)の時代から、アラブ・キリスト教徒王朝、イスラーム教の時代に至るまで続いていた。アラビア語には、話し言葉と書き言葉があり、それぞれが異なった時代に登場した。例えば、シリア南部で紀元前160年頃に登場し、紀元1世紀ごろまで続いたアラブ・ナバティア王国の民は、アラビア語とアラム語を話していたが、イスラーム教の時代になるまでアラム語で文字を綴っていた。つまり、ある民族がある場所に至り、もともといた民族が突然姿を消し、新たな民族にとって代わる、あるいはある文化が生まれ、もとあった文化にとって代わり、もとあった文化が消滅する、あるいは、ある言語が別の言語にとって代わる。このようにこの問題を単純に捉えること、このように述べることは論理的ではない。とりわけ、シリア語はイスラーム教の時代になって以降も5世紀にわたってシリアで存続した。つまり、そのように述べることは正しくないのだ。なぜなら、諸国民は同一地域や隣接地域において、文化、言語を互いに交流させるからだ。戦争や侵略などを含めて、いかなる力もこうしたダイナミクスを制御することはできない。同様に、既存の社会的・国民的アイデンティティを解体し、対立し合うサブ・アイデンティティに分化させようとする枠組みのなかで、彼らは前世紀初め、あるいはそれより少し後に我々が耳にしたと思われるウルーバとイスラーム教をめぐる問題を提起したのだ。この問題提起、あるいは紛争は、我々に次のような限定的な問いを喚起させた。ウルーバとイスラーム教の間に問題、あるいは紛争は実際にあるのか、という問いだ。我々は非常に簡単な答えがある似た質問をすることができる。それは、宗教と民族主義の間に問題があるのだとすれば、なぜこうした問題をアラブ人以外のイスラーム国家において耳にしないのか、という問いだ。イスラーム教は大西洋からインド洋に至る地域に拡大した。なぜ、我々は、イスラーム教と異なった国の何らかの民族主義との間に問題があると耳にしないのか。問題は存在するのか。民族主義と宗教の間に問題があるのなら、ウルーバとキリスト教の間に問題はあるのか。そんなものは断じてない。なぜなら、著名な民族主義思想家たちはキリスト教徒だったからだ。なぜ、我々は、米国、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、さらに

はどこであれ、宗教全般と民族主義との間に問題があると耳にしないのか。答えは明白だ。なぜなら、問題は捏造されたもので、真実ではないからだ。宗教は、どんな社会のどんなアイデンティティにおいても重要で基本的な側面の一つだ。だが、宗教は、諸人民の民族アイデンティティを否定しなければ、とって代わることもなく、対立することも矛盾することもない。だから、イスラーム教がジャーヒリーヤ時代のアラビア半島に啓示されたとき、民族をめぐる問題は生じなかった。問題は異なっていた。社会が偶像を崇拜していたことを踏まえると、問題は感情的なもので、イスラーム教が正義を布教したことを踏まえると、利権にかかわるものだった。部族の長たちは、利権を握っており、半封建制のような状態だった。だが、イスラーム教は当時の民族主義とは矛盾することはなかった。ジャーヒリーヤという言葉は、古代文明が存在しないということを意味しない。社会が間違っただけであつたという意味だ。だから、詩、文学、言語は高いレベルにあり、しばしば思い描かれるように、後進的な民、あるいはベドウィンなどによってもたらされ得るものではなかった。宗教は、原始的な人民、あるいは社会に啓示されることはない。なぜなら、そうした社会には、偉大な神のメッセージを担うことができないからだ。同時に、言語について言うと、聖コーランの啓示は、深淵な意味を担うことができない言語によってはなされ得ない。つまり、アラブ社会は、文明という側面においては存在してきたが、文明としてのエネルギーは潜在しており、活性化していなかった。イスラーム教は既存のエネルギーを解き放つためにもたらされ、より包括的な人間的次元と広範な世界的次元をこのエネルギーに与えた。ここにウルーバとイスラーム教の互換関係がある。だから、我々がつながりを創出する必要などない。我々は両者のつながりに理論としてのかたちを与えるだけだ。なぜなら、両者の関係は、自然で有機的な関係であり、矛盾し合うことも、衝突することも、排除することもなく、補完し、調和しているからだ。また、ウルーバとキリスト教の関係も然りだ。キリスト教とイスラーム教もだ。それらはいずれも我々の集団としてのアイデンティティを構成する要素だ。この地域のアイデンティティは、数世紀ではなく、数千年を通じて作り出されたものだ。このアイデンティティの諸要素の一つでも廃されるということは、アイデンティティすべてが失われることを意味する。

同じ文脈において、彼らは、アラブ人は人種で、それ以外の集団も人種だとみなし、我々の地域においてウルーバとそれ以外の民族的集団の間に矛盾を創り出した。だが、すべての人々は平等だ。つまり、すべての人々が複数の人種を表している。このことは重要だ。なぜなら、そうすることで、ウルーバの思想を人種に限定することになるからだ。だが、ウルーバとはそのようなものではない。我々が常に話しているウルーバとは、人種的、宗教的多様性に基づいた包括的で文明的なウルーバだ。このことはつまり、文明的ウルーバが集団どうしの融解ではなく、統合を意味しているということだ。我々の社会における一つ一つのアイデンティティ要素を維持することを意味しているのだ。シリア社会の多様性が増す度に、ウルーバは豊かさを増す。この多様性が表出し、顕著になる度に、ウルーバは信頼と堅固さを増す。それゆえに、我々はこの会場において、こうした多様性の真のモデルなのだ。シリア社会を構成するほぼすべての集団、おそらくはすべての集団がここにはある。出席者は民族主義政党に所属しているが、一日たりとも、入党の要件、あるいはウルーバの一部となるに際して、もとのアイデンティティを棄てると感じたことはない。逆に、我々はこれらのアイデンティティを維持す

ることを奨励している。我々は、言語、習慣、伝統、宗教的帰属など、これらのアイデンティティの事細かな諸要素を維持するよう奨励している。

これまでと同様、ウルーバは維持される。これは、我々の思想、方針、本性的で本質的な帰属の基礎をなしている。なぜなら、我々にとってウルーバとは、社会を構成する諸要素を担う脊髄だからだ。脊髄が衰えれば、組織どうしのつながりは解かれ、体も完全に衰退する。つまり、我々には党の思想を発展させ、包括的で文明的なウルーバ、多元的な国民アイデンティティ、さらには崇高な人道的価値観の關係に注力する必要がある。これらの三要素は、我々の社会に安定を創出するものだ。なぜなら、これらは、我々の社会において出現しつつある思想的厳格主義などの異常な思想的要素から我々を守るものだからだ。我々が思想的にと言う場合、それは、宗教的なものかもしれないし、社会的、あるいは政治的なものかもしれないということを意味する。あるいは、思想的厳格主義に似たあらゆる形態の過激主義、挫折感、劣等感かもしれない。社会を破壊しようとするネオ・リベラリズムを筆頭とする外来思想に対抗する際に生じるかもしれない。ここから、我々には次のように問いが生じる。我々バアス党にとっての思想的立場はどこにあるのか。このことは、思想家たちの立場がどこにあるのかという問いでもあることは自明だ。我々には断じて思想がある。我々には断じて思想家がいる。だが、思想を刷新し、思想を一時的、時節毎、あるいは行事ごとではなく、持続的に刷新されるプロセスとするための明白な仕組み、明白な構造がない。

政治情勢に関して、もっとも重要で特筆すべき主題はパレスチナ問題だ。そしてこの主題においてもっとも特筆すべきは、1948年にこの問題が発生して以降にはなかったようなかたちで、パレスチナの大義を前面に回帰させようとする動きだ。今日、この大義の正しさが世界レベルで明らかとなった。犯罪的なシオニスト政体の実態が世界のほとんどにおいて明らかとなった。もちろん、西側レベルではないが、少なくとも世界レベルで、イスラエルに対する支援は後退した。西側レベルでは当初からそうしたことはなかったが、世界レベルでは、オスロ合意調印以降、徐々に後退しており、このことはいずれ二重の問題を引き起こすだろう。

第1の問題とはシオニスト政体だ。それは、発足して数ヶ月がたった当初から、西側の政治家だけでなく、大衆の同情を頼りに生きてきた。この問題が、自国民の世論に背いていると気づき始めている西側の政治家たちのなかに問題を創り出すことになる。第2の問題は、西側のシステムのイメージの劣化と悪化だ。それは、まず、世界レベルにおいて、第二次大戦以降、とりわけ1991年のソビエト連邦崩壊以降に顕著となっている。我々のなかには、何世代にもわたって西側に魅了されてきた者がいる。彼らは催眠術にかけられているかのように心酔している。西側で起こることのすべてが、驚くべきで、素晴らしく、そして美しいものだと考えている。こうしたイメージがその芯から悪化し、劣化し始めた。それ以上に重要なのは、これらのシステムが依って立つ原則を信じてきた西側の市民そのものなかで、このイメージが悪化を始めたということだ。彼らは今日、その原則の実態が嘘、偽善、欺瞞であることに気づいた。世界の他の国民よりも前に自国民への嘘であることにだ。だから、米国の大学、さらにはフランス、ドイツでの大学、さらにはイスラエルを非難し、ガザに寄り添うあらゆるデモに対してかつて見たこともない野蛮な抑圧が行われるのを目にした時、第1の標的は必ずしもイス

ラエルだけである必要はない。たとえ、それが西洋の継娘だとしてもだ。実際、我々が目にしているこの前例のない残忍な弾圧は、西側システム全体のパニック状態を表しているのだ。西側システムは1960年代末から1970年代初めにかけて同じような状態を経験し、そこでは反乱が発生した。それは社会的発展と関係する側面もあれば、ベトナム戦争と関係する側面もあった。当時の若者世代が西側に存在する政治システムへの蔑視と嫌悪をもって見ていたこととも関係する側面もあった。大学では、弾圧、殺戮もあった。だが、西側は当時から50年にわたって、自国の国民、とりわけ若者を飼いならすことができたと考えていた。その飼いならしの最たるものが、我々が目にした通り、コロナ期だった。

今起きているのは、このシステムに対する民衆の反乱が起きるかもしれないと考えることがもたらすパニックと恐怖の状態だ。一方、我々の地域においては、ガザに対する戦争が、これらのシステムの多くの真実を暴露した。本当の姿勢とうわべの姿勢が峻別され、誠実な者と偽善者が区別された。パレスチナ問題への姿勢は、こうした姿勢を評価する根拠となった。パレスチナ問題への姿勢とは今日、人々、あるいは諸国家を高揚させ、その王座さえも揺るがすものだ。我々が今日目にしているもっとも重要なモデルは、トルコのそれだ。エルドアンは自国民に対して賢く振る舞おうと躍起だ。しかし、賢い人間であれば、民衆の集団的智の方が、実際には一個人の賢さよりも強力だという簡単な真実を知らねばならない。それが人間の本質だ。にもかかわらず、私は、彼がトルコ国民を欺きつつ、イスラエルを口先では攻撃し、手では支援することができると考えている。しかし、トルコ国民は、選挙で彼に大きな教訓を与えた。その教訓の内容とは、国や党の姿勢の強さというものが、民衆の姿勢と合致することのなかにあるということだ。それは多くの国においてほとんど見るできない。一方、国家や当局者における原則の欠如、あるいは政府の偽善や欺きについて言うと、エルドアンは今日、この点における非常に重要なモデルを提示している。我々が目にしている通り、トルコでは今、イスラエルとの断交が話題となっているが、我々はなぜエルドアンが何か月前にそれをしようとしなかったのかが分からない。つまり、ガザで虐殺が行われたということ为先月になって耳にしたということか。私は、時を逸していると考えている。事実は厳然たるものとなり、暴露されている。

とりわけ、シリアにいる我々にとってもっとも重要なこととしては、シリアとは関わりのないより一般的な状態もある。ガザに対する戦争は、我々のアラブ世界、そしてシリアにおいて、西側の模倣を擁護する者たちのありようを暴露した。自由と民主主義を備えているという西側、偉大なる価値観、文明、人道を備えた西側。外国に対して人間が抱くであろう最大の劣等感を心に抱えているこれらの者たち。我々は彼らがガザに対する戦争への西側の姿勢、イスラエルを政治的に支援する西側の姿勢、この戦争に西側の軍・治安部隊が直接参加していること、イスラエルに武器を供与していることについて話したり、理論化したりするのを耳にしたことがない。いかなる言葉も、声明も、コメントも耳にしたことがない。すべてが法の権限のもと、憲法と法律に合致しているとして、米国の大学生への弾圧などを行う民主主義がどのようなものかについて耳にすることもない。セム主義という概念の拡大をめぐる米国議会で今提示されていること、そして彼らが想定しているように、国家としてのイスラエルへの批判を禁止し、ホロコーストなどについて話すことがセム主義に抵触するとの主張についての議論を

何ら耳にすることはしない。

我々は、裏切り者たちがイスラエルの責任を問う法律の制定を求めて議場に群がる様子を見にすることはしない。彼らはシリア制裁法を制定するために群れをなしたにもかかわらずだ。我々には何ら問題はない。我々は議会においてシリア制裁法があることを受け入れよう。だが、イスラエル制裁法と並行して行動して欲しい。もちろん、こうした発言は創造と夢に過ぎない。革命家のことを間違っ「革命の牛」と呼んだ者たちの発言を耳にすることはしない。彼らがガザの住民のために1発でもロケット弾を発射したということを目にしたことはない。彼らを支援する声明や横断幕を掲げたデモを目にしたこともない。我々、諸君、そしてすべてのシリア人にとって周知のことだ。だが、今起きているすべてのことは、シリアに対する戦争が始まった当初から、これまで述べてきたことすべてを裏づけている。この問題は、買弁と裏切りの問題なのだ。

しかしガザが示したもっとも重要な教訓は、パレスチナとイエメンの教訓だ。両者はアラブ人全般に、そしてとくにシリア人に多くの教訓を与えた。なぜとりわけシリア人なのか。なぜなら、戦争を貫く原理、すなわち我々がこの三カ国において目にしている殺戮、テロ、封鎖、破壊、そしてそのほかの苦難が似ているからだ。だが、パレスチナの状況がシリアとは比べ得ないということを知っていた。また、イエメンの状況も然りだ。パレスチナとイエメンの状況は、我々の状況よりあらゆる意味で数段困難なものだ。にもかかわらず、ガザにおいて教訓が示されたのだ。尊厳、寛大さ、意志、愛国心。こうしたものだけでは、可能性はないが、それがイエメンとガザを変えたのだ。つまり、我々がパレスチナ全般について言及するのであれば、それは単なる域内の力ではなく、経済、軍事、政治といった面に作用する真の世界的な力であり、それが実現し得たのは、買弁思想が蔓延せず、敗北の思想が蔓延していなかったからだ。

犯罪者政体に対する我々の愛国的姿勢は繰り返すまでもない。我々の姿勢はパレスチナ問題が発生したときから確固たるものだ。一瞬たりとも、そしていかなる状況においても揺らいだことはない。この戦争のことを話しているのではない。1948年以降のパレスチナ問題について話しているのだ。シリアが身を置いてきたあらゆる状況、クーデタ期、安定期などにおいて、シリアの首脳は、パレスチナ問題において譲歩することなどなかった。我々も今日、譲歩はしていない。なぜなら、この問題の本質は変わらないからだ。なぜなら、敵そのものも変わらないからだ。唯一変化しているのは、出来事の外見だけだ。虐殺は、シオニスト政体が拡大しようと縮小しようと、単に一時的な振る舞いではない。その盛衰は関係がない。西側諸国のシオニズムへの盲目的な傾倒は今に始まったことではない。一方、パレスチナ問題やその他の問題に対するアラブ側の無策も驚くべきことではない。今日異なっているのは、一方で SNS によって、他方で言うまでもなく、より重要なこととしてパレスチナ人民の神話的な抵抗によって、問題の諸要素が暴露されたことだ。この抵抗は、我々の地域において、西側とその手下を混乱させ、疲弊させている。そして、それ以前の話として、シオニスト政体は、あらゆる力、生活を奪われ、長さ 40 キロ、幅数キロの地域に押し込められ、包囲を受けている 200 万人を打ち負かす能力を持ち合わせていない。西側とシオニストの同盟に似た同盟を第二次大戦以降我々は目にしたことはない。

状況が変わらず、パレスチナ人、シリア人ともに権利を回復できない限り、我々の姿勢をわずかでも変え得るものはない。パレスチナ人、あるいはシオニスト政体へのあらゆる抵抗者に対して、我々は提供し得るものすべてを躊躇せずに行うつもりだ。抵抗に対する我々の姿勢と、概念、あるいは実践としての抵抗に関する我々の位置づけは変わらない。むしろ、逆にそれはより確固たるものとなっている。なぜなら、自身で決断しない者には将来の希望がないことを一連の出来事は立証したからだ。力を持たない者はこの世界において価値がない。祖国を防衛するために抵抗しない者は、そもそも祖国に値しない。服従は安心、力、そして時に存在についての誤った感覚を与える。だが、役割は次第に失われ、求められている任務も終わる。その時、人、国家、祖国は捨てられる。祖国の放棄とは、その破壊と消滅を意味するのだ。

同志男女諸君、あなた方の健勝とあなた方の社会の成功を願っている。この会合が党、そして祖国の身に乗りにおける真の転換点になることを願っている。

B・アサドの指導演説に続いて、高等選挙委員会議長のハリール・マシュハディーヤが会合議長に、マーヒアレppo大学学長のマーヒル・カルマーン(Māhir Kamān)とダマスカス大学農業国学部学部長のアフラー・サッルーム(‘Afīrā’ Sallūm)が議事に選出された。そして、中央指導部決定第 379 号に従って議事が提案され、会場において中央委員会選挙の投票が実施された(Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024)。

4. 閉会会合

投票終了後、閉会会合が開かれ、まずは B・アサドが書記長に再任された。続いて、以下 5 人が監査委員会が任命された(Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024)。

監査委員会

- アブドゥラザク・ジャースィム(‘Abd al-Razzāq al-Jāsīm)
- ラーマー・アズィーズ(Rāmā ‘Azīz)
- アブドゥルアハド・サファル(‘Abd al-Aḥad Safār)
- スライヤー・ムスリマーニーヤ(Thurayyā Muslimānīya)
- マーズィン・トゥフアーハ(Māzin Tuffāḥa)

続いて、中央委員会選挙の当選者が 80 人が発表された。支部ごとの当選者は以下の通りである(Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024)。

ダマスカス支部

- ムハンマド・イZZAT・アラビー・カーティビー(Muḥammad ‘Izzat ‘Arabī Kātībī)
- マーズィン・ナーシル・トゥフアーハ(Māzin Nāsīr Tuffāḥa)
- バッサーム・アフマド・アブー・アブドゥララー(Bissām Aḥmad Abū ‘Abd Allāh)
- ファーディー・マーリク・アフマド(Fādī Mālik Aḥmad)

➤ ニダール・ムハンナー (Niḍāl Muḥannā)

ダマスカス郊外支部

- ヒクマト・アズブ (Ḥikmat al-ʿAzb)
- ムジャーヒド・イスマーイール (Mujāhid Ismāʿīl)
- フサイン・ディヤーブ (Ḥusayn Diyāb)
- アブドゥウツラフマーン・ハティーフ (ʿAbd al-Raḥmān al-Khaṭīb)
- アフマド・フマーム・ハイダル (Aḥmad Ḥumām Ḥaydar)
- ジャマール・カーディリー (Jamāl al-Qādrī)
- ラドワーン・ムスタファー (Raḍwān Muṣṭafā)

ダルアー支部

- ハーリド・ムーサー・カナート (Khālīd Mūsā Qanāt)
- アブドゥンナーシル・アフマド・ハリリー (ʿAbd al-Nāṣir Aḥmad al-Ḥarīrī)
- ルダイナ・イリヤース・アーザル (Rudaynā Ilyās al-ʿĀzar)
- フサイン・サーリフ・リファーイー (Ḥusayn Šāliḥ al-Rifāʿī)

スワイダー支部

- サフワーン・スライマーン・アブー・サアダー (Šafwān Sulaymān Abū Saʿdā)
- ハサン・アブドゥウツラー・アトラシュ (Ḥasan ʿAbd Allāh al-Aṭraṣh)
- ムハンマド・ファーディル・アブー・アサリー (Waḥīd Faḍīl Abū ʿAsālī)
- アンワル・トゥルキー・ハサニーヤ (Anwar Turkī al-Ḥasanīya)³²
- サクル・ハリーム・ガドバーン (Šaqr Ḥalīm al-Ghaḍbān)

クナイトラ支部

- ワヒード・マフムード・ザアル (Waḥīd Maḥmūd al-Zaʿl)
- ハーリド・ワリド・アバーザ (Khālīd Waḥīd Abāza)
- ガッサーン・ウマル・ハラフ (Ghassān ʿUmar Khalaf)

ヒムス支部

- イヤード・ナスル・ザフルール (Iyād Naṣr Zaḥrūr)
- アフド・ザーヒル・スツカリー (ʿAhd Zāhir al-Sukkaṭī)
- ウマイマ・スライマーン・フドゥール (Umayma Sulaymān Khuḍūr)
- フサーム・ムハンマド・アウダ (Ḥusām Muḥammad ʿAwda)
- ライーフ・アリー (Raʿīf ʿAlī)

³² Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024 には「ハサニーヤ」ではなく、「フサイニーヤ」(al-Ḥusayniya)と記載(誤記)されていた。

➤ ラムスィー・イブラーヒーム・ドウユーブ (Lamsī Ibrāhīm Duyūb)

➤ ナディーム・アズィーズ・アリー (Nadīm ‘Azīz ‘Alī)

ハマー支部

➤ アフマド・イブラーヒーム・ハリール (Aḥmad Ibrāhīm Khalīl)

➤ アイマン・ムハンマド・マランディー (Ayman Muḥammad Malandī)

➤ ファーディル・ムハンマド・ワルダ (Fāḍil Muḥammad Warda)

➤ アブドウルハリーム・アワド・ハリール (‘Abd al-Ḥalīm ‘Awaḍ Khalīl)

➤ アブドウルハミード・アフマド・アムーリー (‘Abd al-Ḥamīd Aḥmad al-‘Amūrī)

➤ アイマン・アブドウンナーシル・アリー・ダツカーク (Ayman ‘Abd al-Nāṣir ‘Alī al-Daqqāq)

➤ ムハンマド・アシュラフ・イツザト・バーシューリー (Muḥammad Ashraf ‘Izzat Bāshūrī)

タルトウス支部

➤ バースィル・サルマーン・イーサー (Bāsil Salmān ‘Īsā)

➤ ラーミー・ムハンマド・サーリフ (Rāmī Muḥammad Ṣāliḥ)

➤ バヤーン・ガーニム・ウスマーン (Bayān Ghānim ‘Uṣmān)

➤ ナスリーン・ハルブ・バドル (Nasrīn Ḥarb Badr)

➤ サミール・バフジャト・フドル (Samīr Bahj Khudr)

➤ ユーヌス・イブラーヒーム・ハムドゥーシュ (Yūnus Ibrāhīm Ḥamdūsh)

➤ ウサーマ・ムハンナー・マウイー (Usāma Muḥannā al-Maw‘ī)

➤ ハッサーン・ユースフ・ナーウース (Ḥassān Yūsuf Nā‘us)

ラタキア支部

➤ バースィム・スライマーン・スーダーン (Bāsim Sulaymān Sūdān)

➤ アイハム・ナジュダト・ジュライクース (Ayham Najdat Juraykūs)

➤ スーリーン・アリー・マルタクーシュ (Sūlīn ‘Alī Martakūsh)

➤ タハーニー・ヤフヤー・シャリーハ (Tahānī Yahyā Shalīḥa)

➤ ラフィーク・サーリフ・ナウファル (Rafīq Ṣāliḥ Nawfāl)

➤ ハイサム・イブラーヒーム・イスマーイール (Haytham Ibrāhīm Ismā‘īl)

➤ ムハンマド・アブドウルカーディル・ムスタファー・シュライティフ (Muḥammad ‘Abd al-Qādir Muṣṭafā Shurayṭih)

イドリブ支部

➤ アブドゥラツザーク・アフマド・ハリーフア (‘Abd al-Razzāq Aḥmad Khalīfā)

➤ アフマド・ムハンマド・ファラジュ (Aḥmad Muḥammad al-Faraj)

➤ アフマド・ジャースィム・ナツジャール (Aḥmad Jāsīm al-Najjār)

アレppo支部

- ファーディル・ムスタファー・ナツジャール (Fādīl Muṣṭafā Najjār)
- ウマル・アフマド・アールーブ (‘Umar Aḥmad al-‘Ārūb)
- アフマド・サーリフ・イブラーヒーム (Aḥmad Ṣāliḥ Ibrāhīm)
- シャムスッディーン・ハラフ・シャツダード (Shams al-Dīn Khalaf al-Shaddād)
- アブドウルムンイム・ハリール・サウワー (‘Abd al-Mun‘im Khalīl al-Ṣawwā)
- サーリフ・アフマド・ハディード (Ṣāliḥ Aḥmad al-Ḥadīd)

ラッカ支部

- アブドゥラツザーク・ジャーシム・ジャーシム (‘Abd al-Razzāq Jāsīm al-Jāsīm)
- アフマド・マタル・ハミーディー (Aḥmad Maṭar al-Ḥumaydī)
- ハーズィム・ハリール・アブドウルガニー (Ḥāzīm Khalīl ‘Abd al-Ghanī)

ダイル・ザウル支部

- バッシュャール・スパイフ・ムトラク (Bashshār Ṣubayḥ al-Muṭlaq)
- ターハー・ハマーディー・ハリーフア (Tahā Ḥamadī al-Khalīfa)
- マアン・スブヒー・アブブード (Ma‘an Ṣubḥī ‘Abbūd)

ハサカ支部

- トウルキー・アズィーズ・ハサン (Turkī ‘Azīz Ḥasan)
- ジャーズィーヤ・アブドゥッシャイフ・アリー (Jazīya ‘Abd al-Shaykh ‘Alī)
- ムハンマド・ムハンマド・サイド・ハラフ (Muḥammad Muḥammad Sa‘īd Khalaf)
- ハーリド・ハンムード・ハマーダ (Khālīd Ḥammūd al-Ḥamāda)

ダマスカス大学支部

- マフムード・ザンブーア (Maḥmūd Zanbū‘a)
- ワッダーフ・ナウファル (Waḍḍāḥ Nawfal)

アレppo大学支部

- イブラーヒーム・ムハンマド・ハディード (Ibrāhīm Muḥammad al-Ḥadīd)
- ナビーラ・サーミー・ラズズーク (Nabīla Sāmī al-Razzūq)

ティシュリーン大学支部

- ルアイ・ムハンマド・サユーフ (Lu‘ay Muḥammad Ṣayūḥ)
- ミールナー・アフマド・ダッラーラ (Mīmā Aḥmad Dallāla)

バアス大学支部

- ファーイク・ファフド・シュツドゥード (Fā‘iq Fahd Shuddūd)
- ムハンナド・アブドゥラツザーク・アイユーブ (Muḥannad ‘Abd al-Razzāq Ayyūb)

これと併せて、B・アサドが使命したメンバー45人も発表された。その氏名は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024)。

書記長指名

- ハンムード・サツバーク (Ḥammūda al-Ṣabbāgh)
- フサイン・アルヌース (Ḥusayn ‘Amūs)
- アリー・アッバース (‘Alī ‘Abbās)
- マーヒル・アサド (Māhir al-Asad)
- ハイサム・サターイヒー (Haytham Saṭāyihī)
- ファイサル・ミクダード (Faysal al-Miqdād)
- バッサーム・サツバーク (Bassām Ṣabbāgh)
- カイス・フドル (Qays Khuḍr)
- マーラール・サルキース (Mārāl Sarkīs)
- アリー・アイユーブ (‘Alī Ayyūb)
- ジュマーナ・ヌーリー (Jumāna al-Nūrī)
- ズィヤード・グスン (Ziyād Ghusn)
- アリー・アブドゥルカリーム・アリー (‘Alī ‘Abd al-Karīm ‘Alī)
- サッターム・ダンダフ (Saṭṭām al-Dandah)
- スーマル・サーリフ (Sūmar al-Ṣāliḥ)
- ラーマー・アズィーズ (Rāmā ‘Azīz)
- ヒヤーム・ビシャーラ (Hiyām Bishāra)
- マーヒル・サイフー (Māhir Sayfū)
- ザカリヤー・ナスィル (Zakariyā al-Nāṣir)
- ニザール・サッディクニー (Nizār Ṣaddiqnī)
- ハサン・アフマド (Ḥasan al-Aḥmad)
- ムハンマド・アリー・ムバイイド (Muḥammad ‘Alī Mubayyid)
- ファーティマ・サーリフ (Fāṭima al-Ṣāliḥ)
- ムスタファー・アッブード (Muṣṭafā al-‘Abbūd)
- ヌール・ハミーディー (Nūr al-Ḥamīdī)
- アブドゥルカリーム・ムスタファー (‘Abd al-Karīm Muṣṭafā)
- アービド・ファドリヤー (‘Ābid Faḍliya)
- ムハンマド・ジャラーリー (Muḥammad al-Jalālī)
- ウサーマ・ハンムード (Usāma al-Ḥammūd)
- カースィム・シャーグーリー (Qāsīm al-Shāghūrī)
- アムジャド・アジュラーニー (Amjad al-‘Ajlānī)

- アドナーン・スライマーン (‘Adnān Sulaymān)
- ルワイダ・アブー・サムラ (Ruwayda Abū Samra)
- アフラー・サッルーム (‘Afrā’ Sallūm)
- ムハンマド・カシュトー (Muḥammad Kashtū)
- スブヒーヤ・ジュムア (Ṣubḥīya Jum‘a)
- ハーニー・バルフーム (Hānī Barhūm)
- サーリム・ヌールッディーン・ダーギスターニー (Sālim Nūr al-Dīn Dāghistānī)
- フィクトゥーリヤー・イブラーヒーム (Fiktūriyā Ibrāhīm)
- アブドゥウツラティーフ・ウムラーン (‘Abd al-Laṭīf ‘Umrān)
- ムラード・シュワイキー (Murād Shuwaykī)
- シーリーン・ユースフ (Shīrīn al-Yūsuf)
- ファーリス・カルタリー (Fāris Kartalī)
- ニザール・スユーフイー (Nizār Suyūfī)
- マアン・ダフマー (Ma‘n Dahmā)

そして、中央委員会メンバー125人によって同委員会書記長の選挙が行われ、ハイサム・サターイヒー (Haytham Saṭāyihī) が選出された。最後に出席者一同がハバース党歌を斉唱、これをもってすべての議事を終了し、第3回中央委員会拡大大会合は閉会した。

V. 中央指導部の選出、分掌の決定

1. 中央指導部の選出

新たに選出された中央委員会メンバー125人は、第3回中央委員会拡大大会の開催日と同じ2024年5月4日、サターヒー書記長を議長として初会合を開催し、そこで中央指導部のメンバー14人を選出した(Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 4, 2024)。

- イZZAT・アラビー・カーティビー(‘Izzat ‘Arabī Kātībī)
- サフワーン・アブー・サアダー(Şafwān Abū Sa‘dā)
- マフムード・ザンブーア(Maḥmūd Zanbū‘a)
- イブラーヒーム・ハディード(Ibrāhīm Ḥadīd)
- ファーディル・ナツジャーラ(Fāḍil Najjār)
- アイマン・ダツカーク(Ayman al-Daqqāq)
- ターハー・ハリーフア(Ṭahā Khalīfā)
- サミール・フドル(Samīr Khuḍr)
- ファーディル・ワルダ(Fāḍil Warda)
- ヤースィル・シャーヒーーン(Yāsīr Shāhīn)
- ジュマーナ・ヌーリー(Jumāna al-Nūrī)
- ハンムーダ・サツバーク(Ḥammūda al-Şabbāgh)
- フサイン・アルヌース(Ḥusayn ‘Amūs)
- アリー・マフムード・アツバース(‘Alī Maḥmūd ‘Abbās)

2. 中央指導部メンバーの分掌

2024年5月8日、新たに選出された中央指導部は、B・アサドを議長として初会合を開き、以下の通り各メンバーの分掌を決定した(Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 8, 2024)。

- 書記長、大統領: バッシヤール・アサド(Bashshār al-Asad)
- 副書記長: イブラーヒーム・ハディード(Ibrāhīm Ḥadīd)
- 人民議会議長: ハンムーダ・ユースフ・サツバーク(Ḥammūda Yūsuf al-Şabbāgh)
- 首相(閣僚評議会議長): フサイン・アルヌース(Ḥusayn ‘Amūs)
- 国防大臣: アリー・マフムード・アツバース(‘Alī Maḥmūd ‘Abbās)
- 組織局長: ファーディル・ナツジャーラ(Fāḍil Najjār)
- 職能組合局長: サフワーン・アブー・サアダー(Şafwān Abū Sa‘dā)
- 経済局長: マフムード・ザンブーア(Maḥmūd Zanbū‘a)

- 教育前衛局長:ムハンマド・イZZアト・アラビー・カーティビー (Muḥammad ‘Izzat ‘Arab Kātībī)
- 高等教育局長:ターハー・ハマディー・ハリーフア (Ṭahā Ḥamādī al-Khalīfa)
- 教化文化広報局長:サミール・バフジャト・フドル (Samīr Bahjat Khuḍr)
- 青年局長:ファーディル・ムハンマド・ファーディル・ワルダ (Fāḍil Muḥammad Warda)
- 労働者局長:ヤースイル・ムハンナー・シャーヒーンヤースイル・シャーヒーン (Yāsir Muḥannā Shāhīn)
- 農民局長:アイマン・ダツカーク (Ayman al-Daqqāq)
- 人民機構局長:ジュマーナ・ヌーリー (Jumāna al-Nūrī)

第 I 章の図 1 にある教育局、法務局、財務局、スポーツ青年局、前衛局の分掌は定められなかった(あるいはこれらの部局そのものが解体されていた)。

3. 中央指導部メンバーの経歴

中央指導部メンバー(B・アサドを除く)の経歴は以下の通りである (Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024)。

◇ イブラーヒーム・ムハンマド・ハディード (Ibrāhīm Muḥammad al-Ḥadīd)




 حزب البعث العربي الاشتراكي
 القلعة البوذية
 ARAB BAAṬH SOCIALIST PARTY
 PARTY LEADERSHIP - SYRIA

الرفيق إبراهيم محمد الحديّد 

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

مواليد حمص 1956

الشهادة العلمية 

- 1980 - إجازة في الطب - جامعة حلب
- 1985 - اختصاص الجراحة البولية - كلية الطب - مستشفى حلب الجامعي
- 1986 - إيفاد إلى المملكة المتحدة (بريطانيا)
- 1989 - دبلوم اختصاص الجراحة البولية - جامعة لندن
- 1993 - شهادة الزمالة للكلية الملكية البريطانية FRCS

المهام السابقة 

- 2002-1999 - رئيس شعبة الإسعاف والجراحة البولية
- 2018-2002 - مدير عام مستشفى الكندي
- 2018-2012 - مدير عام مستشفى حلب الجامعي
- 2017-2013 - عميد كلية الطب - جامعة حلب
- 2018 - حتى تاريخه - أمين فرع الحزب في جامعة حلب

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

- 1956 年ヒムス県生まれ

【学歴・職歴】

- 1980年:ダマスカス大学:医学士
- 1985年:アレッポ大学病院、アレッポ大学医学部:泌尿器外科専攻
- 1986年: 英国に医師として派遣
- 1989年:ロンドン大学:泌尿器外科学修了認定
- 1993年:英国外科医師会(FRCS)メンバー認定

【経歴】

- 1999年～2002年:泌尿器外科支局、緊急医療支局、両会長
- 2002年～2008年:クンディー病院院長
- 2012年～2018年:アレッポ大学病院院長
- 2013年～2017年:アレッポ大学医学部学部長
- 2018年～現在:バース党アレッポ大学支部指導部事務局長

◇ハンムーダ・ユースフ・サッバーク(Ḥammūda Yūsuf Ṣabbāḡh)



الرفيق حمودة يوسف صباغ رئيس مجلس الشعب

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي
مواليد الحسكة 1959

الشهادة العلمية
 إجازة في الحقوق من جامعة دمشق.

المهام السابقة

2005	عضو المؤتمر القطري العاشر للحزب
2005 - حتى تاريخه	عضو اللجنة المركزية للحزب
2007 - حتى تاريخه	عضو مجلس الشعب
2017 - حتى تاريخه	عضو القيادة المركزية لحزب البعث
2013-2017	عضو قيادة شعبة الحزب في مجلس الشعب
2018 - حتى تاريخه	رئيساً لمجلس الشعب

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 人民議会議長

- 1959年ハサカ県生まれ

【学歴・職歴】

➤ ダマスカス大学:法学士

【経歴】

- 2005 年:バアス党第 10 回地域指導部大会メンバー
- 2005 年～:バアス党中央委員会メンバー
- 2007 年～:人民議会議員
- 2017 年～:バアス党中央指導部メンバー
- 2013 年～2017 年:人民議会支局指導部メンバー
- 2018 年～現在:人民議会議長

◇フサイン・アルヌース(Husayn ‘Arnūs)

الرئيس **حسين عرنوس رئيس مجلس الوزراء**

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

مواليد 1953 عام إدلب

الشهادة العلمية

إجازة في كلية الهندسة المدنية في جامعة حلب عام 1978

المهام السابقة

1994-1989	رئيس فرع نقابة المهندسين بإدلب
2002-1992	مدير الشركة العامة للطرق
2004-2002	معاون وزير المواصلات
2009-2004	مدير عام المؤسسة العامة للمواصلات الطرقيّة
2011-2009	محافظاً لحدير الزور
2013-2011	محافظاً للقنيطرة
2016-2013	وزيراً للأشغال العامة
2018-2016	وزيراً للأشغال العامة والإسكان
2013-حتى تاريخه	عضواً في القيادة المركزية للحزب
2018	وزيراً للموارد المائية

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所)Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

- 首相(閣僚評議会議長)
- 1953 年イドリブ県生まれ

【学歴・職歴】

➤ 1978 年:アレppo大学:土木工学士

【経歴】

- 1989年～1994年:技術者組合イドリブ支部局長
- 1992年～2002年:道路公社局長
- 2002年～2004年:運輸大臣補佐官
- 2004年～2009年:道路交通公社局長
- 2009年～2011年:イドリブ県知事
- 2011年～2013年:クナイトラ県知事
- 2013年～2016年:公共事業大臣
- 2016年～2018年:公共事業住宅大臣
- 2013年～:バアス党中央指導部メンバー
- 2018年～:首相

✧アリー・マフムード・アツバース(‘Alī Maḥmūd ‘Abbās)



الرئيس: الرفيق العماد علي محمود عباس وزير الدفاع
 عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي
 مواليد ريف دمشق 1964

الشهادة العلمية والدورات

- الكلية الحربية بتاريخ 1983 اختص مدرعات.
- تخرج برتبة ملازم بتاريخ 1985.
- تدرج بالرتب حتى رتبة عماد بتاريخ 2022
- اتبع العديد من الدورات الأساسية والاطلاعية داخل القطر وخارجه أهمها:
 - دورة قيادة وأركان في جمهورية باكستان عام 1997م.
 - دورة دفاع وطني في بريطانيا - الكلية الملكية لدراسات الدفاع 2000 - 2001 م.
 - دورة إدارة أزمات دولية في السويد في الكلية الملكية السويدية 2003 م.
 - دورة في توجيه دفاع الدولة في هولندا في الكلية الملكية 2004 م.
 - دورة في إصلاح القطاع الأمني في الدول الخارجة من الصراعات في بريطانيا 2006م.

المهام السابقة

- شغل العديد من الوظائف القيادية كان آخرها
- نائباً لرئيس هيئة الأركان العامة بتاريخ 18/3/2021 م.

الأوسمة

- وسام الشجاعة من الدرجة الممتازة.
- وسام الإخلاص من الدرجة الممتازة.
- عدة أوسمة تحريپ قتالي من مختلف الدرجات.

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所)Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

- 国防大臣
- 1964年ダマスカス郊外県生まれ

【学歴・職歴】

- 1983年:シリア軍事士官学校(機甲科専攻)

- 1985 年:シリア軍事士官学校卒業(少尉)
- 2022 年:シリア国防大学国家防衛研究所修了
- 地域内、地域外の数々の場所で基礎的かつ学術的な役職を歴任
- 1997 年:パキスタン共和国司令官参謀局
- 2000 年~2001 年:イギリス王立防衛大学:国家防衛部
- 2003 年:スウェーデン王立大学:国家危機管理部門
- 2004 年:オランダ王立大学:国防指揮部門
- 2006 年:紛争外国家における安全保障部門刷新部門

【経歴】

- その他さまざまな司令官級の職務を歴任
- 2021 年 3 月 18 日:軍武装部隊総司令部副参謀長

◇ **ファーディル・ムスタファー・ナツジャー** (Fāḍil Muṣṭafā Najjār)

الرفيق فاضل مصطفى نجار

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

مواليد حلب 1963

الشهادة العلمية

- اجازة في الحقوق - جامعة حلب

المهام السابقة

- أستاذ محام
- قاض اعتباراً من العام 1995
- أمين فرقة القضاة بحلب
- 2004-2003 - عضو قيادة شعبة الموظفين
- 2005-2004 - امين شعبة الموظفين بحلب
- 2016-2005 - عضو لجنة الرقابة والتفتيش الحزبية
- 2016 - المحامي العام الأول بحلب
- 2020-2016 - أمين فرع حلب للحزب
- 2020 - حثب تاريخه - محافظ دير الزور
- 2017 - حثب تاريخه - عضو اللجنة المركزية للحزب

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

- 1963 年アレッポ県生まれ

【学歴・職歴】

- アレッポ大学:法学士

【経歴】

- 弁護士、大学教授
- 1995年～:学識担当判事、弁護士組合アレッポ支部長
- 2003年～2004年:バアス党アレッポ支部就労者支局指導部メンバー
- 2004年～2005年:バアス党アレッポ支部就労者支局指導部書記長
- 2005年～2016年:バアス党監査委員会メンバー
- 2016年:アレッポ県主席弁護士
- 2016年～2020年:バアス党アレッポ支部指導部書記長
- 2020年～:ダイル・ザウル県知事
- 2017年～:中央指導部メンバー

◇ サフワーン・アブー・サウダー (Şafwān Abū Sa'dā)




حزب البعث العربي الاشتراكي
 القيادة المركزية
 ALBAATH SOCIALIST PARTY
 PARTY LEADERSHIP - SYRIA

الرفيق صفوان أبو سعدي 
 عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي
 مواليد السويداء عام 1972

الشهادة العلمية 
 - اجازة في الحقوق - جامعة دمشق -

المهام السابقة 

2010-2003
 - رئيس مجلس مدينة السويداء
 - محافظا لمحافظة إدلب
 - محافظا لمحافظة طرطوس
 - محافظا لمحافظة ريف دمشق

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

- 1972年スワイダー県生まれ

【学歴・職歴】

- ダマスкас大学:法学学士

【経歴】

- 2003年～2010年:スワイダー市議会議長、イドリブ県知事、タルトゥース県知事、ダマスкас郊外県知事

◇ マフムード・カースィム・ザンブーア (Maḥmūd Qāsim Zanbū‘a)



الرفيق محمود قاسم زنبوعه

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

مواليد درعا 1956

الشهادة العلمية

- بكالوريوس اقتصاد من جامعة دمشق 1981
- دكتوراه في الاقتصاد من أكاديمية العلوم السوفيتية 1991

المهام السابقة

- أستاذ في جامعة دمشق
- رئيس قسم الاقتصاد في جامعة دمشق
- رئيس مجلس إدارات (السورية للطيران - الطيران المدني السورية العراقية لنقل البري - مؤسسة البريد - مؤسسة الصناعات الغذائية)
- عضو المؤتمر القطري العاشر
- معاون لوزير النقل 2002 - 2013
- رئيس للمجلس الاستشاري في رئاسة مجلس الوزراء 2018 - 2022
- محافظا لمحافظة حماة حتى تاريخه

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1956 年ダルアー県生まれ

【学歴・職歴】

- 1981 年: ダマスкас大学: 経済学士
- 1991 年: ソビエト科学アカデミー: 経済学博士

【経歴】

- ダマスкас大学教授、ダマスкас大学経済学部長、(シリア航空、民間航空、民間航空部門会長、シリア・イラク陸上輸送、郵便機構、食料品生産機構)の各運営委員会会長、第 10 回地域指導部大会メンバー
- 2002 年～2013 年: 運輸大臣補佐
- 2018 年～2022 年: 内閣府諮問委員会会長
- ハマー県知事

◇ イZZat・アラビー・カーティビー (‘Izzat ‘Arabī Kātībī)




حزب البعث العربي الاشتراكي
 القيادة المركزية
 ARAB BAATH SOCIALIST PARTY
 PARTY LEADERSHIP - SYRIA

الرفيق د. عزت عربي كاتيبي

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي
 مواليد دمشق 1968

الشهادة العلمية

- دكتوراه في علم النفس - جامعة دمشق
 - إجازة في التربية وأستاذ في جامعة دمشق

المهام السابقة

2009 - حتى تاريخه	- رئيس منظمة طلائع البعث
2009 - 2005	- عضو لجنة الرقابة والتفتيش الحزبي
	- عضو المؤتمر القطري العاشر للحزب
2005 - 2000	- عضو قيادة فرع جامعة دمشق للحزب
حتى تاريخه.	- عضو مجلس الشعب ثلاثة أحوار (الدور التشريعي الأول والثاني والثالث)

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1968 年ダマスкас県生まれ

【学歴・職歴】

- ダマスкас大学: 心理学博士
- 教育学修了、ダマスкас大学教授

【経歴】

- 2009 年～現在: バアス前衛機構会長
- 2005 年～2009 年: バアス党監査委員会メンバー、第 10 回地域指導部大会メンバー
- 2000 年～2005 年: バアス党ダマスкас支部指導部メンバー
- 現職: 人民議会議員 (第 1～3 期)

☆ターハール・ハリーフア(Tāhā al-Khalifa)



الرفيق د. طه الخليفة 

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

■ **مواليد** دير الزور 1958

الشهادة العلمية 

- إجازة في العلوم الزراعية - كلية الزراعة الثانية - جامعة حلب
- دكتوراه في العلوم الزراعية- اختصاص محاصيل حقلية
- من المعهد العالي لزراعة وتربية النبات في الاتحاد السوفيتي

المهام السابقة 

- رئيس جامعة الفرات
- عضو مجلس الشعب للدور التشريعي الثاني والثالث
- عضو المؤتمر القطري العاشر للحزب
- أمين فرع الحزب في دير الزور 2008 - 2012

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所)Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1958 年ダイル・ザウル県生まれ

【学歴・職歴】

➤ アレッポ大学第二農学部:農学士

➤ ソビエト連邦国立高等農業研究所:農学博士(作物生産専攻)

【経歴】

➤ ユーフラテス大学学長

➤ 第2期および第3期立法会議メンバー

➤ 第10回バース党地域指導部大会メンバー

➤ 2008年～2012年:バース党ダイル・ザウル支部指導部書記長

◇ サミール・バフジャト・フドウル (Samir Bahjat Khudr)






الرفيق سمير بهجت خضر 
 عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي
 مواليد طرطوس 1964

الشهادة العلمية 
 - إجازة في الهندسة الكهربائية - جامعة تشرين

المهام السابقة 

- مدير الرقابة الداخلية في مجلس مدينة طرطوس
- عضو مجلس محافظة طرطوس
- عضو المكتب التنفيذي لفرقة زراعة طرطوس
- رئيس نادي الساحل الرياضي
- أمين شعبة 2012 - 2018
- عضو قيادة فرع طرطوس للحزب

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1964 年タルトゥース県生まれ

【学歴・職歴】

➤ ティッシュリーン大学: 電気工学学士

【経歴】

➤ タルトゥース市議会内部監査部門長

➤ タルトゥース県議会議員

➤ タルトゥース農業会議所執行委員会事務局長

➤ サーヒル・スポーツ・クラブ会長

➤ 2012 年～2018 年: 党内の支局指導部書記長

➤ バアス党タルトゥース支部指導部メンバー

◇ ファーディル・ムハンマド・ワルダ (Faḍīl Muḥammad Warda)



الرفيق فاضل محمد وردة 

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

مواليد حماة 1977

الشهادة العلمية 

- اجازة في الحقوق - جامعة دمشق
- دبلوم في إدارة الأعمال من بريطانيا

المهام السابقة 

- محام أستاذ
- محامي إدارة قضايا الدولة
- عضو مجلس الشعب الدور التشريعي الأول والثاني والثالث
- عضو اللجنة المركزية للحزب 2017

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1977 年ハマー県生まれ

【学歴・職歴】

- ダマスカス大学: 法学士
- イギリス: 経営学修了認定

【経歴】

- 弁護士、大学教授
- 国家問題管理弁護士
- 2012 年～: 人民議会議員(第 1～3 期)
- 2017 年～: バアス党中央委員会メンバー

◇ヤースィル・ムハンナー・シャーヒーーン (Yāsir Muhnnā Shāhīm)



الرفيق اللواء المتقاعد ياسر مهنا شاهين 

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

• مواليد الاذقية 1960

الشهادة العلمية 

- إجازة في العلوم العسكرية - اختصاص دفاع جوي
- شهادة قيادة وأركان من الأكاديمية العسكرية العليا 2002
- دبلوم الدراسات العليا في إدارة الموارد الوطنية (كلية الدفاع الوطني الملكية الأردنية)
- ماجستير في الإدارة والدراسات الاستراتيجية من جامعة مؤتة

المهام السابقة 

- مدير إدارة الإعداد البدني والرياضة
- مدير نادي الجيش الرياضي المركزي
- أمين فرقة، وعضو قيادة شعبية في فرع الإعداد العقائدي

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1960 年ラタキア県生まれ

【学歴・職歴】

- 軍事学士 (航空防衛専門)
- 2002 年: 高等軍事学院: 司令官・参謀級認定 (2002 年)
- ヨルダン王立国家防衛大学: 国有資源管理部門高等教育修了認定
- ムウタ大学: 戦略管理研究学修士

【経歴】

- 身体スポーツ教化局長
- 軍スポーツ中央クラブ会長
- 支局指導部、イデオロギー教化支部書記長メンバー長

◇ アイマン・アブドゥンナーシル・ブン・アリー・ダックカーク (Ayman ‘Abd al-Nāṣir bin ‘Alī al-Daqqāq)



الرفيق أيمن عبد الناصر بن علي الدقاق

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

1966 حماة حماة

الشهادة العلمية

إجازة في الحقوق - جامعة حلب

المهام السابقة

- أستاذ محام
- قاضي صلح مدني أول في عدلية حماة
- مستشار لدى محكمة الاستئناف المدنية الأولى بحماة
- محام عام في حماة
- عضو في مجلس مدينة حماة
- عضو قيادة شعبة المدينة الأولى لحزب البعث في حماة
- رئيس محكمة الاستئناف المدنية والجزائية بحماة

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1966 年ハマー県生まれ

【学歴・職歴】

➤ アレッポ大学: 法学士

【経歴】

➤ 弁護士、大学教授

➤ ハマー市裁判所民事判事

➤ ハマー市民事控訴裁判所顧問

➤ ハマー市法務官

➤ ハマー市民事委員会メンバー

➤ バアス党ハマー支部ハマー市第1支局メンバー

➤ ハマー民事税務控訴裁判所所長

◇ ジュマーナ・ムハンマド・マアムーン・ヌーリー (Jumāna Muḥammad Ma'mūn al-Nūrī)



الرفيقة جمانة محمد مأمون النوري 

عضو القيادة المركزية لحزب البعث العربي الاشتراكي

• مواليد دمشق 1969

الشهادة العلمية 

- إجازة في الاقتصاد - جامعة دمشق
- معهد متوسط إحصائي
- شهادة محكم معتمد في حسم المنازعات للاستثمار
- وإعادة الإعمار في سورية

المهام السابقة 

- عضو مجلس محافظة دمشق من 2011 وحتى تاريخه
- عضو مكتب تنفيذي سابق

fb.com/albaath.party.in.syria

(出所) Facebook (@al.baath.party.in.syria), May 6, 2024.

➤ 1969 年ダマスカス県生まれ

【学歴・職歴】

- ダマスカス大学: 経済学士
- 中等統計学院卒業
- シリア投資・国内復興庁公認調停人資格

【経歴】

- 2011 年～: ダマスカス県議会議員
- ダマスカス県執行局メンバー

VI. おわりに

本書では、2024年5月4日に開催されたシリア・バース党の第3回中央委員会拡大会合の議事や決定、会合開催に先立って党内で実施された代表選挙、会合閉会後の中央指導部の選出、分掌、そしてこの間に党中央指導部書記長であるB・アサドが党員に対して行った演説や指導を詳解した。

代表選挙に関しては、第III章において述べた通り、第1段階において、ヒムス支部のカルヤタイン支局、ヒムス支部スフナ支局、イドリブ支部のイドリブ郡支局、アリーハー支局、ハサカ支部の全支局、ダルアー支部のナワー支局、スワイダー県のスワイダー中央区東部支局、バース大学支部の第1支局の開票結果が開示されていなかった。そのため、第1段階の当選者の総数、性別などの内訳を把握することはできなかった。また、代表選挙、そして監査委員会、中央委員会書記長、そして中央指導部の選出過程においては、誰が候補者だったか、選出過程で誰が落選、あるいは排除されたのかについて明らかにされることもなかった。

とはいえ、バース党のFacebook公式アカウントの情報からは、以下9点の特徴のを指摘することができる。

第1に、代表選挙第1段階において、開票結果が開示された支局の代表候補者数は1,022人で、このうちの13.3%にあたる136人が女性だった。

第2に、代表選挙第2段階で当選した代表は404人で、このうちの63.1%にあたる255人が第1段階で選出され、なおかつ開票結果が開示された支局の代表候補者だった。女性は9.7%にあたる39人で、その代表性は第1段階よりも低下していた。

第3に、中央委員会(定数125人、うち選出枠が80人、書記長指名枠が45人)選挙の立候補者は339人、うち女性は11.5%にあたる39人だった。また、339人のうち237人が代表選挙の当選者だった。

第4に、中央委員会選挙で当選した80人のうち、女性は15%にあたる12人、書記長が指名した45人のうち、女性は11人は24%にあたる11人だった。また、中央委員会メンバー全体(125人)に占める女性の割合は18.4%(23人)だった。

第5に、中央委員会選挙で落選した候補者のうち、書記長の指名によって委員会メンバーに就任したのは3人だった。このうち女性は、監査委員会のメンバーに任命されていたラーマー・アズィーズの1人だった。

第6に、選出された中央委員会メンバー80人のうち70人(うち女性は12人)が、書記長に指名されたメンバー45人のうち40人(うち女性は11人)が、新任だった。留任した中央委員会メンバー15人(いずれも男性)は以下の通りである。

ダマスカス郊外支部選出

- ▶ アフマド・フマーム・ハイダル(Aḥmad Humām Haydar)
- ▶ ジャマール・カーディリー(Jamāl al-Qādrī)

スワイダー支部

➤ ハサン・アブドゥッラー・アトラシュ (Ḥasan ‘Abd Allāh al-Aṭraṣh)

ハマー支部選出

➤ ファーディル・ムハンマド・ワルダ (Fāḍil Muḥammad Warda)*

➤ ムハンマド・アシュラフ・イッザト・バーシューリー (Muḥammad Ashraf ‘Izzat Bāshūrī)*

ラタキア支部選出

➤ バースィム・スライマーン・スーダーン (Bāsim Sulaymān Sūdān)

➤ ムハンマド・アブドゥルカーディル・ムスタファー・シュライティフ (Muḥammad ‘Abd al-Qādir Muṣṭafā Shurayṭih)

アレppo支部選出

➤ アフマド・サーリフ・イブラーヒーム (Aḥmad Ṣāliḥ Ibrāhīm)

ラッカ支部

➤ ハーズィム・ハリール・アブドゥルガニー (Ḥāzim Khalīl ‘Abd al-Ghanī)

ダイル・ザウル支部

➤ マアン・スブヒー・アブド (Ma‘an Ṣubḥī ‘Abbūd)

書記長指名

➤ ハンムーダ・サツバーグ (Ḥammūda al-Ṣabbāgh)

➤ フサイン・アルヌース (Ḥusayn ‘Amūs)

➤ ハイサム・サターイヒー (Haytham Saṭāyihī)

➤ ファイサル・ミクダード (Fayṣal al-Miqdād)

➤ アリー・アイユーブ (‘Alī Ayyūb)

第7に、中央指導部15人のうち女性は1人で、B・アサド、ハンムーダ・サツバーグ、フサイン・アルヌースを除く11人が新任だった。

第8に、監査委員会5人のうち女性は2人で、全員が新任だった。

第9に、中央委員会書記長は新任だった。

本書において整理、提示した膨大な情報は、これまでの党大会にかかる研究において参照することができなかったきわめて詳細なものであり、今後のバアス党の活動、さらにはシリアの政府や国家の動静を理解するための手がかりを提供し、現代シリア研究の発展に貢献し得るものである。

文献リスト

- 青山弘之[1997]「ムハンマド・サイド・ラマダーン・アル=ブーティの『女性問題』に対する立場:1990年代におけるシリア政情の変化の中で」『中東研究』第432号(11月)、pp. 8-21。
- [2001a]「『ジュムルーキーヤ』への道(1):バッシヤール・アル=アサド政権の成立」『現代の中東』第31号(7月)、pp. 13-37。
- [2001b]「『バスの精神的父』ザキー・アル=アルスズビー」酒井啓子編『民族主義とイスラーム:宗教とナショナリズムの相克と調和(IDE-JETRO 研究双書 514)』JETRO アジア経済研究所、pp. 175-227。
- [2004]「バース主義における「自由」と「民主主義」」『地域研究』第6巻第1号(4月)、pp. 31-45。
- [2005a]「シリア・バース党の組織改編:「単一のアラブ民族」へ向けて」『季刊アラブ』第113号(夏)、pp. 16-17。
- [2005b]「シリア/民主性誇示か、権威主義維持か:バース党第10回シリア地域大会にみるアサド政権」『海外事情』第53巻第11号(11月)、pp. 46-56。
- [2012]『混迷するシリア:歴史と政治構造から読み解く』岩波書店(復刻盤、https://cmeps-j.net/publications/syria_in_turmoil_2012)。
- [2018]「アラブ社会主義バース党:シリア地域指導部、中央委員会、検閲査察委員会人事(CMEPS-J Report No. 24)」現代中東政治研究ネットワーク(CMEPS-J.net)/Contemporary Middle East Political Studies in Japan.net (CMEPS-J.net)、7月8日(https://cmeps-j.net/wp-content/uploads/2024/06/syria_b.pdf)。
- [2021a]「シリア第3期人民議会選挙(2020年):コロナ禍とバース党の「啓発」プロセス(最近の動向)」『中東研究』第540号(1月)、pp. 123-139。
- [2021b]『膠着するシリア:トランプ政権は何をもたらしたか』東京外国語大学出版会。
- アジア経済研究所編[1983]『現代東アラブの政治構造』(調査レポート6)アジア経済研究所。
- 大塚和夫・小杉泰・小松久男他編[2002]『岩波イスラーム辞典』岩波書店。
- 酒井啓子[2003]『フセイン・イラク政権の支配構造』岩波書店。
- シリア・アラブ春顔末記:最新シリア情勢(<http://syriaarabspring.info/>)、各号。
- 帝国書院編集部編[2019]『最新基本地図2020:世界・日本』44訂版、帝国書院。
- Abu Jaber, Kamel S.[1966] *The Arab Ba'th Socialist Party: History, Ideology, and Organization*. New York: Syracuse University Press.
- Akhhbār al-Sharq* (<http://www.thisissyria.net/>), various issues.
- ‘Allūsh, Nājī[1962] *al-Thawra wa al-Jamāhīr*. Beirut: Dār al-Ṭalī‘a li-l-Ṭībā‘a wa al-Nashr.
- Arab Political Documents, 1963*[1963]“Statutes of the Arab Ba‘th Socialist Party (Official Text — Damascus — October, 1963): As Amended by the Sixth National Congress Held in October, 1963,” Beirut: American University of Beirut, 1963.
- al-Arsūzī, Zakī[1976] *al-Mu‘allaqāt al-Kāmila*, Vol. 6. Damascus: al-Idāra al-Siyāsīya li-l-Jaysh wa al-Qūwāt al-Musallaha.
- Barakāt, Salīm Nāshir[1984] *al-Fikr al-Qawmī: Wa Usus-hu al-Falsafīya ‘inda Zakī al-Arsūzī*, 3rd ed., Damascus: Dār Dimashq li-l-Ṭībā‘a wa al-Nashr.
- Dandashlī, Muṣṭafā[1979] *Ḥizb al-Ba‘th al-‘Arabī al-Ishtirākī, 1940-1963: al-Īdiyulūjīyā wa al-Tārīkh al-Siyāsī*, Vol. 1. Damascus: no publisher.
- Devlin, John F.[1976] *The Ba‘th Party: A History from its Origins to 1966*. Stanford: Hoover Institution Press.
- Facebook
 @al.baath.party.in.syria (<https://www.facebook.com/al.baath.party.in.syria/>), various issues.

- Farzāt, Muḥammad Ḥarb [1955] *al-Ḥayāt al-Ḥizbīya fī Sūriyā: Dirāsāt Tārīkhīya li-Nushū' al-Aḥzāb al-Siyāsīya wa Taṭawwur-hā bayna 1908-1955*. Damascus: Dār al-Rawwād.
- al-Fukaykī, Hānī [1997] *Awkār al-Hazīma: Tajribatī fī Ḥizb al-Ba'th al-'Irāqī*, 2nd ed. Beirut: Riyād al-Rayyis li-l-Kutub wa al-Nashr.
- al-Ghānim, Wahīb [1976] "al-Bidāyāt fī Dhākira al-Duktūr Wahīb al-Ghānim," Pt. 1, *al-Munādīl*, No. 90 (October), pp. 35–49.
- [1977a] "al-Bidāyāt fī Dhākira al-Duktūr Wahīb al-Ghānim," Pt. 4, *al-Munādīl*, No. 93 (January), pp. 13–20.
- [1977b] "al-Bidāyāt fī Dhākira al-Duktūr Wahīb al-Ghānim," Pt. 6, *al-Munādīl*, No. 95 (March), pp. 6–16.
- [1994] *al-Judhūr al-Wāqī'īya wa al-Fikrīya li-Mabādī' al-Ba'th al-'Arabī*. Damascus: Maṭba'a 'Akrama.
- Google マップ (<https://www.google.co.jp/maps/>).
- Haddad, George M. [1971] *Revolution and Military Rule in the Middle East*, vol. 2: The Arab States, pt. 1: Iraq, Syria, Lebanon and Jordan. New York: Robert & Speller Sons Publishers.
- al-Ḥāfīz, Yāsīn [1997] *Ḥawla Ba'd Qaḍāyā al-Thawra al-'Arabīya: al-A'māl al-Kāmila*, Vol. 1, 2nd ed. Damascus: Dār al-Ḥaṣād.
- al-Ḥayāt* (<http://www.daralhayat.com/>), various issues.
- Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī – al-Qiyāda al-Qawmīya [1963] *Ba'd al-Muṭalaaqāt al-Naḍarīya li-Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī: Allatī Aqarr-hā al-Mu'tamar al-Qawmī al-Sādīs fī Tishrīn al-Awwal 1963*. No place: no publisher.
- [1978] *Niḍāl Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī 1945-1975: Dirāsa Tahlīlīya Mūjaza*. Damascus: Maktab al-Thaqāfa wa al-Dirāsāt wa al-I'dād al-Ḥizbī.
- [1982] *al-Niḍām al-Dākhilī li-Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī: alladhī Aqarr-hu al-Mu'tamar al-Qawmī al-Thālīth 'Ashara li-l-Ḥizb al-Mun'aqid bi-Dimashq fī Awākhir Tammūz 1980*. Damascus: Maktab al-I'lām wa al-Nashr fī al-Qiyāda al-Qawmīya, 1982.
- Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī – al-Qiyāda al-Quṭrīya [1985] *Taqārīr al-Mu'tamar al-Quṭrī al-Thāmin wa Muqarrarāt-hu al-Mun'aqid fī Dimashq fī al-Fatra al-Wāqī'a bayna 5/1/1985 – 20/1/1985: al-Taqārīr al-Tanzīmī*. Damascus: Maṭba'a al-Qiyāda al-Quṭrīya.
- Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī, al-Quṭr al-'Arabī al-Sūrī – al-Qiyāda al-Quṭrīya [1985] *Taqārīr al-Mu'tamar al-Quṭrī al-Thāmin wa Muqarrarāt-hu: al-Mun'aqid fī Dimashq fī al-Fatra al-Wāqī'a bayna 5/1/1985 – 20/1/1985*. Damascus: Maṭba'a al-Qiyāda al-Quṭrīya.
- Ḥizb al-Ba'th al-'Arabī al-Ishtirākī, al-Quṭr al-'Arabī al-Sūrī – al-Qiyāda al-Quṭrīya, Maktab al-Amāna al-Quṭrī [2003] "The Document No. 16308," November 30.
- al-'Īsā, Sulaymān [1976a] "Bidāyāt al-Ba'th al-'Arabī fī Ḥayāt al-Shā'ir Sulaymān al-'Īsā wa Dhākira-hu," Pt. 1, *al-Munādīl*, No. 84 (April), pp. 52–73.
- [1976b] "Bidāyāt al-Ba'th al-'Arabī fī Ḥayāt al-Shā'ir Sulaymān al-'Īsā wa Dhākira-hu," Pt. 2, *al-Munādīl*, No. 85 (May), pp. 10–33.
- Ismā'īl, Fā'iz [1977] "al-Bidāyāt fī Dhākira al-Ustādh Fā'iz Ismā'īl," Pt. 2, *al-Munādīl*, No. 102 (October), pp. 37–57.
- al-Jundī, Sāmī [1969] *al-Ba'th*, Beirut: Dār al-Nahār li-l-Nashr.
- Keilany, Ziad [1980] "Land Reform in Syria," *Middle Eastern Studies*, Vol. 16, No. 3 (October), pp. 209–224.
- Khoury, Philip S. [1987] *Syria and the French Mandate: The Politics of Arab Nationalism, 1920-1945*. Princeton: Princeton University Press.
- Lund, Aron [2013] "The Baath Party and the War in Syria: An Interview with Sami Moubayed: The Arab Socialist Baath Party Has Ruled Syria since 1963 and Continues to Do So after the Constitutional Changes in Spring 2012," Diwan, November 17 (<https://carnegieendowment.org/middle-east/diwan/2013/11/the-baath-party-and-the-war-in-syria-an-interview-with-sami-moubayed?lang=en>).
- al-Mu'allim, Walīd [1988] *Sūriya 1916-1946m: Al-Tarīq ilā al-Ḥurrīya*. Damascus: Dār Ṭulās.

- Niḍāl al-Ba‘th fī Sabīl al-Wahda wa al-Ḥurrīya wa al-Ishtirākīya*, Vol. 1 [1963] Beirut: Dār al-Ṭalī‘a li-l-Ṭibā‘a wa al-Nashr.
- Petran, Tabitha [1972] *Syria*. New York: Praeger Publishers.
- Qarqūṭ, Dhūqān [1993] *Mishīl ‘Aflaq, al-Kitābāt al-Ūlā: Ma‘a Dirāsāt Jadīda li-Sīrat Ḥayāt-hu*. Beirut: al-Mu‘assasāt al-‘Arabīya li-l-Dirāsāt wa al-Nashr.
- Rabinovich, Itamar [1972] *Syria under the Ba‘th 1963-66: The Army-Party Symbiosis*. Jerusalem: Israel University Press.
- Roberts, David [1987] *The Ba‘th and the Creation of Modern Syria*. London: Croom Helm.
- Rouleau, Eric [1969] “The Syrian Enigma: What Is the Ba‘th?” Irene L. Gendier, ed., *A Middle East Reader*, New York: Pegasus, pp. 156–171.
- Rudaw (<https://www.rudaw.net/>), various issues.
- Ṣafadī, Mutā‘ [1964] *Ḥizb al-Ba‘th, Ma‘asāt al-Mawlid, Ma‘asāt al-Nihāya*. Beirut: Dār al-Ādāb.
- SANA (Syria Arab News Agency, <http://www.sana.sy/>), various issues.
- Seale, Patrick [1958] *The Struggle for Syria: A Study of a Post-War Arab Politics 1945-1958*. London: Oxford University Press.
- Tachau, Frank, ed. [1994] *Political Parties of the Middle East and North Africa*. Westport: Greenwood Press.
- al-Thawra* (<https://thawra.sy/>), various issues.
- al-Turk, Riyād [2001] “Masār al-Dīmuqrāṭīya wa Āfāq-hā fī Sūrīya (1): al-Ṣirā‘ ‘alā al-Sulṭa wa Ḍawābiṭ Ṣundūq al-Intikhāb wa Ḥaqq al-‘Amal al-Siyāsī, *al-Ḥayāh*, August 9.
- al-Waṭan* (<https://alwatan.sy/>), various issues.

◆筆者紹介◆

青山 弘之(あおやま ひろゆき).....

1968 年東京生まれ。東京外国語大学教授。東京外国語大学卒。一橋大学大学院にて博士号取得。シリアの友ネットワーク@Japan(シリとも、旧サダーカ・イニシアチブ <https://sites.google.com/view/sadaqainitiative70>)代表。シリアのダマスカス・フランス・アラブ研究所共同研究員、JETRO アジア経済研究所研究員を経て現職。専門は現代東アラブ地域の政治、思想、歴史。著書に『混迷するシリア』、『シリア情勢』、『膠着するシリア』、『ロシアとシリア』など。ウェブサイト「シリア・アラブの春顛末記」(<http://syriaarabspring.info/>)を運営。

木戸 皓平(きど こうへい).....

1990 年生まれ。東京外国語大学特別研究員、同大学非常勤講師。東京外国語大学外国語学部アラビア語専攻卒、同大学院博士後期課程修了。大学院在学時より現地語で書かれたシリア関連資料の翻訳・公開に携わる。専門はシリア現代政治、アラビア語メディア解読。これまで発表してきた主な研究成果に「『ポスト戦争期におけるシリア国家開発プログラム』全訳(第 1 部)」、「人民防衛隊は内戦期のシリアでどのように役割を変化させたのか:シリア内戦の『第三勢力』に対する最適なレッテルをめぐる分析」(刊行論文)など。

シリア・バアス党第3回中央委員会拡大大会(2024年)詳解
CMEPS-J Report No. 77

2024年8月15日発行

著者 青山弘之 木戸皓平

発行者 東京外国語大学

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

印刷 有限会社ノースアイランド

〒202-0002 東京都西東京市ひばりが丘北4-1-9

©2024 Hiroyuki AOYAMA, Kohei KIDO

ISBN 978-4-907877-34-7

非売品